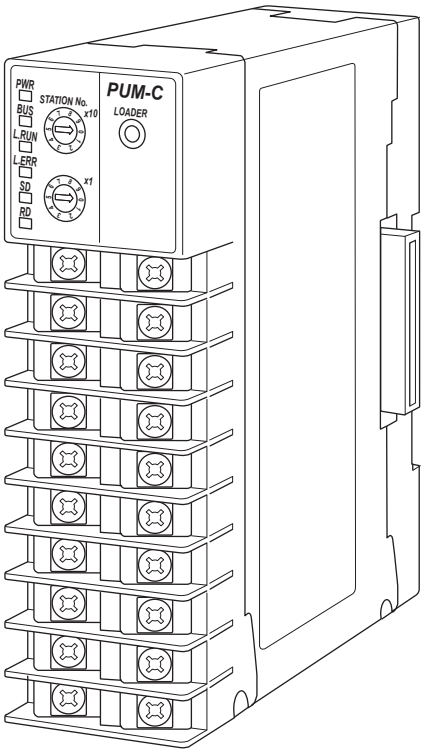
e-Front runners

ユーザーズマニュアル

マルチループ・モジュール型温度調節計

＜拡張通信モジュール (CC-Link) ＞

形式：PUMC



富士電機株式会社

INP-TN5A0200a

最初にお読みください（安全上のご注意）

ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。ここに示した注意事項は安全に関する重要な内容を記載していますので、必ずお守りください。

安全注意事項のランクを「警告」と「注意」に区分してあります。

⚠警告	誤った取扱をしたときに、死亡または重傷を負う可能性のあるもの。
⚠注意	誤った取扱をしたときに、使用者が障害を負ったり物的損害の可能性のあるもの。

⚠警告

設置および配線について

●本機器は以下の条件に設置されることを意図しています。

周囲温度	-10 ～ 50 ℃	
周囲湿度	90% RH 以下（結露ないこと）	
振動	10 ～ 70Hz　9.8m/s^2（1G）以下	
ウォームアップ時間	30 分以上	
設置カテゴリー	Ⅱ	IEC1010-1 による
汚染度	2	

●温度センサーと下表に示す電圧値になる、もしくは発生させる場所との間には、下表に示す沿面距離、および空間距離を確保してください。
これらが確保できない場合は、EN61010 の安全承認が無効になる恐れがあります。

使用電圧、または発生電圧 [Vrms または Vdc]	空間距離 [mm]	沿面距離 [mm]
最高 50	0.2	1.2
最高 100	0.2	1.4
最高 150	0.5	1.6
最高 300	1.5	3.0
300 以上	弊社販売店にご相談ください。	

●上記において、50Vdc を超える（危険電圧と呼びます）場合、本機器の全端子とアースとの間に機能絶縁が必要です。
なお、本機器の絶縁クラスは以下の通りです。設置に先立ち、本機器の絶縁クラスがご使用要求を満足していることを必ずご確認ください。

電源	SLD ／ FG 端子(CC-Link 接続端子)
ローダ通信	CC-Link 通信

機能絶縁（AC1000V）　機能絶縁（AC500V）　機能絶縁（AC50V）

- 本機器の故障や異常が重大な事故につながる恐れがある場合には、外部に適切な保護回路を設置してください。
- 機器破損および故障防止のため、定格に合った電源電圧を供給してください。
- 感電防止および機器故障防止のため、全ての配線が終了するまで電源を供給しないでください。
- 電源投入前に感電や機器の火災防止のために間隔が確保されていることを必ず確認してください。
- 通電中は端子に触れないでください。感電、誤動作の恐れがあります。
- 本機器は絶対に分解したり、加工、改造、修理は行わないでください。異常動作、感電、火災の危険性があります。

保守について

- 本機器の脱着は電源を OFF にして行ってください。感電、誤動作、故障の原因となります。
- 本機器を継続的、かつ安全にご使用頂くために、定期的なメンテナンスをおすすめします。
- 本機器搭載部品には寿命があるものや、経年変化するものがあります。
- 付属品も含め、本機器の保証期間は、正常にご使用いただいた場合で 1 年間です。

⚠注意

設置上の注意

本機器の設置に際しては、次のような場所を避けるよう注意してください。

- 使用時に周囲温度が 0 ～ 50 ℃の範囲を超える場所
- 使用時に周囲湿度が 45 ～ 85% RH の範囲を超える場所
- 温度変化が急で、結露するような場所
- 腐食性ガス（特に硫化ガス、アンモニア等）や、可燃性ガスが発生する場所
- 本体に直接振動、衝撃が伝わるような場所
- 水、油、薬品、蒸気、湯気のかかる場所
（水に浸ったときは、漏電、火災の危険がありますので販売店の点検を受けてください）
- 粉塵、塩分、鉄分の多い場所
- 誘導障害が大きく、静電気、磁気、ノイズが発生しやすい場所
- 直射日光のあたる場所
- 輻射熱などによる熱蓄積が生じる場所

取付時の注意

- DIN レールに取り付けた後は、必ず固定用タブを押し上げてしっかり固定してください。
- モジュールを連結する際には、固定用タブを引き下げた状態で連結した後、全てのモジュールの固定用タブを押し上げ固定してください。
- 前面端子台の取り外し、ベース部からの取り外しは、必ず電源 OFF の状態で行ってください。
- 放熱の妨げとなりますので、本機器上部、下部の通風口は塞がないでください。
- DIN レールへの取り付け／取り外しには、モジュールの上下に 30mm 以上のスペースが必要です。

結線上の注意

- 端子台への結線には、ネジサイズ M3 の圧着端子を使用してください。
  本機器に付属されているネジ以外は使用しないでください。
  端子台のネジサイズ　：M3 × 7（角座付き）
  締付けトルク　　：0.78N·m（8kgf·cm）
- 信号線はノイズ誘導の影響を受けるため、電源ライン、負荷ラインから離してください。
- CE マーキング（EMC）を満たす為に、通信ケーブル、電源ケーブルにフェライトコアを取り付けることを推奨します。

異常時の操作

- アラーム機能については、正しく設定されていないと機器異常時に正しく出力されませんので、運転の前に必ず動作確認してください。

その他の注意

- アルコールやベンジン等の有機溶剤で本機器を拭かないでください。本機器を清掃する場合は、中性洗剤をご使用ください。
- 本機器の近くでの携帯電話の使用は、誤動作の原因となりますので、50cm 以上離れてご使用ください。
- ラジオ、テレビ、無線機に近接して使用すると、障害の原因となることがあります。
- 本器は出力を開始するまでに約 20 秒必要です。
- 本器の設置、結線時には、静電気対策を施した上で作業してください。
- 本器への供給電源は DC24V です。接続台数に応じた適切な容量の電源をご使用ください。
  推奨電源　　：コーセル（株）PBA シリーズ
  　　オムロン（株）S8VM シリーズ

目次

最初にお読みください（安全上のご注意）…… 3
⚠警告…… 3
設置および配線について…… 3
保守について…… 3
⚠注意…… 3
設置上の注意…… 3
取付時の注意…… 4
結線上の注意…… 4
異常時の操作…… 4
その他の注意…… 4

1 章 概要 …… 1-1
1.1 概要 …… 1-3
1.2 形式コード …… 1-4
拡張通信モジュール …… 1-4
アクセサリ（別売品）…… 1-4
1.3 各部の名称とはたらき …… 1-5
本体外観…… 1-5
前面端子台…… 1-6
本体部（背面）…… 1-8
ベース部……1-10

2 章 システムの構成例 …… 2-1
2.1 システムの構成例 …… 2-3
拡張通信モジュールを使用する構成…… 2-3

3 章 設置 …… 3-1
3.1 設置の手順 …… 3-3
PUM 側の設定と設置 …… 3-3
CC-Link マスタ（PLC）側の設定 …… 3-4
試験運転…… 3-4
3.2 寸法の確認 …… 3-5
外形寸法…… 3-5
3.3 モジュールの取り付け …… 3-6
前面端子台、ベース部の脱着方法…… 3-6
DIN レールへの取付け …… 3-8
モジュールの並び順……3-10
3.4 アクセサリ（別売品）の取り付け ……3-11
サイド連結コネクタ終端カバーの取り付け……3-11
エンドプレートの取り付け……3-11
3.5 ネジによる取り付け ……3-12
3.6 接続 ……3-13
CC-Link 接続 ……3-13
モジュール連結 ……3-16
電源の結線 ……3-17

4 章 拡張通信機能の設定 …… 4-1
4.1 CC-Link 通信設定 …… 4-3
CC-Link 局番設定 …… 4-3
CC-Link 通信速度設定 …… 4-4
占有局数／拡張サイクリック設定 …… 4-5
チャンネルの割り当てについて …… 4-6

5 章 通信機器の説明 …… 5-1
5.1 マスタ局と PUMC モジュール（リモートデバイス局）
のインターフェイス概要 …… 5-3
インターフェイス概略…… 5-3
リモートレジスタについて…… 5-5
5.2 データ取扱上の注意 …… 5-6
小数点なしの場合…… 5-6
小数点ありの場合…… 5-6
マイナスの場合…… 5-6
5.3 リモート入出力一覧 …… 5-7
4 局占有 1 倍設定 …… 5-8
4 局占有 2 倍設定 ……5-14
4 局占有 4 倍設定 ……5-23
5.4 リモートレジスター覧 ……5-38
4 局占有 1 倍設定（8Ch 割付）……5-39
4 局占有 1 倍設定（16Ch 割付）……5-41
4 局占有 2 倍設定（16Ch 割付）……5-42
4 局占有 2 倍設定（32Ch 割付）……5-44
4 局占有 4 倍設定（32Ch 割付）……5-46
4 局占有 4 倍設定（64Ch 割付）……5-50

5.5 拡張番号の設定 ……5-54
データを読み出す場合（表示用拡張番号の設定）…5-54
データを書き込む場合（設定用拡張番号の設定）…5-54
5.6 拡張番号一覧 ……5-56
CC-Link 通信モジュール用 拡張番号対応表
（0-511）……5-56
CC-Link 通信モジュール用 拡張番号対応表
（512-1023）……5-61
拡張番号一覧データ補足説明……5-68
5.7 CC-Link フラグ操作 ……5-74
電源 ON 時、イニシャル要求処理 ……5-74
エラーフラグ、エラーリセット処理……5-75
表示用拡張番号の切換処理……5-75
設定用拡張番号の切換処理……5-76
AT 起動方法（Ch1 の例）……5-76
5.8 サンプルプログラム ……5-77

6 章 トラブルシューティング …… 6-1
6.1 トラブル時の対処 …… 6-3

索引

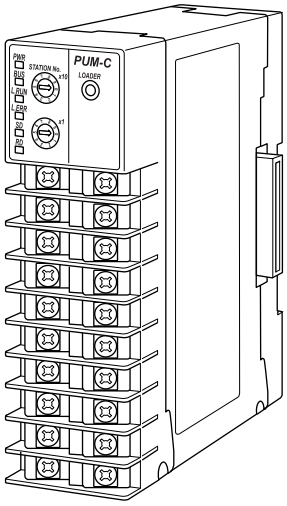
1章 概要

1.1 概要 ····· 1-3
1.2 形式コード ····· 1-4
1.3 各部の名称とはたらき ····· 1-5

1.1 概要

拡張通信モジュール PUMC は CC-Link 対応の各社 PLC と通信を行うためのモジュールです。

- モジュール型温度調節計 PUM シリーズで温度制御システムを構築する場合に、CC-Link を用いた通信を行いたい場合に使用します。
- 通信機能としては PUM シリーズの他のモジュールと同様、MODBUS RTU にも対応しています。
- モジュール同士は連結コネクタで接続しますので、電源端子への配線は 1 つのモジュールだけで済ませることができ、省配線が可能です。



本書では、以降 PUMC を「本器」、または「拡張通信モジュール」と表記します。

付属品の確認

まず、付属品をご確認ください。

内容	数量
温度調節計拡張通信モジュール（本器）	1
取扱説明書（設置編）	1

1.2 形式コード

拡張通信モジュール

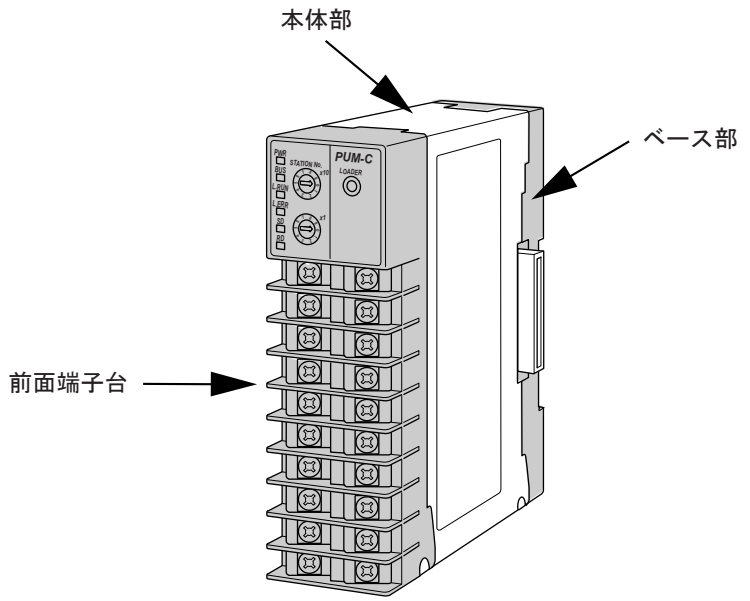
1	2	3	4	5	6	7	8		9	10	内　容
P	U	M			Y	Y	1	－	0		モジュール種類
			C								拡張通信モジュール
											通信機能
				L							CC-Link通信
											取扱説明書
										A	日本語
										B	英語

アクセサリ（別売品）

1	2	3	4	5	6	7	8	内　　容
P	U	M	Z	*	A	0	2	DINレール取付エンドプレート
					A	0	3	サイド連結コネクタ終端カバー(左右1セット)
					A	0	4	前面ネジ端子カバー
					L	0	1	ローダ接続ケーブル(RS232C)

1.3 各部の名称とはたらき

本体外観



前面端子台

ネジ端子と、ローダ通信ポート、CC-Link 局番設定スイッチ、および LED インジケータを備えています。

- 前面端子台は、ワンタッチで本体部から取り外すことができます。

本体部

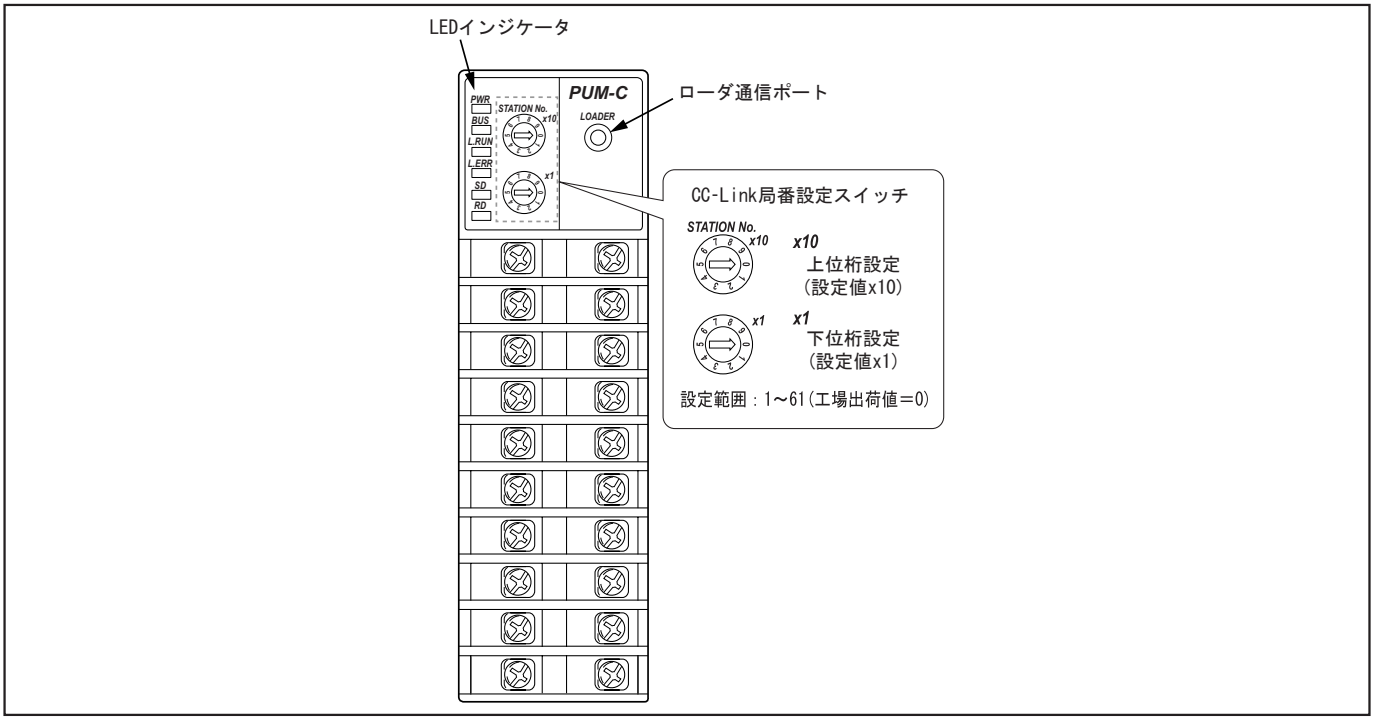
CC-Link 通信用の回路を内蔵した、モジュールの本体です。

- 本体部はワンタッチでベース部から取り外すことができます。
- 背面（ベース部側）に CC-Link 通信速度設定スイッチおよび占有局数／拡張サイクリック設定スイッチを備えています。

ベース部

電源端子、モジュールを連結する連結コネクタ、およびモジュールを DIN レールに固定する機構を備えたベース部です。

前面端子台



LED インジケータ

LED で、下記の動作状態を表示します。

LED 名称	緑	赤	橙
PWR	（優先度順） 消灯：電源 OFF 緑点滅 (0.4 秒) 周期： ① イニシャルポーリングで検出台数 0 台 ② イニシャルポーリング後モジュール間通信異常発生 緑点滅（0.1 秒）周期： イニシャルポーリング中 緑点灯：運転中	—	—
BUS	モジュール間通信受信時点灯	—	モジュール間通信送信中
L.RUN	点灯：データリンク実行中 消灯：H ／ W リセット中または、データリンク未実行	—	—
L.ERR	—	点灯：通信ｴﾗｰ（CRC エラー、局番設定エラー、ボーレート設定エラー） 消灯：正常受信もしくは､H／Wリセット中 点滅：電源 ON 中にスイッチ類の設定をした	—
SD	CC-Link データの送信時点灯	—	—
RD	CC-Link データの受信時点灯	—	—

ローダ通信ポート

オプションのローダ接続ケーブルを使い、PUM 用パラメータローダをインストールした PC と接続します。

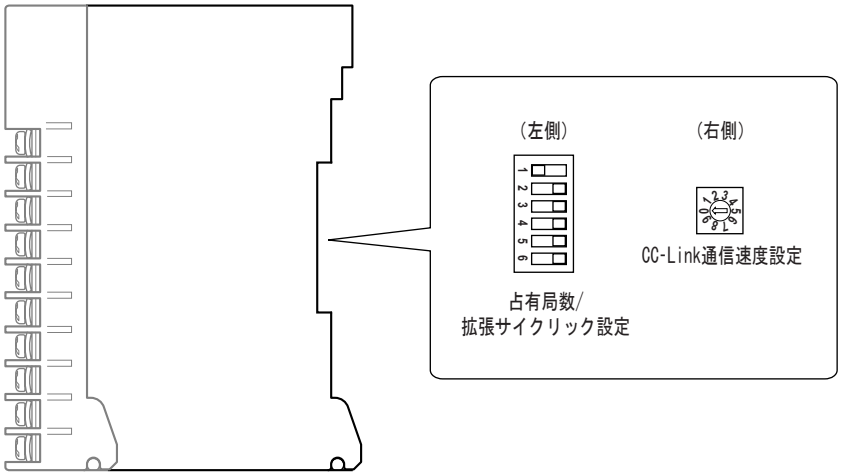
CC-Link 局番設定スイッチ

本器に CC-Link 局番（1 ～ 61）を設定します。

注 意

- 工場出荷値（0）のままでは、CC-Link 通信ができません。必ず局番を設定してください。
- （0）または（62）以上の値を設定すると局番選択エラーとなり、L.ERR インジケータが赤く点灯します。

本体部（背面）



CC-Link 通信速度設定スイッチ

CC-Link における通信速度をロータリースイッチで設定します。

通信速度と最大伝送距離（Ver.1.10 対応 CC-Link 専用ケーブル使用時）

通信速度設定	通信速度	最大伝送距離（ネットワーク最大長）
0	156kbps	1200m
1	625kbps	900m
2	2.5Mbps	400m
3	5Mbps	160m
4	10Mbps	100m

注 意

- 「5」～「9」を選択した場合は、ボーレート選択エラーとなり、「L.ERR」LED が赤く点灯します。

占有局数／拡張サイクリック設定スイッチ

占有局数と拡張サイクリックをディップスイッチで設定します。

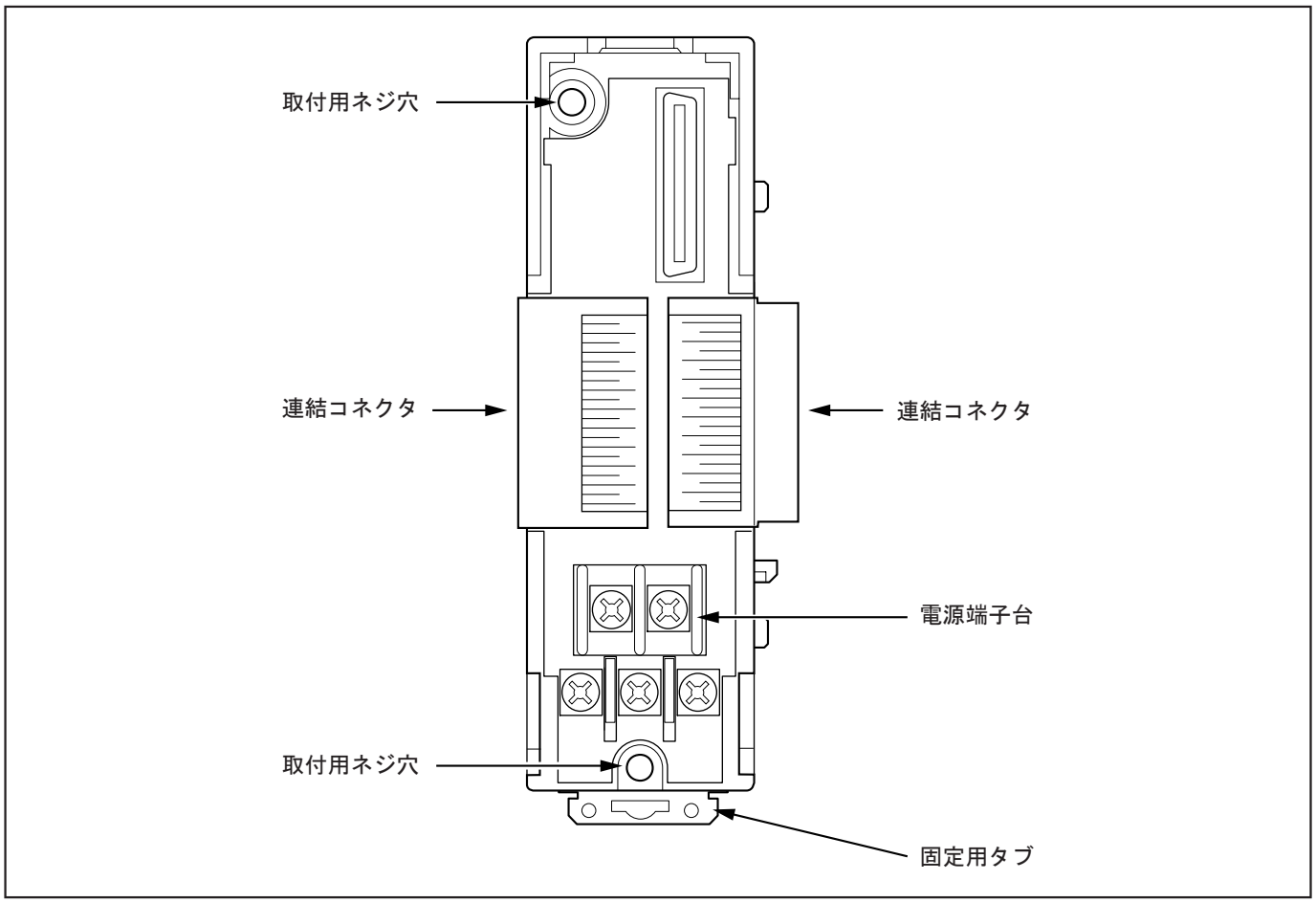
占有局数／拡張サイクリック設定

SW1	SW2	SW3	SW4	占有局数／拡張サイクリック設定（ループ数）	Ver. 対応
OFF	OFF	OFF	OFF	4 局占有 1 倍設定（8 ループ）	Ver.1
ON	OFF	OFF	OFF	4 局占有 1 倍設定（16 ループ）	
OFF	ON	OFF	OFF	4 局占有 2 倍設定（16 ループ）	Ver.2
ON	ON	OFF	OFF	4 局占有 2 倍設定（32 ループ）	
OFF	OFF	ON	OFF	4 局占有 4 倍設定（32 ループ）	
ON	OFF	ON	OFF	4 局占有 4 倍設定（64 ループ）	

注　意

- ディップスイッチを上記以外の設定にした場合は、「4 局占有 1 倍設定（8 ループ）」が設定されます。

ベース部



連結コネクタ

モジュール同士を横方向に連結するコネクタです。

電源端子台

モジュールの電源を接続します。

いずれか 1 台のモジュールに接続すれば、モジュール連結コネクタを介して連結された他のモジュールにも電源が供給されます。

固定用タブ

モジュールを DIN レールに取り付ける際に、モジュールを DIN レールに固定します。また、連結したモジュール同士を、外れないようにロックします。

2章 システムの構成例

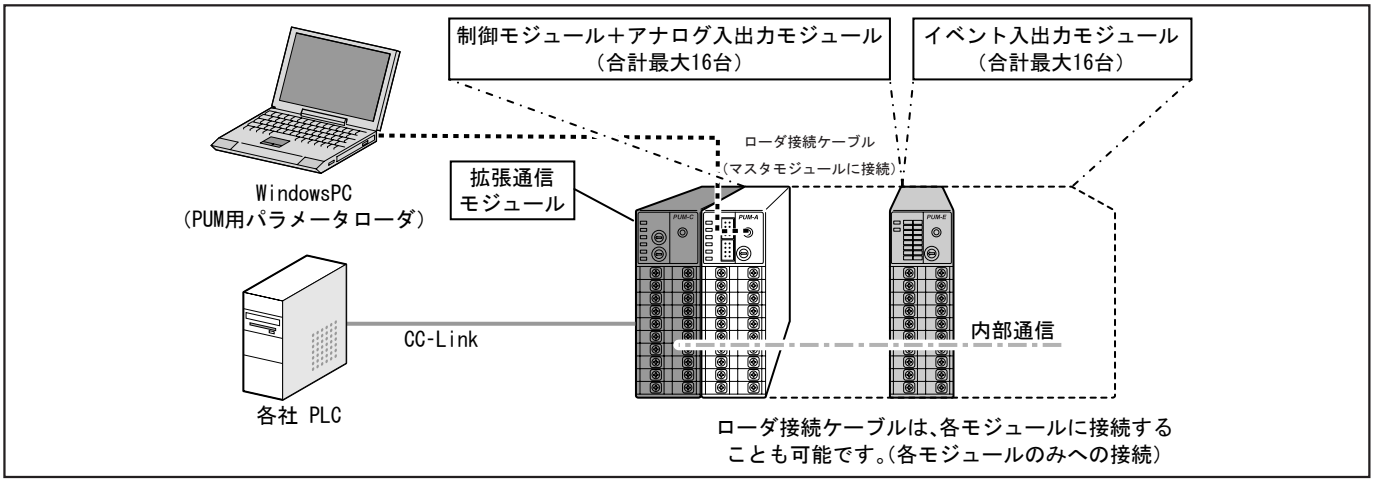
2.1　システムの構成例 …… 2-3

2.1 システムの構成例

マルチループ・モジュール型温度調節計 PUM シリーズで本器を追加した場合の温度制御システムの構築例を示します。

拡張通信モジュールを使用する構成

- システムに拡張通信モジュールを追加すると、CC-Link による通信で各社 PLC と通信できます。



ポイント

- 制御／アナログ入出力モジュールのステーション番号（1 ～ 16）

通信を正しく行うためには、ステーション番号の設定が必要です。左端のモジュールをステーション番号 1 とし、以降 2,3,……,16 と連番でステーション番号を設定します。システム内でステーション番号が重複しないようにしてください。

- イベント入出力モジュールのステーション番号（17 ～ 32）

イベント入出力モジュールのステーション番号は必ず 17 から始まり、以降 18,19,……,32 と連番でステーション番号を付けます。システム内でステーション番号が重複しないようにしてください。

基本的な設定項目

この構成の場合、以下の設定が必要になります。

●ステーション番号の設定 ▶▶ 3-10
●RS-485 通信設定 ▶▶「制御モジュール ユーザーズマニュアル」
●CC-Link 通信設定 ▶▶ 4-3

ポイント

拡張通信モジュールを使用するためには、制御モジュール、アナログ入出力モジュール、イベント入出力モジュールにて、拡張通信モジュール接続許可設定を「接続あり」に設定する必要があります。

3章 設置

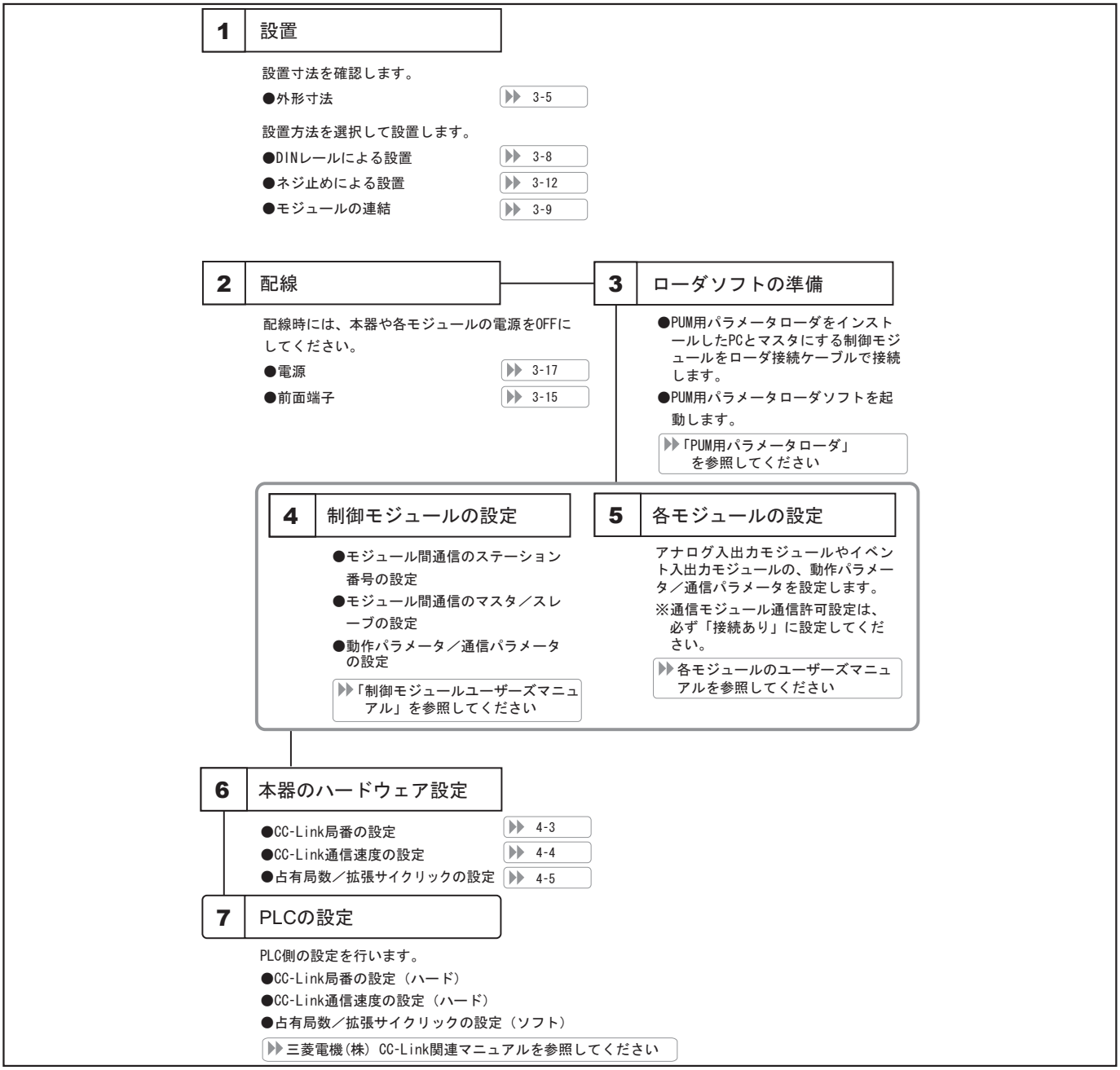
3.1 設置の手順 …… 3-3
3.2 寸法の確認 …… 3-5
3.3 モジュールの取り付け …… 3-6
3.4 アクセサリ（別売品）の取り付け 3-11
3.5 ネジによる取り付け …… 3-12
3.6 接続 …… 3-13

3.1 設置の手順

ここでは、運転するまでの設定を PUM 用パラメータローダで行う場合の設置作業の流れを説明し、最後にホストコンピュータ側の設定と設置後の試験運転について説明しています。

PUM 側の設定と設置

- 拡張通信モジュールに対する通信許可設定を、システム内のすべての制御モジュールで「接続あり」に設定する必要があります。
- マスタモジュールに PUM 用パラメータローダを接続すれば、他のモジュールのパラメータの設定もまとめて行うことができます。
- 拡張通信モジュールでは、局番（CC-Link 局番）を設定する必要があります。



CC-Link マスタ（PLC）側の設定

- 上位機器側（PLC）の設定と、本器の通信設定が同じでなければ通信はできません。
- 配線時は各モジュールの電源を OFF にしてください。

1 通信ラインの配線

配線時には、PLCと各モジュールの電源をOFFにしてください。
「3.6 接続」を参照して、通信ラインを配線します。 ▶▶ 3-13

2 通信プログラムの準備

●シーケンサ設計・保守ツールとプロジェクト（通信プログラム）をインストールしたPCを準備します。

3 通信ポートの設定

4 通信条件の設定

以下を設定します。
① CC-Link局番の設定（ハード）
② CC-Link通信速度の設定（ハード）
③ 占有局数／拡張サイクリックの設定（ソフト）
②と③はPLCとモジュールで合わせる必要があります。

5 電源ON

配線を終えたら、モジュールの電源をONにします。

6 プロジェクトロード

設計ツールでプロジェクトを開き、PLCへロードします。

試験運転

制御試験

システムが制御対象を正常に制御できているか確認します。

1 マニュアルモードで動作確認

マニュアルモードで制御したい機器が動作するかを確認します。

▶▶「制御モジュールユーザーズマニュアル」を参照してください

2 試験運転

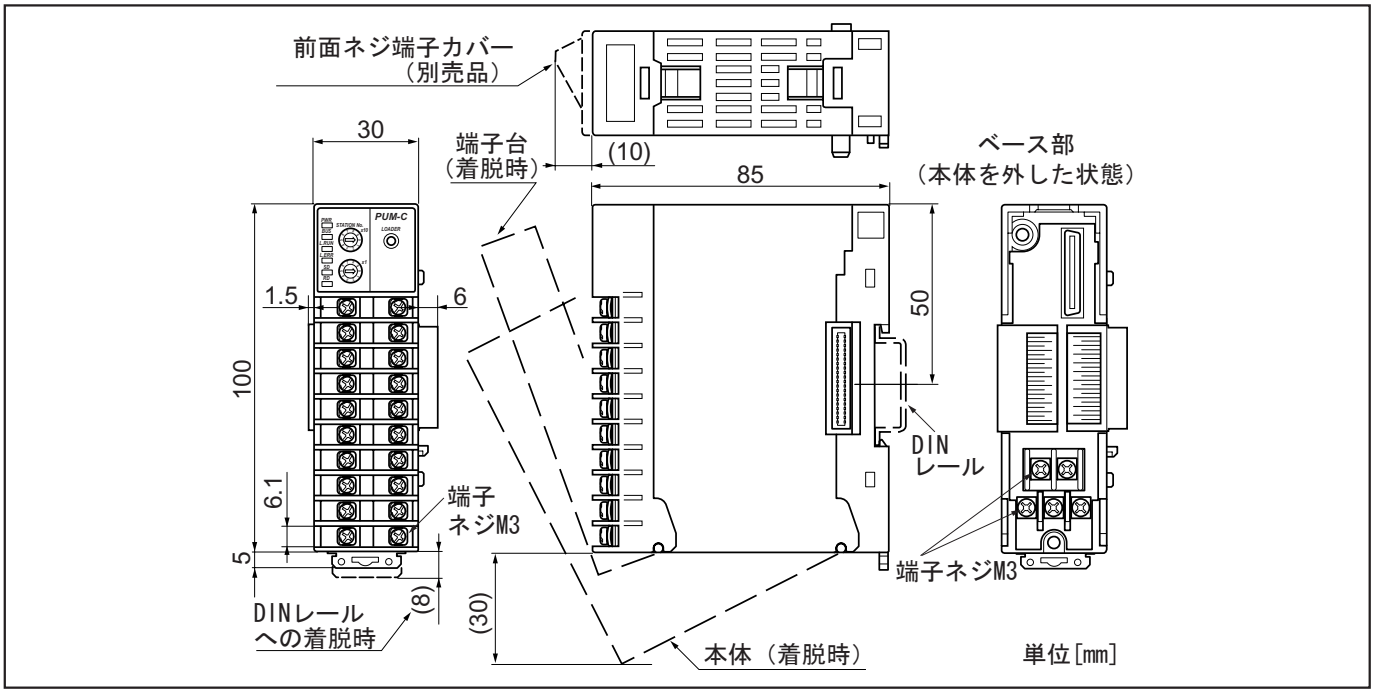
●オートチューニングを実施します。
●試験運転を行います。
試験の結果を受けてパラメータの見直しを行います。

▶▶「制御モジュールユーザーズマニュアル」を参照してください

3.2 寸法の確認

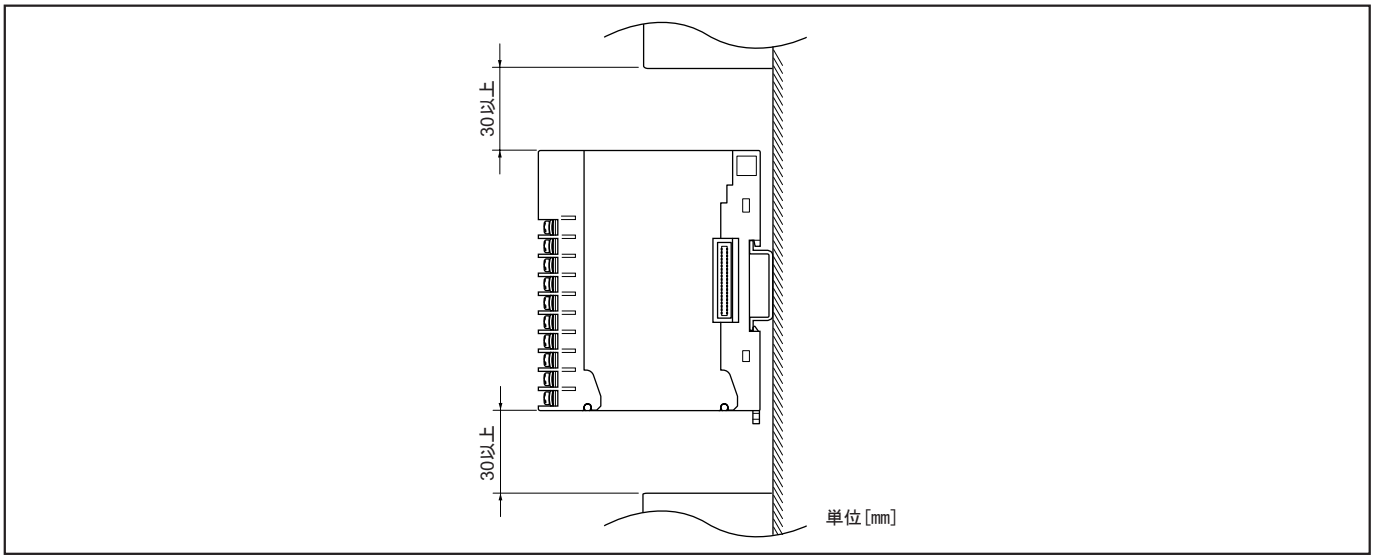
外形寸法

取付けを行う前に、下記寸法を参照して取り付け場所に十分なスペースがあるか確認してください。



設置上の注意

本器の上下には、放熱のため 30mm 以上（推奨 50mm）の空間を確保してください。



ポイント

DIN レールへの取り付け／取り外しには、モジュールの上下に 30mm 以上のスペースが必要です。

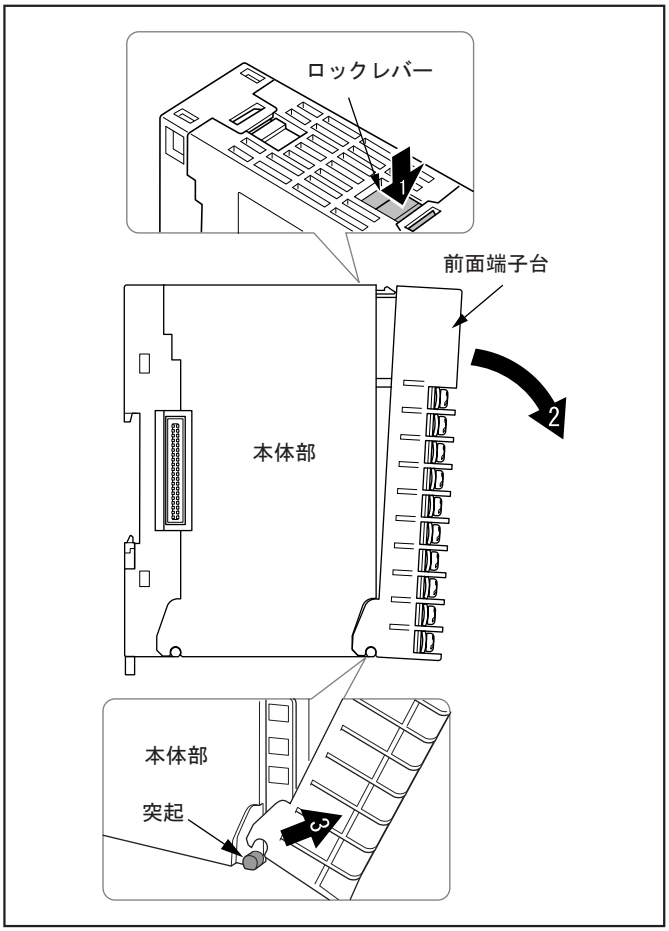
3.3 モジュールの取り付け

前面端子台、ベース部の脱着方法

マルチループ･モジュール型温度調節計 PUM シリーズの各モジュールは、設置やメンテナンスが容易になるように、前面端子台、ベース部ともにワンタッチで取り外すことができる構造になっています。

前面端子台の外しかた

1. 本体部上部のロックレバーを押します。
2. 前面端子台を、手前に倒す様に引きます。
3. 前面端子台下部にある切欠きを、本体部の突起から外します。

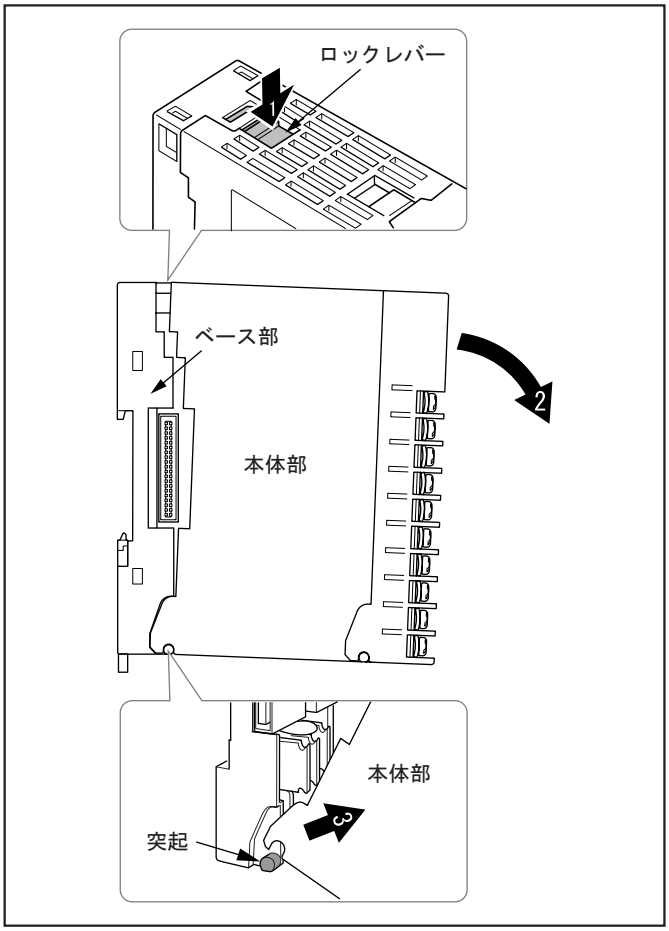


ポイント

- 本体部と前面端子台の取り付けは、取り外しの逆の手順で行ってください。
- 取付後には、本体部のロックレバーが、前面端子台に確実に嵌っていることを確認してください。

ベース部の外しかた

1. 本体部上部のロックレバーを押します。
2. 本体部を、手前に倒す様に引きます。
3. 本体部下部後端にある切欠きを、ベース部の突起から外します。



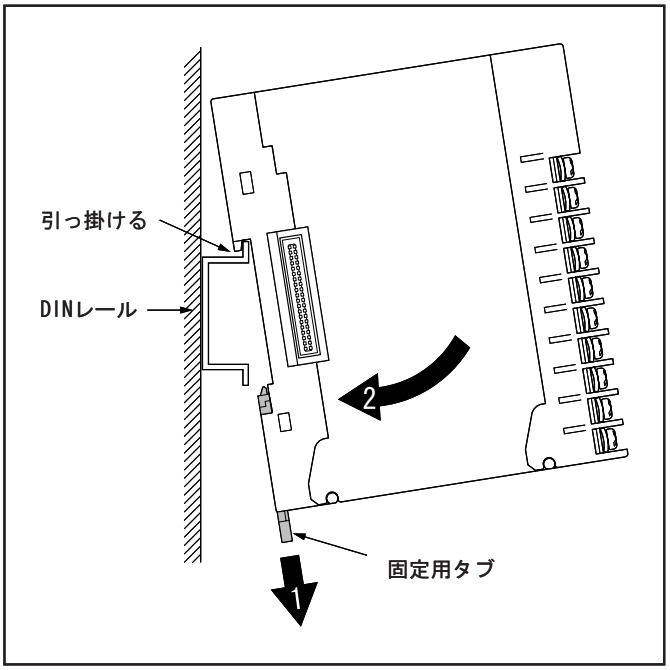
ポイント

- 本体部とベース部の取り付けは、取り外しの逆の手順で行ってください。
- 取付後には、本体部のロックレバーが、ベース部に確実に嵌っていることを確認してください。

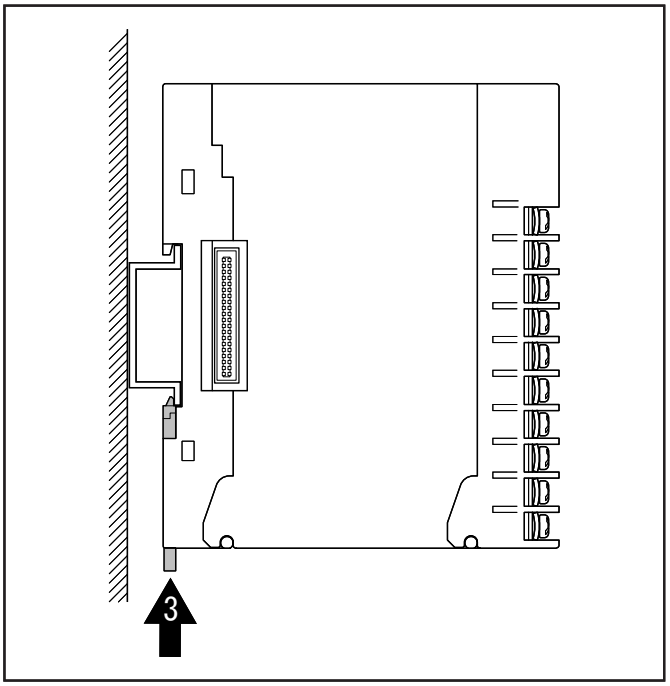
DIN レールへの取付け

モジュールの取付け

1. ベース部の固定用タブを引き下げ、モジュール背面の突起を DIN レールの上側に引っ掛けます。
2. モジュールを矢印 2 の方向に押し付けます。



3. 固定用タブを押し上げ、モジュールをレールに固定します。



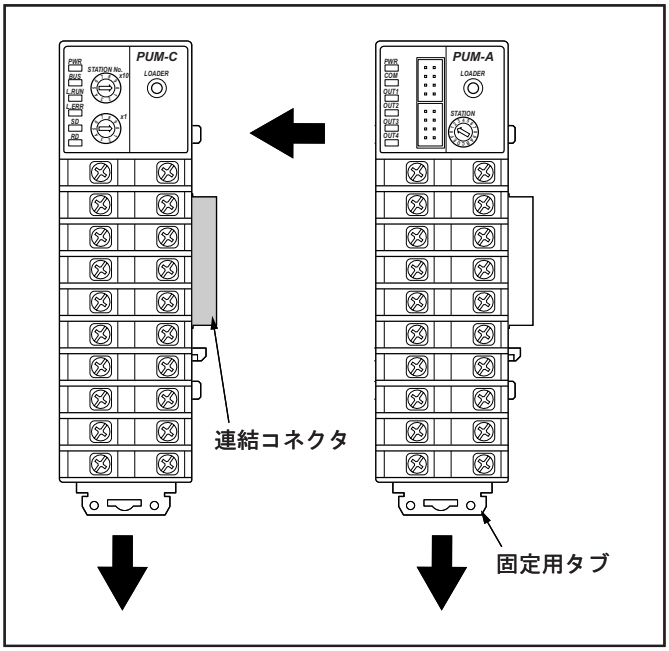
ポイント

- レールに引っ掛けてからモジュールを連結する場合は、モジュールの連結後に固定用タブを押し上げます。

モジュールの連結

1. 固定用タブが引き下げられている事を確認します。

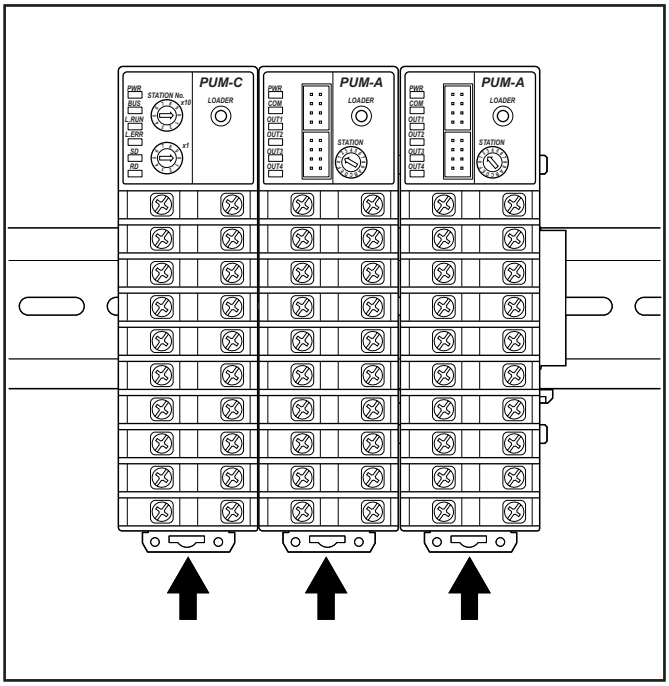
2. 連結コネクタ同士を接続し、モジュールを連結します。



3. DIN レールに取り付けたら全てのモジュールの固定タブを押し上げます。

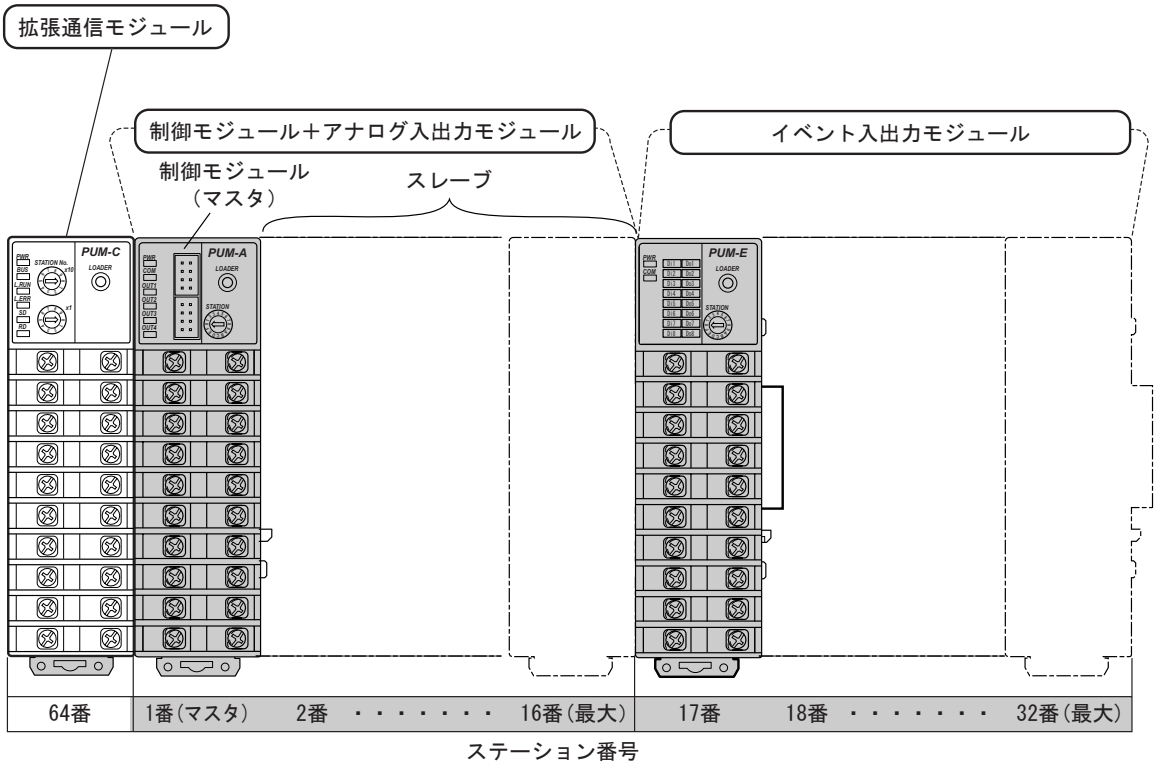
   固定用タブを押し上げると、DIN レールへの固定とモジュール同士の連結ロックが同時に行われます。

4. 連結されたモジュール間では、電源は内部で互いに接続されています。



モジュールの並び順

PUM シリーズの連結は、下図のように行います。



ポイント

拡張通信モジュールは、必ず左端に配置します

- 拡張通信モジュールは、マスタに設定した制御モジュールの左側に連結します。つまり、必ずシステムの左端になります。

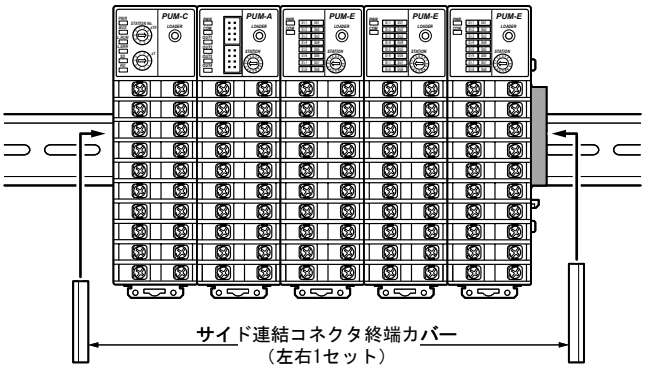
基本的に左から、ステーション番号順に連結します

- 制御モジュールとアナログ入出力モジュールには、ステーション番号 1 ～ 16 番を設定します。併せて最大 16 台まで連結できます。システム内でステーション番号が重複しないようにしてください。
- マスタ／スレーブを設定する場合は、ステーション番号 1 に設定した制御モジュールをマスタとします。拡張通信モジュールを使用しない場合、マスタモジュールがシステムの左端になります。
- イベント入出力モジュールのステーション番号にはステーション番号 17 ～ 32 番を設定します。最大 16 台まで連結できます。システム内でステーション番号が重複しないようにしてください。

3.4 アクセサリ（別売品）の取り付け

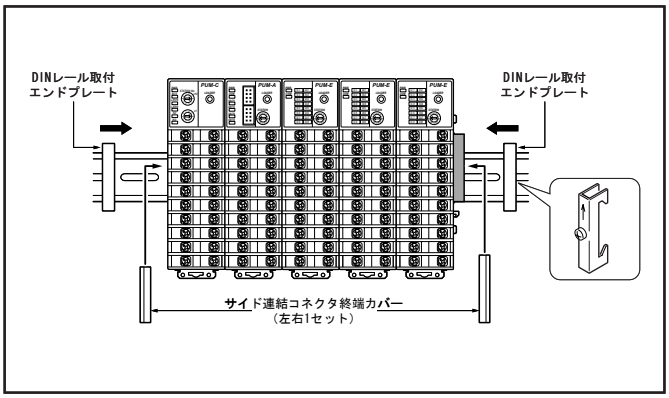
サイド連結コネクタ終端カバーの取り付け

連結したモジュールの両端は、連結コネクタがむき出し状態になっています。事故防止およびコネクタ保護のため、サイド連結コネクタ終端カバー（PUMZ ＊ A03）の取り付けを推奨します。



エンドプレートの取り付け

本器を DIN レールにより強固に固定したい場合は、別売りのエンドプレート（PUMZ ＊ A02）をご使用ください。



注 意

- エンドプレートを取り付ける時は、必ずサイド連結コネクタ終端カバーを先に取り付けてください。

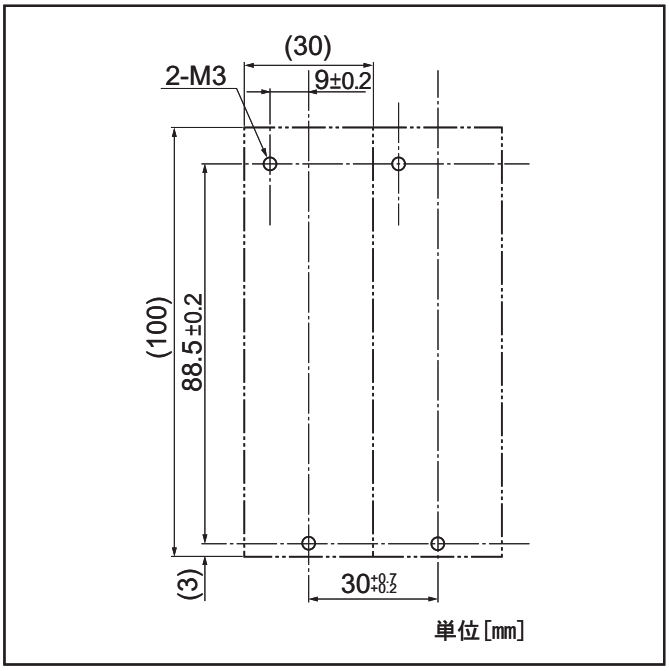
3.5 ネジによる取り付け

ネジで壁面に固定する場合は、予め取り付けるモジュールのベース部を確認してください。

ポイント

- 本器に固定用ネジは付属しておりません。M3 のネジをモジュール 1 台あたり 2 本ずつご用意ください。

1. 右図から取付け穴ピッチを参照し、取り付け場所を決めます。



2. モジュール本体部をベース部から取り外します。

   「3.3 モジュールの取り付け」 ▶▶ 3-6

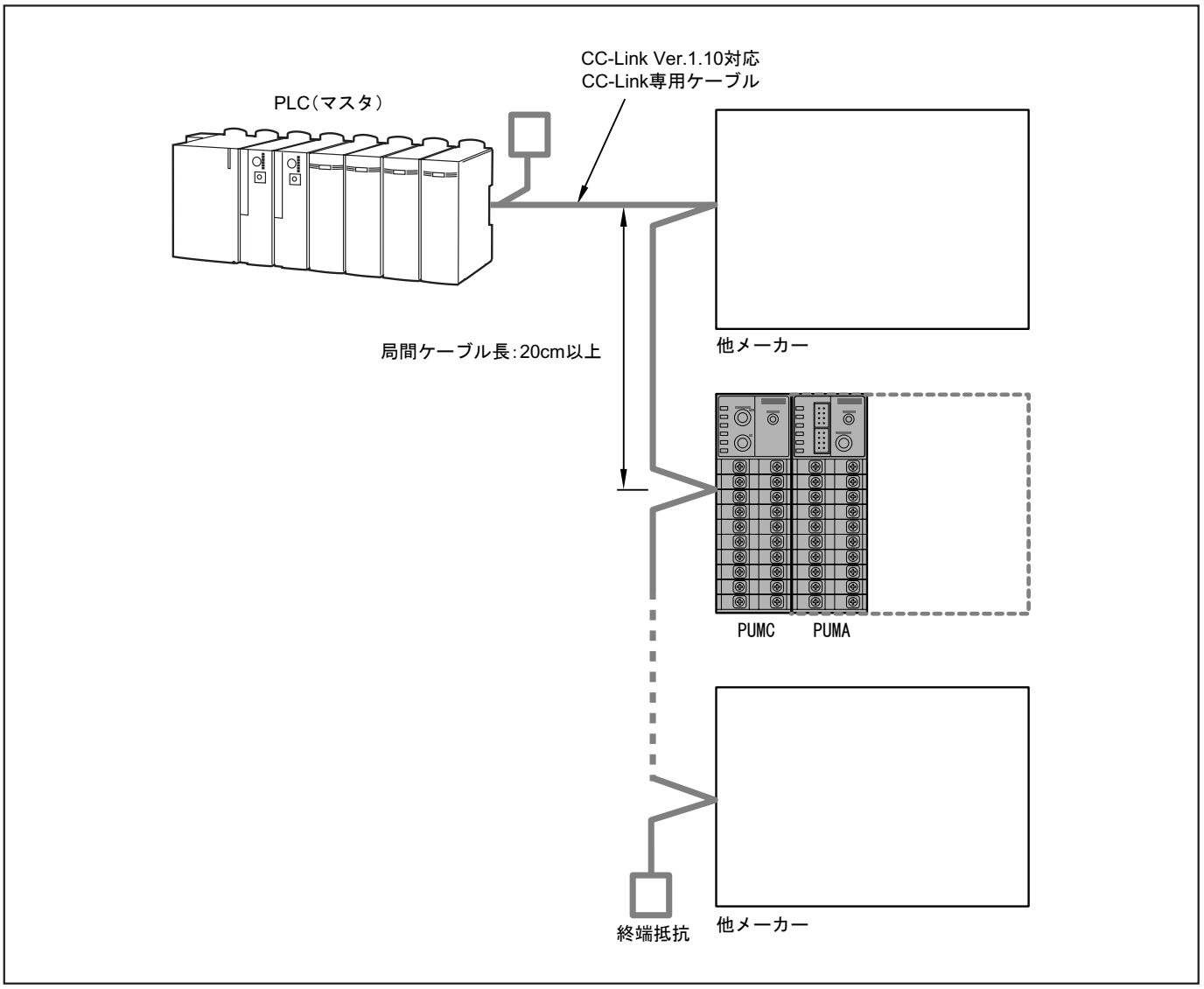
3. ベース部を連結し、全ての固定用タブを押し上げてロックします。
4. 取付けネジで、ベース部を取り付け位置に固定します。
5. モジュール本体をベース部に取り付けます。

3.6 接続

CC-Link 接続

PUM シリーズ温度調整システムを、本器を介して CC-Link 接続します。

- 本器が CC-Link 局となり、64 局中 PUM シリーズは 4 局占有します。
- 下図のように PLC（マスタ）と CC-Link Ver.1.10 対応 CC-Link 専用ケーブルでマルチドロップ接続します。
- CC-Link 通信ラインの両端には終端抵抗が必要です。



警 告

- 感電防止および機器故障防止のため、本器や周辺機器の電源を OFF にしてから、接続および切り離しを行ってください。

ポイント

- 本器に CC-Link 専用ケーブルは付属しておりません。CC-Link Ver.1.10 対応 CC-Link 専用ケーブルを別途ご用意ください。
- ケーブルの仕様、接続方法および取り扱いメーカーについては、CC-Link 協会のホームページを参照してください。
  ホームページアドレス：http: ／／ www.cc-link.org ／
- 通信速度と最大伝送距離は下表のようになります。

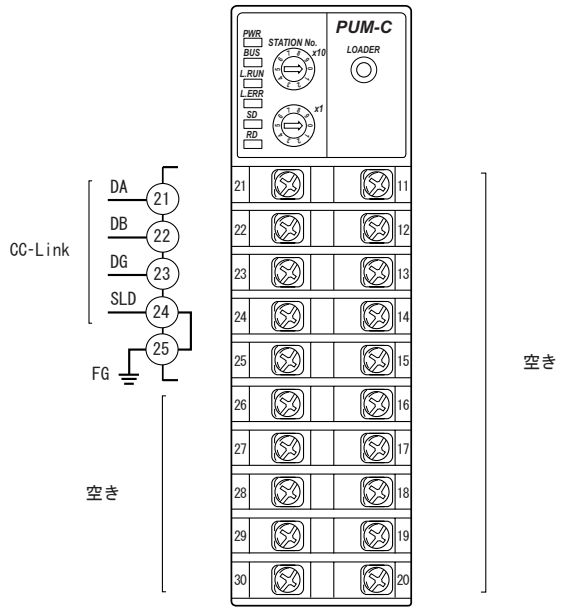
通信速度と最大伝送距離（Ver.1.10 対応 CC-Link 専用ケーブル使用時）

通信速度設定	局間ケーブル長	最大伝送距離（ネットワーク最大長）
10Mbps	20cm 以上	100m
5Mbps		160m
2.5Mbps		400m
625kbps		900m
156kbps		1200m

※通信速度については、「4.1 CC-Link 通信設定」を参照してください。▶▶ 4-3

※詳細は、CC-Link 協会発行の CC-Link 敷説マニュアルを参照してください。

端子図

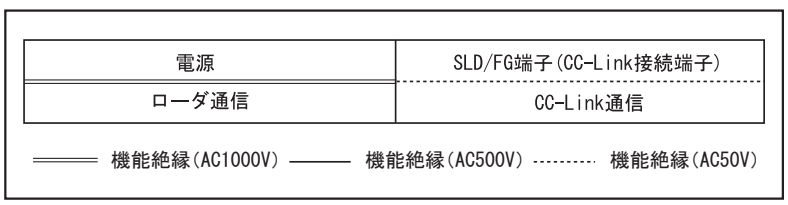


端子番号	記号	ケーブル色
21	DA	青
22	DB	白
23	DG	黄
24	SLD	接地線（シールド）
25	FG	−

ポイント

通信端子番号と信号内容

- CC-Link 通信端子はオンライン着脱はできません。本器はリンク全体をダウンしないと交換できません。また、端子番号 25 の FG（フレームグランド）端子は、あくまでも CC-Link 機能上の FG（フレームグランド）であり、PUM システム全体のものではありません。
- CC-Link Ver.1.10 対応 CC-Link 専用ケーブルのシールド線は、各コントローラーの SLD 端子および FG 端子を経由して、両端を D 種（旧第 3 種）接地してください。なお、SLD 端子と FG 端子は、内部で接続されています。
- 接地線は他の機器と共用しないでください。また、接地線は 20mm^2 以上の線材を使用してください。
- 端子間の絶縁は下記表の通りです。設置に先立ち、本器の絶縁クラスが使用要求を満足しているか必ずご確認ください。

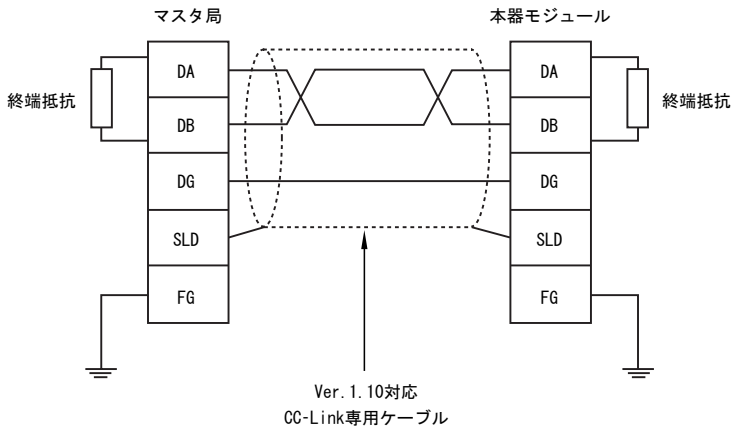


※詳細は、CC-Link 協会発行の CC-Link 敷説マニュアルを参照してください。

終端抵抗の接続

CC-Link 通信ラインの両端には、終端抵抗を取り付ける必要があります。

終端抵抗は DA-DB 端子間に接続してください。



ポイント

- 終端抵抗は下記の仕様のものを使用してください。
  110 Ω± 5% 1 ／ 2W

モジュール連結

本器に連結できるモジュールは、以下のとおりです。

- PUMA ／ B（制御モジュール）、PUMV（アナログ入出力モジュール）、PUME（イベント入出力モジュール）

ポイント

- 本器 1 台に対して、最大 32 台までモジュールを連結できます。ただし、モジュールの種類により制限があります。各モジュールのユーザーズマニュアルを参照してください。
- モジュールを連結した場合、電源ラインは各モジュールのいずれかへ供給すれば共有できます。

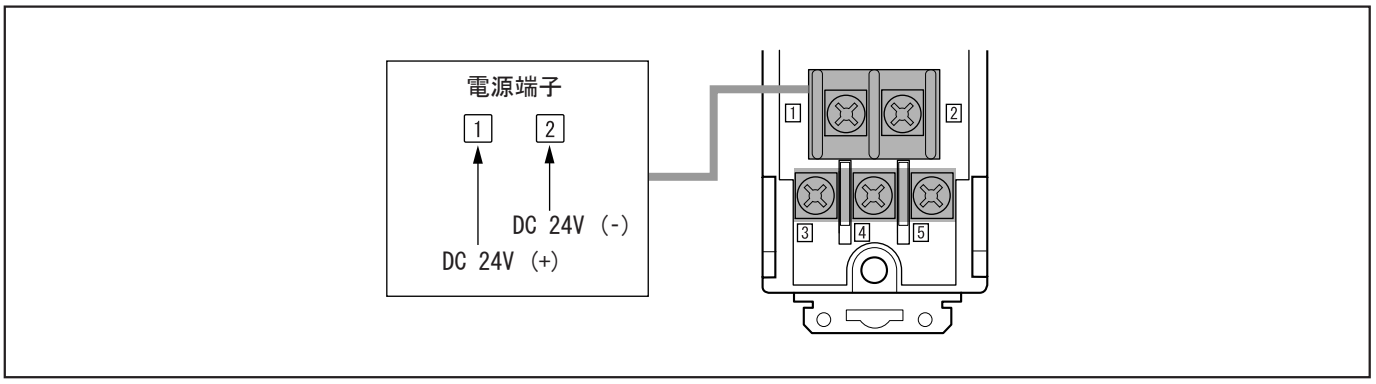
電源の結線

端子配置

電源端子は、各モジュールのベース部にあります。

端子配置は、全てのモジュールで共通です。

この端子は、１つのモジュールに接続すると、連結されているモジュールすべてに供給されます。



注　意

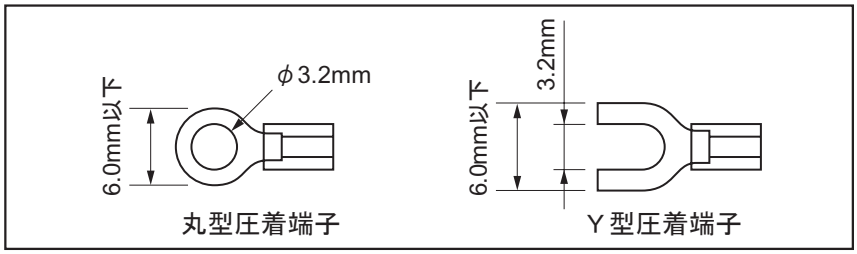
- 端子台への結線には、ネジサイズ M3 の圧着端子を使用してください。
  本機器に付属されているネジ以外は使用しないでください。
  端子台のネジサイズ　　：M3 × 7（角座付き）
  締付けトルク　　：0.78N·m（8kgf・cm）
- 電源の結線には、連結モジュールの消費電流合計に対し、余裕のある配線を使用してください。
- 電源端子への渡り配線はしないでください。
- 結線時にご使用になられる電線、圧着端子サイズは下記のものをご使用ください。

電線サイズ

部品	サイズ
熱電対（補償導線）	1.25mm^2 以下
電線	1.25mm^2 以下

圧着端子サイズ

適合電線サイズ	締付トルク
0.25 ～ 1.25mm^2	0.8Nm



4章 拡張通信機能の設定

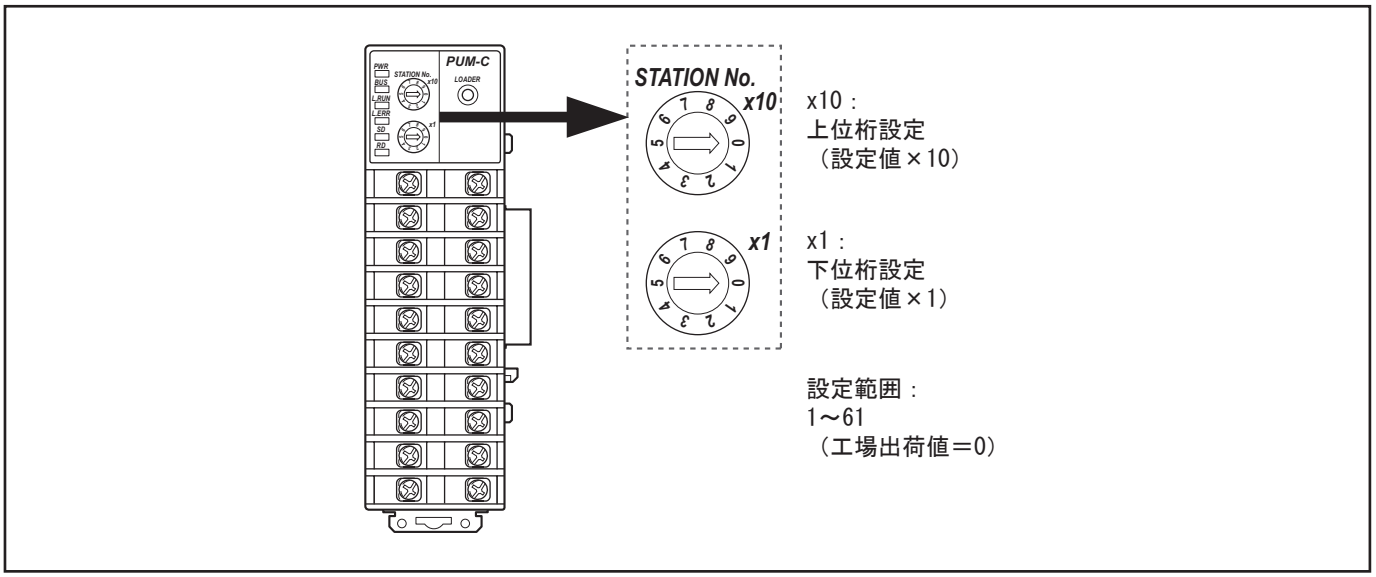
4.1 CC-Link 通信設定 ····· 4-3

4.1 CC-Link 通信設定

PUM モジュール（リモートデバイス局）と PLC（マスタ局）間で通信を行うためには、局番と通信速度の設定が必要です。

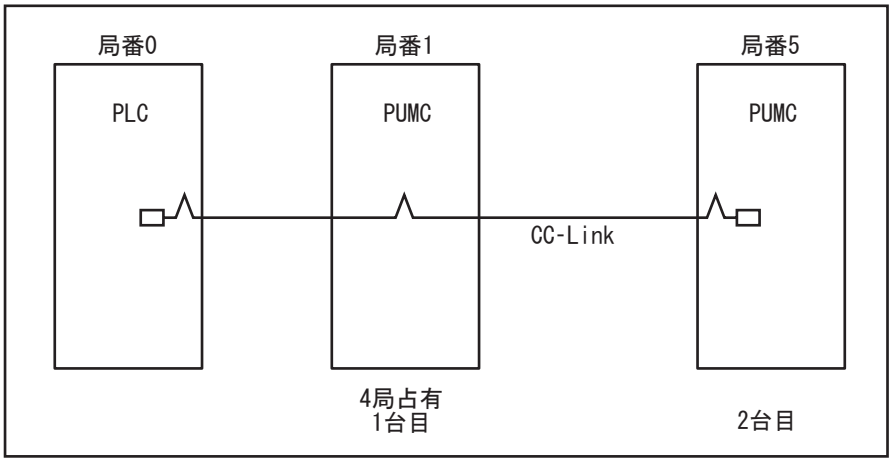
CC-Link 局番設定

CC-Link の局番を設定します。局番は 1 ～ 61 まで設定することができます。
先の細いマイナスドライバ等を使用し、スイッチを切替えてください。



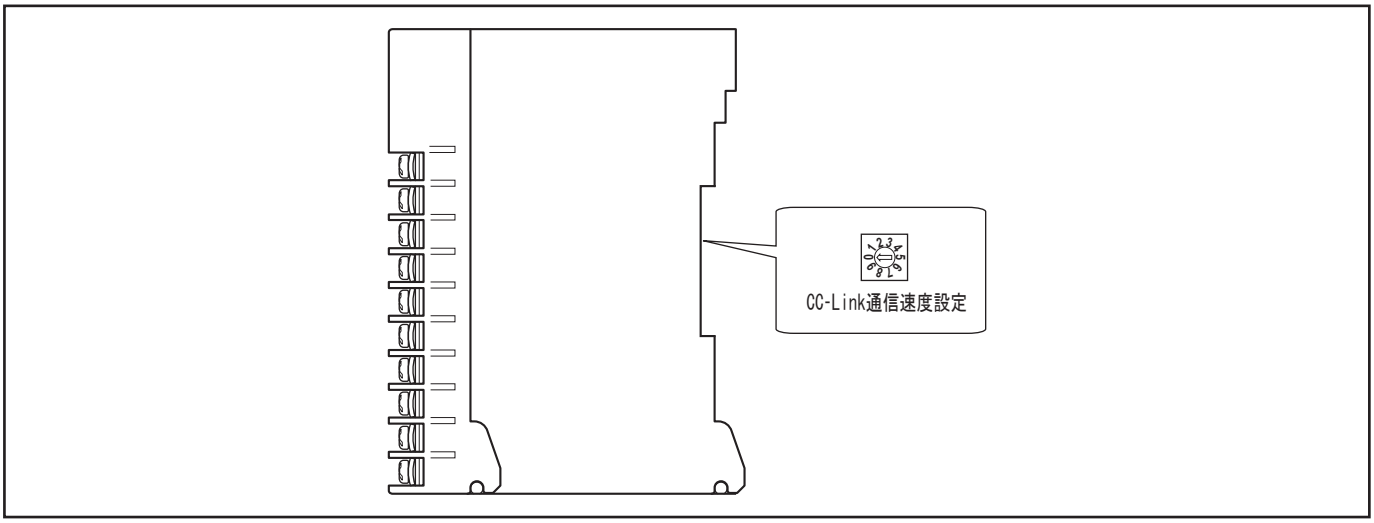
注 意

- 「0」または「62」以上を選択した場合は、局番選択エラーになり、「L.ERR」LEDが点灯します。
- 下図の様に、2 台目以上のリモートデバイス局を使用するときは、1 台目の占有局数により、2 台目の指定局番が変わります。
  1 台目が 4 局占有で局番が「1」のときは、2 台目の局番は「5」になります。



CC-Link 通信速度設定

モジュールの本体部背面右側にあるロータリースイッチで、CC-Link の通信速度設定を行います。
先の細いマイナスドライバ等を使用し、スイッチを切替えてください。



通信速度と最大伝送距離（Ver. 1.10 対応 CC-Link 専用ケーブル使用時）

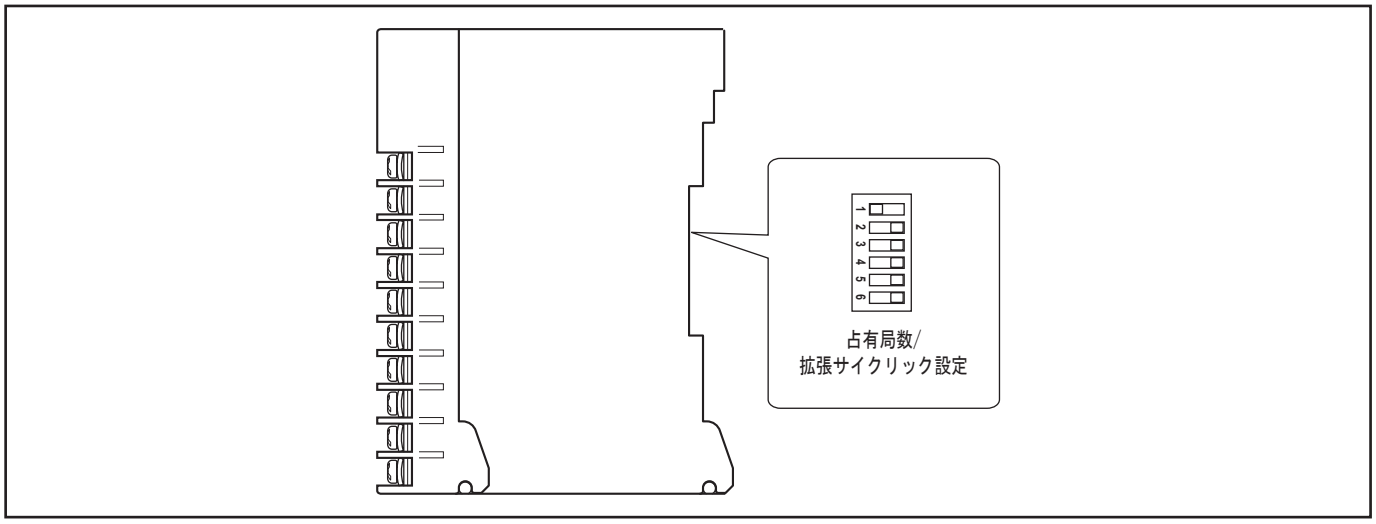
通信速度設定	通信速度	最大伝送距離（ネットワーク最大長）
0	156kbps	1200m
1	625kbps	900m
2	2.5Mbps	400m
3	5Mbps	160m
4	10Mbps	100m

注　意

「5」～「9」を選択した場合は、ボーレート選択エラーとなり、「L.ERR」LED が点灯します。

占有局数／拡張サイクリック設定

モジュールの本体部背面左側にあるディップスイッチ（SW1 ～ SW4）で、占有局数／拡張サイクリックの設定を行います。



以下の 6 モードから設定します。

SW1	SW2	SW3	SW4	占有局数 / 拡張サイクリック設定（ループ数）	Ver. 対応
OFF	OFF	OFF	OFF	4 局占有 1 倍設定（8 ループ）	Ver.1
ON	OFF	OFF	OFF	4 局占有 1 倍設定（16 ループ）	
OFF	ON	OFF	OFF	4 局占有 2 倍設定（16 ループ）	Ver.2
ON	ON	OFF	OFF	4 局占有 2 倍設定（32 ループ）	
OFF	OFF	ON	OFF	4 局占有 4 倍設定（32 ループ）	
ON	OFF	ON	OFF	4 局占有 4 倍設定（64 ループ）	

＊ループ数は Ch 数と呼ぶ場合もあります

注　意

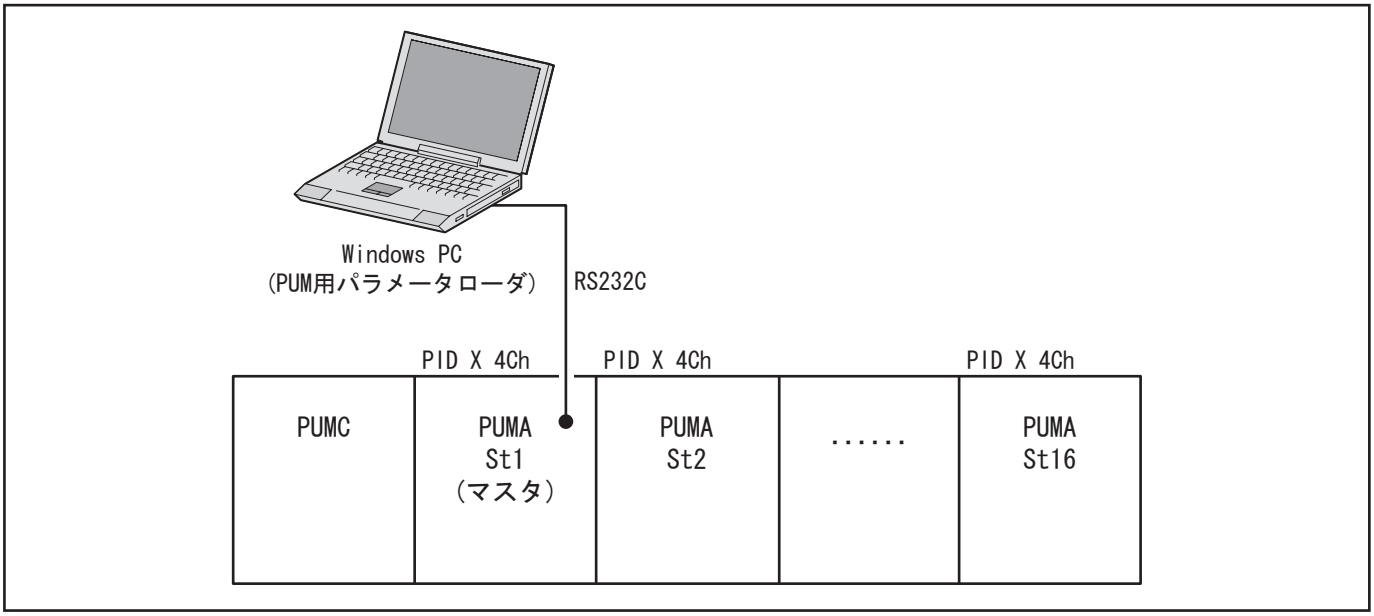
ディップスイッチを上記以外の設定にした場合は、「4 局占有 1 倍設定（8 ループ）」が設定されます。

チャンネルの割り当てについて

チャンネルの割り当ては、ローダ通信ポートを使用する場合と CC-Link を使用する場合で異なります。

ローダ通信ポートにパソコンを接続し PUM 用パラメータローダで監視する場合

<4Ch モジュール通常 PID が 16 台の構成 >



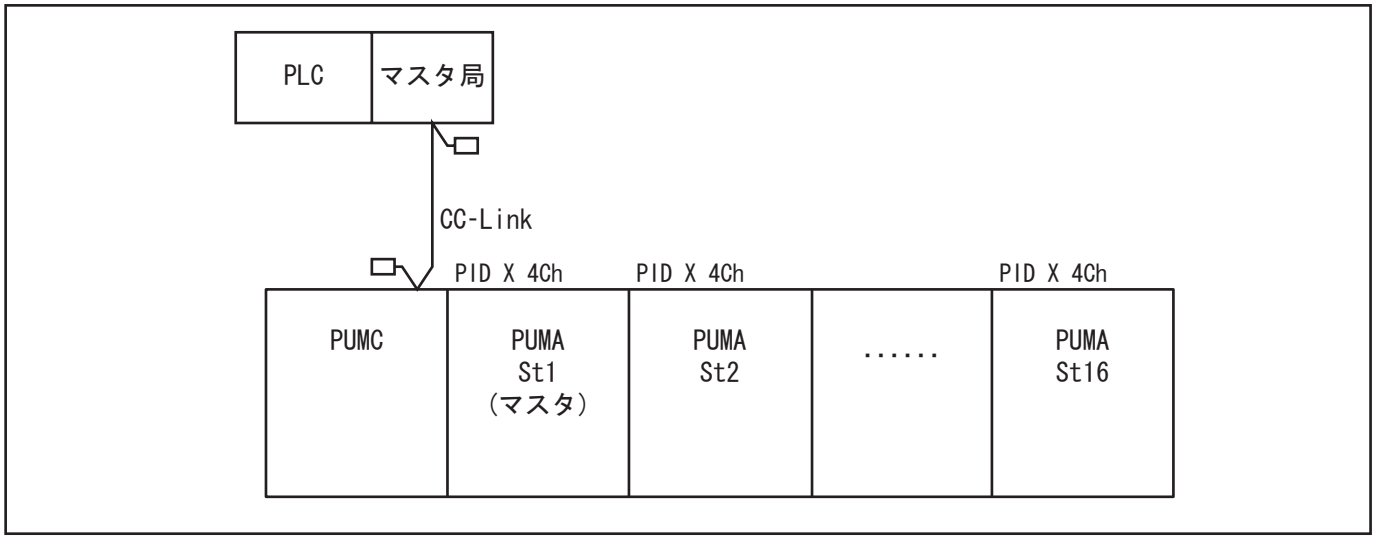
PUM 用パラメータローダで見たイメージ

	St1				St2				…	St16			
	Ch1	Ch2	Ch3	Ch4	Ch1	Ch2	Ch3	Ch4	…	Ch1	Ch2	Ch3	Ch4
PV	○	○	○	○	○	○	○	○	…	○	○	○	○
MV (加熱)	○	○	○	○	○	○	○	○	…	○	○	○	○
MV (冷却)	―	―	―	―	―	―	―	―	…	―	―	―	―

Ch は、St 毎に 1 ～ 4Ch で割り当てられ、Ch 毎にデータがあります。

CC-Link 通信で PLC と接続し監視する場合

<4Ch モジュール通常 PID が 16 台の構成 >



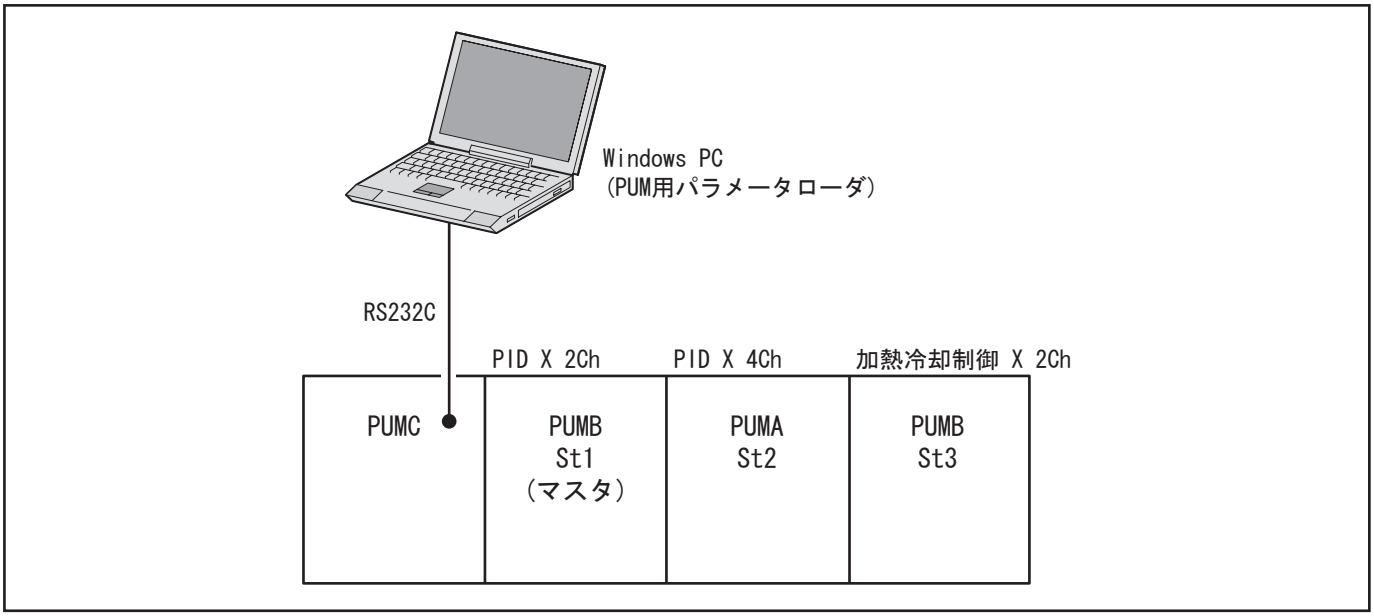
PLC 上のメモリイメージ

	St1				St2				…	St16			
	Ch1	Ch2	Ch3	Ch4	Ch5	Ch6	Ch7	Ch8	…	Ch61	Ch62	Ch63	Ch64
PV	○	○	○	○	○	○	○	○	…	○	○	○	○
MV（加熱）	○	○	○	○	○	○	○	○	…	○	○	○	○
MV（冷却）	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	…	ー	ー	ー	ー

Ch は、St1 から通番号で割り当てられ、Ch1 ～ 64 毎にデータがあります。

ローダ通信ポートにパソコンを接続し PUM 用パラメータローダで監視する場合

<2Ch モジュール、4Ch モジュール、通常 PID、加熱冷却制御の混在構成 >



PUM 用パラメータローダで見たイメージ

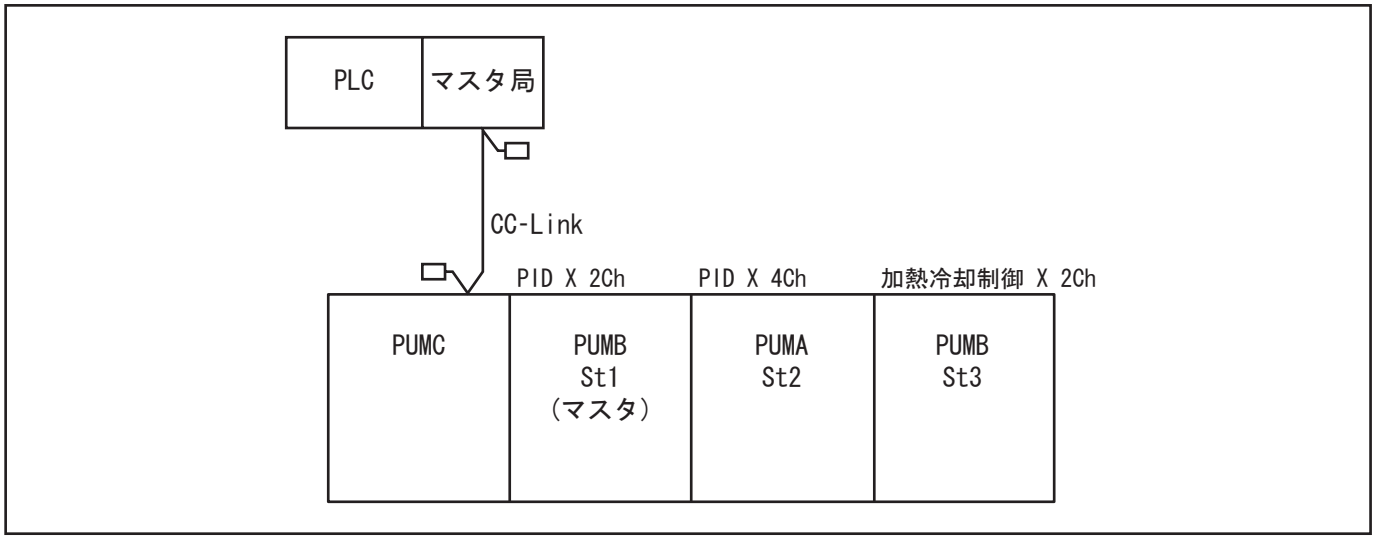
	St1				St2				St3			
	Ch1	Ch2	空	空	Ch1	Ch2	Ch3	Ch4	Ch1	Ch2	空	空
PV	○	○	空	空	○	○	○	○	○	○	空	空
MV (加熱)	○	○	空	空	○	○	○	○	○	○	空	空
MV (冷却)	ー	ー	空	空	ー	ー	ー	ー	○	○	空	空

Ch は、St 毎に 1 ～ 2Ch 及び 1 ～ 4Ch で割り当てられ、Ch 毎にデータがあります。

2Ch モジュールが存在する場合は、空き Ch が生じます。

CC-Link 通信で PLC と接続し監視する場合

<2Ch モジュール、4Ch モジュール、通常 PID、加熱冷却制御の混在構成 >



PLC 上のメモリイメージ

	St1				St2				St3			
	Ch1	Ch2	空	空	Ch5	Ch6	Ch7	Ch8	Ch9	Ch10	空	空
PV	○	○	空	空	○	○	○	○	○	○	空	空
MV（加熱）	○	○	空	空	○	○	○	○	○	○	空	空
MV（冷却）	ー	ー	空	空	ー	ー	ー	ー	○	○	空	空

Ch は、St1 から通番号で割り当てられ、Ch1 ～ 64 毎にデータがあります。

2Ch モジュールが存在する場合は、空き Ch が生じます。

5章 通信機器の説明

5.1 マスタ局と PUMC モジュール（リモートデバイス局）のインターフェイス概要 …… 5-3

5.2 データ取扱上の注意 …… 5-6

5.3 リモート入出力一覧 …… 5-7

5.4 リモートレジスター覧 …… 5-38

5.5 拡張番号の設定 …… 5-54

5.6 拡張番号一覧 …… 5-56

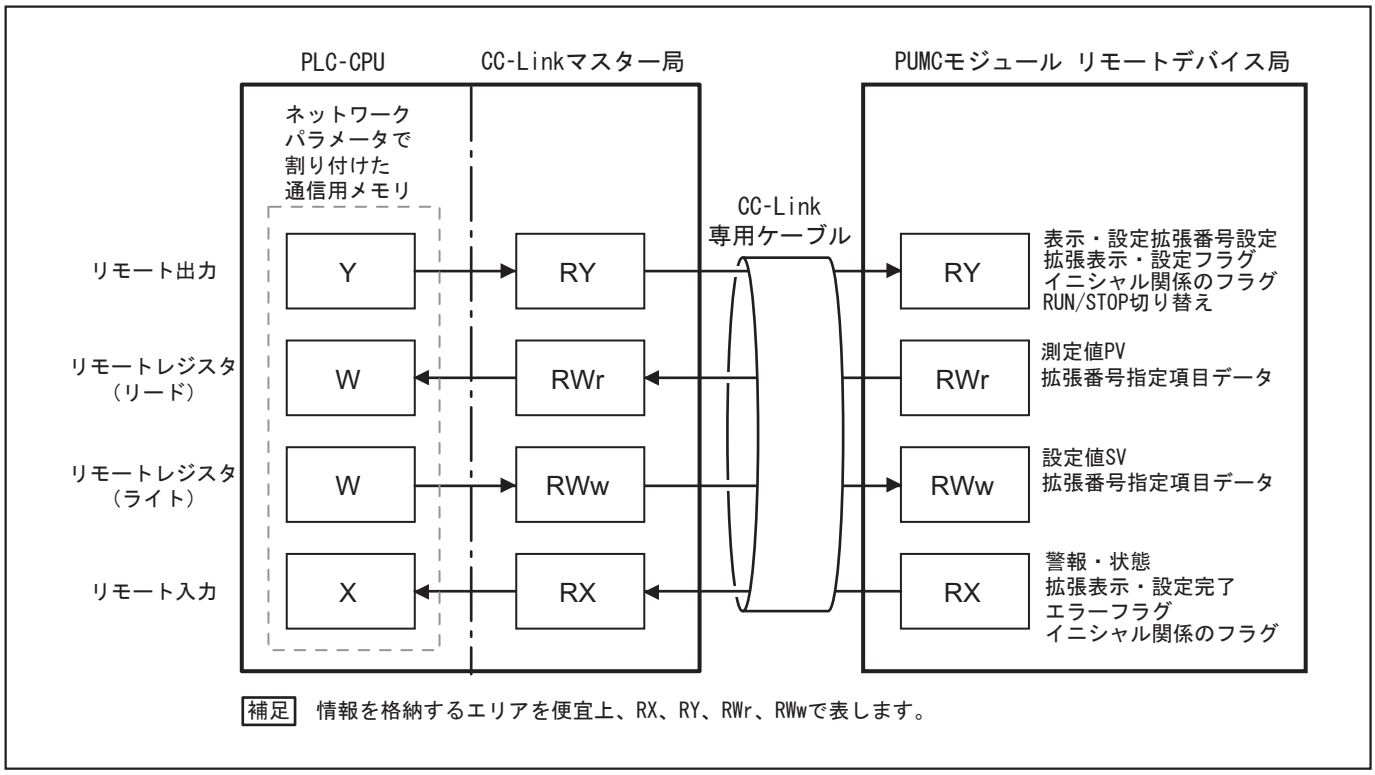
5.7 CC-Link フラグ操作 …… 5-74

5.8 サンプルプログラム …… 5-77

5.1 マスタ局と PUMC モジュール（リモートデバイス局）のインターフェイス概要

リモートデバイス局である PUMC モジュール（CC-Link）は、リモート入力 (RX)、リモート出力 (RY) およびリモートレジスタ (RWw、RWr) の領域を使用して PLC とインターフェイスします。

インターフェイス概略



リモート出力

リモート出力とは、リモートデバイス側を操作する為の bit 情報です。

リモートレジスタで扱うデータを指定する役目があります。

主に以下の機能があります。

信号	説明
表示用拡張番号の設定	リモートレジスタにリモートデバイス側から読み込みたいデータの拡張番号を指定
設定用拡張番号の設定	リモートレジスタにリモートデバイス側へ書き込みたいデータの拡張番号を指定
拡張表示フラグ	読み込み実行
拡張設定フラグ	書き込み実行
イニシャル関係のフラグ	イニシャル要求や完了の操作を実行
RUN/STOP の切替	制御モジュールの動作・停止を操作

リモート入力

リモート入力とは、リモートデバイス側の状態を表す bit です。

主な状態表示は以下の通りです。

信号	説明
警報	制御モジュールから上げられる警報
状態	制御モジュールから上げられる状態
拡張表示完了フラグ	読み込み実行の終了を知らせるフラグ
拡張設定完了フラグ	書き込み実行の終了を知らせるフラグ
イニシャル関係のフラグ	イニシャル要求や完了の状態
エラーフラグ	CC-Link 通信に関する情報

リモートレジスタ

リモートデバイス側に対して、読み込みをしたり、書き込みをする為のワード領域です。

占有局数／拡張サイクリック設定により、扱われるデータが異なります。

詳細はリモートレジスタについてを参照してください。

ポイント

マスタ局（PLC）が STOP 状態の場合は、リモート出力（RY）、リモートレジスタ（RWw）への書き込みが本機器に反映されません。

交信についての詳細は、PLC の取扱説明書を参照してください。

リモートレジスタについて

リモートレジスタは、占有局数／拡張サイクリック設定により用途が異なります。4 局占有 1 倍設定で説明します。

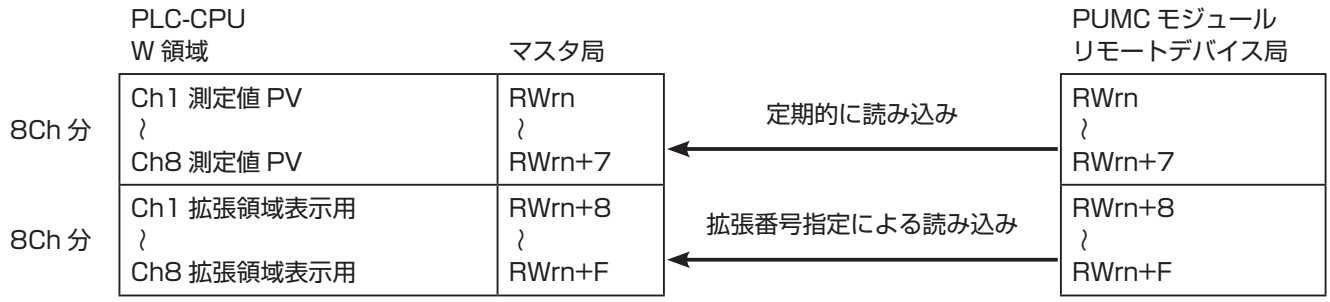
4 局占有 1 倍設定 8Ch

リモートレジスタ（リード）

伝送は 2 つの領域に分かれます。

1. PV 値が定期的に読み込まれる領域
2. 指定した拡張番号に対応したデータを読み込む領域

   拡張番号は、リモート出力（bit 出力）によって指定します。

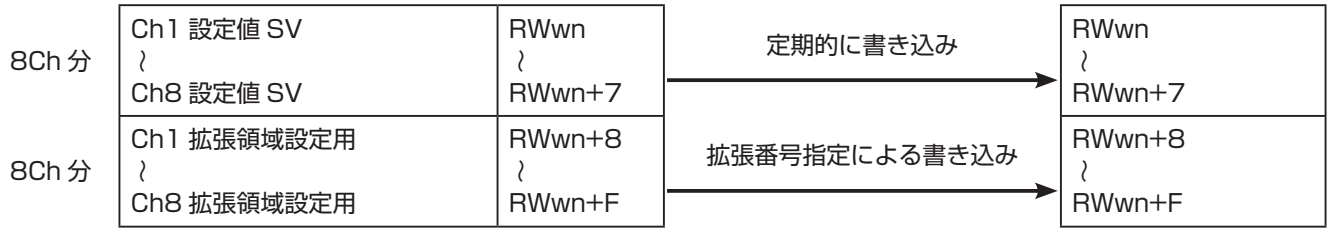


リモートレジスタ（ライト）

伝送は 2 つの領域に分かれます。

1. SV 値を定期的に書き込む領域
2. 指定した拡張番号に対応したデータを書き込む領域

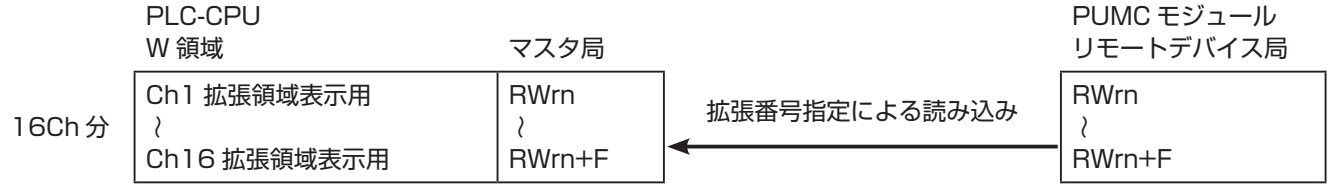
   拡張番号は、リモート出力（bit 出力）によって指定します。



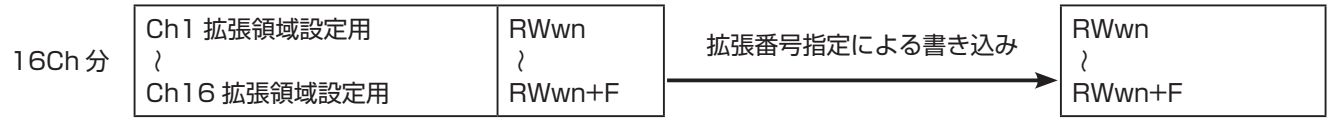
4 局占有 1 倍設定 16Ch

全ての領域が指した拡張番号に対応したデータを扱います。拡張番号はリモート出力（bit 出力）によって指定します。

リモートレジスタ（リード）



リモートレジスタ（ライト）



5.2 データ取扱上の注意

PUM モジュールとの送受信で得られる数値（リモートレジスタ）には、小数点なしの場合、小数点ありの場合、およびマイナスの場合があります。

注 意

「5.6 拡張番号一覧」に記載のないアドレスへのアクセスは、しないでください。▶▶ 5-56

小数点なしの場合

小数点がない場合はそのままの値になります。

（例）SV 値が 100℃のときのリモートレジスタ読み取り値
10 進表示：100　　16 進表示：64H

小数点ありの場合

数値に小数点がある場合は、小数点が省略されます。

（例）測定値（PV）が 101.1℃のときのリモートレジスタ読み取り値
10 進表示：1011　　16 進表示：03F3H

マイナスの場合

数値がマイナスの場合、「2」の補数表現でマイナスが表されます。
すなわち、16 進数の 10000H からそのマイナス値を引いた値となります。

（例）測定値（PV）が -1.1℃のときのリモートレジスタ読み取り値
10 進表示：-11　　16 進表示：FFF5H（10000H-BH）

5.3 リモート入出力一覧

リモート入力（RX）とリモート出力（RY）は、bit 情報です。

ポイント

- 一覧表中の「n」は、CC-Link 局番設定によってマスタ局に付けられたアドレスです。
  次の計算式で算出します。ただし、計算式は当社 PUM モジュールのみでネットワークを構成し、すべての占有局数／拡張サイクリック設定が同じ設定の場合です。

占有局数／拡張サイクリック設定	計算式
4 局占有 1 倍設定	$n=\frac{(局番-1)\times 32}{16}$
4 局占有 2 倍設定	$n=\frac{(局番-1)\times 56}{16}$
4 局占有 4 倍設定	$n=\frac{(局番-1)\times 112}{16}$

計算結果は 10 進数なので、一覧表中の n に代入する前に 16 進数に変換します。

（例）PUM モジュールの設定が、4 局占有 1 倍設定で、局番 5 の場合

$n=\frac{(5-1)\times 32}{16}=8$（10 進数）

$=8$（16 進数）

局番 5 の場合：リモート入力 RXn0 ～ RX（n + 7）F → RX80 ～ RXFF

リモート出力 RYn0 ～ RY（n + 7）F → RY80 ～ RYFF

- 使用チャンネル以外のチャンネルのデータは不使用となります。

注 意

4 局占有の PUM を連ねる場合、局番は 1、5、9 と飛ぶことになります。

4 局占有 1 倍設定

リモート入力一覧

データ方向：CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）→マスタ局（PLC）

データ容量：128 ビット

4 局占有 1 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RXn0	Ch1	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RXn1		イベント 2 状態		ー
RXn2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RXn3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RXn4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RXn5	Ch2	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RXn6		イベント 2 状態		ー
RXn7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RXn8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RXn9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RXnA	不使用		ー	ー
RXnB				
RXnC	拡張表示完了		0：OFF 1：ON	ー
RXnD	拡張設定完了		0：OFF 1：ON	ー
RXnE	不使用		ー	ー
RXnF	ハードエラーフラグ		0：OFF 1：ON CC-Link 通信モジュールのハードエラーが発生した場合に、ON になります	ー
RX (n+1) 0 ⋮ RX (n+1) F	予約		ー	ー
RX (n+2) 0	Ch3	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+2) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー

4 局占有 1 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+2) 5	Ch4	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+2) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+2) A	Ch5	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+2) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+2) F	Ch6	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 0		イベント 2 状態		ー
RX (n+3) 1		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 2		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 3		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+3) 4	Ch7	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 5		イベント 2 状態		ー
RX (n+3) 6		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 7		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 8		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+3) 9	Ch8	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) A		イベント 2 状態		ー
RX (n+3) B		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) C		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) D		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+3) E	不使用		ー	ー
RX (n+3) F				

4 局占有 1 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+4) 0	Ch9	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+4) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+4) 5	Ch10	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+4) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+4) A	Ch11	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+4) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+4) F	Ch12	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 0		イベント 2 状態		ー
RX (n+5) 1		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 2		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 3		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+5) 4	Ch13	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 5		イベント 2 状態		ー
RX (n+5) 6		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 7		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 8		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+5) 9	Ch14	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) A		イベント 2 状態		ー
RX (n+5) B		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) C		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) D		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー

4 局占有 1 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+3) E RX (n+3) F	不使用		ー	ー
RX (n+6) 0	Ch15	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+6) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+6) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+6) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+6) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+6) 5	Ch16	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+6) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+6) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+6) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+6) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+6) A ⋮ RX (n+6) F	不使用		ー	ー
RX (n+7) 0 ⋮ RX (n+7) 7	予約		ー	ー
RX (n+7) 8	イニシャルデータ処理要求フラグ		0：OFF 1：ON	ー
RX (n+7) 9	イニシャルデータ設定完了フラグ		0：OFF 1：ON	ー
RX (n+7) A	エラー状態フラグ		0：OFF	ー
RX (n+7) B	リモート Ready		0：非 Ready 状態 1：Ready 状態	ー
RX (n+7) C ⋮ RX (n+7) F	予約		ー	ー

リモート出力一覧

データ方向：マスタ局（PLC）→ CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）

データ容量：128 ビット

4 局占有 1 倍設定　リモート出力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RYn0	b0	表示用拡張番号設定	RYn0 ～ RYn5 と RY (n+1) 0 ～ RY (n+1) 3 の ON/OFF で表示用拡張番号を設定 データ 0：OFF　1：ON [10 進数表現：0 ～ 1023]	0
RYn1	b1			
RYn2	b2			
RYn3	b3			
RYn4	b4			
RYn5	b5			
RYn6	b0	設定用拡張番号設定	RYn6 ～ RYnB と RY (n+1) 8 ～ RY (n+1) B の ON/OFF で設定用拡張番号を設定 データ 0：OFF　1：ON [10 進数表現：0 ～ 1023]	0
RYn7	b1			
RYn8	b2			
RYn9	b3			
RYnA	b4			
RYnB	b5			
RYnC	拡張表示フラグ		0：OFF 1：ON	0
RYnD	拡張設定フラグ		0：OFF 1：ON	0
RYnE	不使用		―	―
RYnF	RUN/STOP 切換		0：RUN（制御開始） 1：STOP（制御停止）	0
RY (n+1) 0	b6	表示用拡張番号設定 b10 ～ b13：不使用	RYn0 ～ RYn5 と RY (n+1) 0 ～ RY (n+1) 3 の ON/OFF で表示用拡張番号を設定 データ 0：OFF　1：ON [10 進数表現：0 ～ 1023]	0
RY (n+1) 1	b7			
RY (n+1) 2	b8			
RY (n+1) 3	b9			
RY (n+1) 4	b10			
RY (n+1) 5	b11			
RY (n+1) 6	b12			
RY (n+1) 7	b13			
RY (n+1) 8	b6	設定用拡張番号設定 b10 ～ b13：不使用	RYn6 ～ RYnB と RY (n+1) 8 ～ RY (n+1) B の ON/OFF で設定用拡張番号を設定 データ 0：OFF　1：ON [10 進数表現：0 ～ 1023]	0
RY (n+1) 9	b7			
RY (n+1) A	b8			
RY (n+1) B	b9			
RY (n+1) C	b10			
RY (n+1) D	b11			
RY (n+1) E	b12			
RY (n+1) F	b13			
RY (n+2) 0	b0	予約	書き込み禁止	0
RY (n+2) 1	b1			
RY (n+2) 2	b2			
RY (n+2) 3	b3			
RY (n+2) 4	b4			
RY (n+2) 5	b5			
RY (n+2) 6	b6			
RY (n+2) 7	b7			

4 局占有 1 倍設定　リモート出力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RY (n+2) 8	b0	予約	書き込み禁止	0
RY (n+2) 9	b1			
RY (n+2) A	b2			
RY (n+2) B	b3			
RY (n+2) C	b4			
RY (n+2) D	b5			
RY (n+2) E	b6			
RY (n+2) F	b7			
RY (n+3) A ⋮ RY (n+6) F	不使用		―	―
RY (n+7) 0 ⋮ RY (n+7) 7	予約		―	―
RY (n+7) 8	イニシャルデータ処理完了フラグ		0：OFF 1：ON	0
RY (n+7) 9	イニシャルデータ設定要求フラグ		0：OFF 1：ON	0
RY (n+7) A	エラーリセット要求フラグ		0：OFF 1：ON	0
RY (n+7) B ⋮ RY (n+7) F	予約		―	―

4 局占有 2 倍設定

リモート入力一覧

データ方向：CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）→マスタ局（PLC）

データ容量：224 ビット

4 局占有 2 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RXn0	Ch1	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RXn1		イベント 2 状態		ー
RXn2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RXn3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RXn4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RXn5	Ch2	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RXn6		イベント 2 状態		ー
RXn7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RXn8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RXn9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RXnA	不使用		ー	ー
RXnB				
RXnC	拡張表示完了		0：OFF 1：ON	ー
RXnD	拡張設定完了		0：OFF 1：ON	ー
RXnE	不使用		ー	ー
RXnF	ハードエラーフラグ		0：OFF 1：ON CC-Link 通信モジュールのハードエラーが発生した場合に、ON になります	ー
RX (n+1) 0 ⋮ RX (n+1) F	予約		ー	ー
RX (n+2) 0	Ch3	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+2) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー

4 局占有 2 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+2) 5	Ch4	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+2) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+2) A	Ch5	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+2) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+2) F	Ch6	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 0		イベント 2 状態		ー
RX (n+3) 1		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 2		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 3		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+3) 4	Ch7	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 5		イベント 2 状態		ー
RX (n+3) 6		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 7		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 8		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+3) 9	Ch8	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) A		イベント 2 状態		ー
RX (n+3) B		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) C		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) D		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+3) E	不使用		ー	ー
RX (n+3) F				

4 局占有 2 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+4) 0	Ch9	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+4) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+4) 5	Ch10	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+4) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+4) A	Ch11	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+4) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+4) F	Ch12	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 0		イベント 2 状態		ー
RX (n+5) 1		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 2		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 3		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+5) 4	Ch13	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 5		イベント 2 状態		ー
RX (n+5) 6		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 7		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 8		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー

4 局占有 2 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+5) 9	Ch14	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) A		イベント 2 状態		ー
RX (n+5) B		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) C		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) D		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+5) E	不使用		ー	ー
RX (n+5) F				
RX (n+6) 0	Ch15	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+6) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+6) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+6) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+6) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+6) 5	Ch16	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+6) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+6) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+6) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+6) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+6) A ⋮ RX (n+6) F	不使用		ー	ー
RX (n+7) 0	Ch17	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+7) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+7) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+7) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+7) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+7) 5	Ch18	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+7) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+7) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+7) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+7) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー

4 局占有 2 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+7) A	Ch19	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+7) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+7) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+7) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+7) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+7) F	不使用		ー	ー
RX (n+8) 0	Ch20	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+8) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+8) 5	Ch21	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+8) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+8) A	Ch22	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+8) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+8) F	不使用		ー	ー
RX (n+9) 0	Ch23	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+9) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー

4 局占有 2 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+9) 5	Ch24	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+9) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+9) A	Ch25	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+9) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+9) F	不使用		ー	ー
RX (n+A) 0	Ch26	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+A) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+A) 5	Ch27	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+A) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+A) A	Ch28	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+A) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+A) F	不使用		ー	ー

4 局占有 2 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+B) 0	Ch29	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+B) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+B) 5	Ch30	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+B) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+B) A	Ch31	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+B) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+B) F	不使用		ー	ー
RX (n+C) 0	Ch32	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+C) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+C) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+C) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+C) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+C) 5 ⋮ RX (n+C) F	不使用		ー	ー
RX (n+D) 0 ⋮ RX (n+D) 7	予約		ー	ー
RX (n+D) 8	イニシャルデータ処理要求フラグ		0：OFF 1：ON	ー
RX (n+D) 9	イニシャルデータ設定完了フラグ		0：OFF 1：ON	ー
RX (n+D) A	エラー状態フラグ		0：OFF	ー
RX (n+D) B	リモート Ready		0：非 Ready 状態 1：Ready 状態	ー
RX (n+D) C ⋮ RX (n+D) F	予約		ー	ー

リモート出力一覧

データ方向：マスタ局（PLC）→ CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）

データ容量：224 ビット

4 局占有 2 倍設定　リモート出力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RYn0	b0	表示用拡張番号設定	RYn0 ～ RYn5 と RY (n+1) 0 ～ RY (n+1) 3 の ON/OFF で表示用拡張番号を設定 データ 0：OFF　1：ON [10 進数表現：0 ～ 1023]	0
RYn1	b1			
RYn2	b2			
RYn3	b3			
RYn4	b4			
RYn5	b5			
RYn6	b0	設定用拡張番号設定	RYn6 ～ RYnB と RY (n+1) 8 ～ RY (n+1) B の ON/OFF で設定用拡張番号を設定 データ 0：OFF　1：ON [10 進数表現：0 ～ 1023]	0
RYn7	b1			
RYn8	b2			
RYn9	b3			
RYnA	b4			
RYnB	b5			
RYnC	拡張表示フラグ		0：OFF 1：ON	0
RYnD	拡張設定フラグ		0：OFF 1：ON	0
RYnE	不使用		ー	ー
RYnF	RUN/STOP 切換		0：RUN（制御開始） 1：STOP（制御停止）	0
RY (n+1) 0	b6	表示用拡張番号設定 b10 ～ b13：不使用	RYn0 ～ RYn5 と RY (n+1) 0 ～ RY (n+1) 3 の ON/OFF で表示用拡張番号を設定 データ 0：OFF　1：ON [10 進数表現：0 ～ 1023]	0
RY (n+1) 1	b7			
RY (n+1) 2	b8			
RY (n+1) 3	b9			
RY (n+1) 4	b10			
RY (n+1) 5	b11			
RY (n+1) 6	b12			
RY (n+1) 7	b13			
RY (n+1) 8	b6	設定用拡張番号設定 b10 ～ b13：不使用	RYn6 ～ RYn8 と RY (n+1) 8 ～ RY (n+1) B の ON/OFF で設定用拡張番号を設定 データ 0：OFF　1：ON [10 進数表現：0 ～ 1023]	0
RY (n+1) 9	b7			
RY (n+1) A	b8			
RY (n+1) B	b9			
RY (n+1) C	b10			
RY (n+1) D	b11			
RY (n+1) E	b12			
RY (n+1) F	b13			

4 局占有 2 倍設定　リモート出力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RY (n+2) 0	b0	予約	書き込み禁止	0
RY (n+2) 1	b1			
RY (n+2) 2	b2			
RY (n+2) 3	b3			
RY (n+2) 4	b4			
RY (n+2) 5	b5			
RY (n+2) 6	b6			
RY (n+2) 7	b7			
RY (n+2) 8	b0	予約	書き込み禁止	0
RY (n+2) 9	b1			
RY (n+2) A	b2			
RY (n+2) B	b3			
RY (n+2) C	b4			
RY (n+2) D	b5			
RY (n+2) E	b6			
RY (n+2) F	b7			
RY (n+3) 0 ⋮ RY (n+C) F	不使用		―	―
RY (n+D) 0 ⋮ RY (n+D) 7	予約		―	―
RY (n+D) 8	イニシャルデータ処理完了フラグ		0：OFF 1：ON	0
RY (n+D) 9	イニシャルデータ設定要求フラグ		0：OFF 1：ON	0
RY (n+D) A	エラーリセット要求フラグ		0：OFF 1：ON	0
RY (n+D) B ⋮ RY (n+D) F	予約		―	―

4 局占有 4 倍設定

リモート入力一覧

データ方向：CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）→マスタ局（PLC）

データ容量：448 ビット

4 局占有 4 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RXn0	Ch1	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	―
RXn1		イベント 2 状態		―
RXn2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	―
RXn3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	―
RXn4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	―
RXn5	Ch2	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	―
RXn6		イベント 2 状態		―
RXn7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	―
RXn8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	―
RXn9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	―
RXnA	不使用		―	―
RXnB				
RXnC	拡張表示完了		0：OFF 1：ON	―
RXnD	拡張設定完了		0：OFF 1：ON	―
RXnE	不使用		―	―
RXnF	ハードエラーフラグ		0：OFF 1：ON COM-JC のハードエラーが発生した場合に、ON になります	―
RX (n+1) 0 ⋮ RX (n+1) F	予約		―	―
RX (n+2) 0	Ch3	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+2) 1		イベント 2 状態		―
RX (n+2) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+2) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	―
RX (n+2) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	―

4 局占有 4 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+2) 5	Ch4	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+2) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+2) A	Ch5	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+2) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+2) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+2) F	Ch6	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 0		イベント 2 状態		ー
RX (n+3) 1		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 2		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 3		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+3) 4	Ch7	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 5		イベント 2 状態		ー
RX (n+3) 6		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 7		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) 8		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+3) 9	Ch8	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) A		イベント 2 状態		ー
RX (n+3) B		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) C		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+3) D		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+3) E	不使用		ー	ー
RX (n+3) F				

4 局占有 4 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+4) 0	Ch9	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+4) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+4) 5	Ch10	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+4) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+4) A	Ch11	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+4) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+4) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+4) F	Ch12	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 0		イベント 2 状態		ー
RX (n+5) 1		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 2		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 3		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+5) 4	Ch13	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 5		イベント 2 状態		ー
RX (n+5) 6		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 7		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) 8		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+5) 9	Ch14	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) A		イベント 2 状態		ー
RX (n+5) B		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) C		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+5) D		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー

4 局占有 4 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+5) E	不使用		―	―
RX (n+5) F				
RX (n+6) 0	Ch15	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+6) 1		イベント 2 状態		―
RX (n+6) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+6) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	―
RX (n+6) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	―
RX (n+6) 5	Ch16	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+6) 6		イベント 2 状態		―
RX (n+6) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+6) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	―
RX (n+6) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	―
RX (n+6) A ⋮ RX (n+6) F	不使用		―	―
RX (n+7) 0	Ch17	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+7) 1		イベント 2 状態		―
RX (n+7) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+7) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	―
RX (n+7) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	―
RX (n+7) 5	Ch18	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+7) 6		イベント 2 状態		―
RX (n+7) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+7) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	―
RX (n+7) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	―
RX (n+7) A	Ch19	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+7) B		イベント 2 状態		―
RX (n+7) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+7) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	―
RX (n+7) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	―
RX (n+7) F	不使用		―	―

4 局占有 4 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+8) 0	Ch20	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+8) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+8) 5	Ch21	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+8) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+8) A	Ch22	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+8) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+8) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+8) F	不使用		ー	ー
RX (n+9) 0	Ch23	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+9) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+9) 5	Ch24	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+9) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+9) A	Ch25	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+9) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+9) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー

4 局占有 4 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+9) F	不使用		ー	ー
RX (n+A) 0	Ch26	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+A) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+A) 5	Ch27	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+A) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+A) A	Ch28	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+A) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+A) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+A) F	不使用		ー	ー
RX (n+B) 0	Ch29	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+B) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+B) 5	Ch30	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+B) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー

4 局占有 4 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+B) A	Ch31	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+B) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+B) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+B) F	不使用		ー	ー
RX (n+C) 0	Ch32	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+C) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+C) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+C) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+C) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+C) 5	Ch33	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+C) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+C) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+C) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+C) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+C) A	Ch34	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+C) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+C) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+C) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+C) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+C) F	不使用		ー	ー
RX (n+D) 0	Ch35	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+D) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+D) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+D) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+D) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー

4 局占有 4 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+D) 5	Ch36	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+D) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+D) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+D) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+D) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+D) A	Ch37	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+D) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+D) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+D) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+D) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+D) F	不使用		ー	ー
RX (n+E) 0	Ch38	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+E) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+E) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+E) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+E) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+E) 5	Ch39	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+E) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+E) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+E) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+E) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+E) A	Ch40	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+E) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+E) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+E) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+E) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+E) F	不使用		ー	ー

4 局占有 4 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+F) 0	Ch41	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+F) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+F) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+F) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+F) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+F) 5	Ch42	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+F) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+F) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+F) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+F) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+F) A	Ch43	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+F) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+F) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+F) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+F) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+F) F	不使用		ー	ー
RX (n+10) 0	Ch44	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+10) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+10) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+10) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+10) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+10) 5	Ch45	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+10) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+10) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+10) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+10) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+10) A	Ch46	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+10) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+10) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+10) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+10) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー

4 局占有 4 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+10) F	不使用		ー	ー
RX (n+11) 0	Ch47	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+11) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+11) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+11) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+11) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+11) 5	Ch48	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+11) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+11) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+11) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+11) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+11) A	Ch49	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+11) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+11) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+11) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+11) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+11) F	不使用		ー	ー
RX (n+12) 0	Ch50	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+12) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+12) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+12) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+12) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+12) 5	Ch51	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+12) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+12) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+12) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+12) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー

4 局占有 4 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+12) A	Ch52	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+12) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+12) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+12) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+12) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+12) F	不使用		ー	ー
RX (n+13) 0	Ch53	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+13) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+13) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+13) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+13) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+13) 5	Ch54	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+13) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+13) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+13) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+13) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+13) A	Ch55	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+13) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+13) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+13) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+13) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+13) F	不使用		ー	ー
RX (n+14) 0	Ch56	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+14) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+14) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+14) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+14) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー

4 局占有 4 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+14) 5	Ch57	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+14) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+14) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+14) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+14) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+14) A	Ch58	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+14) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+14) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+14) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+14) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+14) F	不使用		ー	ー
RX (n+15) 0	Ch59	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+15) 1		イベント 2 状態		ー
RX (n+15) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+15) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+15) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+15) 5	Ch60	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+15) 6		イベント 2 状態		ー
RX (n+15) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+15) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+15) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+15) A	Ch61	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+15) B		イベント 2 状態		ー
RX (n+15) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+15) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	ー
RX (n+15) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	ー
RX (n+15) F	不使用		ー	ー

4 局占有 4 倍設定　リモート入力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RX (n+16) 0	Ch62	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+16) 1		イベント 2 状態		―
RX (n+16) 2		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+16) 3		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	―
RX (n+16) 4		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	―
RX (n+16) 5	Ch63	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+16) 6		イベント 2 状態		―
RX (n+16) 7		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+16) 8		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	―
RX (n+16) 9		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	―
RX (n+16) A	Ch64	イベント 1 状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+16) B		イベント 2 状態		―
RX (n+16) C		バーンアウト状態	0：OFF 1：ON	―
RX (n+16) D		イベント 3 状態 [ヒータ断線警報（HBA）状態] を指定	0：OFF 1：ON	―
RX (n+16) E		PID/AT 切換状態	0：PID 制御 1：オートチューニング（AT）	―
RX (n+16) F	不使用		―	―
RX (n+17) 0 ⋮ RX (n+1A) F	不使用		―	―
RX (n+1B) 0 ⋮ RX (n+1B) 7	予約		―	―
RX (n+1B) 8	イニシャルデータ処理要求フラグ		0：OFF 1：ON	―
RX (n+1B) 9	イニシャルデータ処理設定フラグ		0：OFF 1：ON	―
RX (n+1B) A	エラー状態フラグ		0：OFF	―
RX (n+1B) B	リモート Ready		0：非 Ready 状態 1：Ready 状態	―
RX (n+1B) C ⋮ RX (n+1B) F	予約		―	―

リモート出力一覧

データ方向：マスタ局（PLC）→ CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）

データ容量：448 ビット

4 局占有 4 倍設定　リモート出力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RYn0	b0	表示用拡張番号設定	RYn0 ～ RYn5 と RY (n+1) 0 ～ RY (n+1) 3 の ON/OFF で表示用拡張番号を設定 データ 0：OFF　1：ON [10 進数表現：0 ～ 1023]	0
RYn1	b1			
RYn2	b2			
RYn3	b3			
RYn4	b4			
RYn5	b5			
RYn6	b0	設定用拡張番号設定	RYn6 ～ RYnB と RY (n+1) 8 ～ RY (n+1) B の ON/OFF で設定用拡張番号を設定 データ 0：OFF　1：ON [10 進数表現：0 ～ 1023]	0
RYn7	b1			
RYn8	b2			
RYn9	b3			
RYnA	b4			
RYnB	b5			
RYnC	拡張表示フラグ		0：OFF 1：ON	0
RYnD	拡張設定フラグ		0：OFF 1：ON	0
RYnE	不使用		ー	ー
RYnF	RUN/STOP 切換		RUN/STOP 切換の論理はシステムパラメータ定義テーブルの「RUN/STOP 用 RYnF の制御用」によって変わります 「RUN/STOP 用 RYnF の制御用」が 0 の場合 0：RUN（制御開始） 1：STOP（制御停止） 「RUN/STOP 用 RYnF の制御用」が 0 以外の場合 0：STOP（制御停止） 1：RUN（制御開始）	0
RY (n+1) 0	b6	表示用拡張番号設定 b10 ～ b13：不使用	RYn0 ～ RYn5 と RY (n+1) 0 ～ RY (n+1) 3 の ON/OFF で表示用拡張番号を設定 データ 0：OFF　1：ON [10 進数表現：0 ～ 1023]	0
RY (n+1) 1	b7			
RY (n+1) 2	b8			
RY (n+1) 3	b9			
RY (n+1) 4	b10			
RY (n+1) 5	b11			
RY (n+1) 6	b12			
RY (n+1) 7	b13			
RY (n+1) 8	b6	設定用拡張番号設定 b10 ～ b13：不使用	RYn6 ～ RYnB と RY (n+1) 8 ～ RY (n+1) B の ON/OFF で設定用拡張番号を設定 データ 0：OFF　1：ON [10 進数表現：0 ～ 1023]	0
RY (n+1) 9	b7			
RY (n+1) A	b8			
RY (n+1) B	b9			
RY (n+1) C	b10			
RY (n+1) D	b11			
RY (n+1) E	b12			
RY (n+1) F	b13			

4 局占有 4 倍設定　リモート出力一覧

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RY (n+2) 0	b0	予約	書き込み禁止	0
RY (n+2) 1	b1			
RY (n+2) 2	b2			
RY (n+2) 3	b3			
RY (n+2) 4	b4			
RY (n+2) 5	b5			
RY (n+2) 6	b6			
RY (n+2) 7	b7			
RY (n+2) 8	b0	予約	書き込み禁止	0
RY (n+2) 9	b1			
RY (n+2) A	b2			
RY (n+2) B	b3			
RY (n+2) C	b4			
RY (n+2) D	b5			
RY (n+2) E	b6			
RY (n+2) F	b7			
RY (n+3) 0 ⋮ RY (n+1A) F	不使用		―	―
RY (n+1B) 0 ⋮ RY (n+1B) 7	予約		―	―
RY (n+1B) 8	イニシャルデータ処理完了フラグ		0：OFF 1：ON	0
RY (n+1B) 9	イニシャルデータ設定要求フラグ		0：OFF 1：ON	0
RY (n+1B) A	エラーリセット要求フラグ		0：OFF 1：ON	0
RY (n+1B) B ⋮ RY (n+1B) F	予約		―	―

5.4 リモートレジスター覧

リモートレジスタ（RWr、RWw）は、数値データです。

ポイント

- 一覧表中の「n」は、CC-Link 局番設定によってマスタ局に付けられたアドレスです。
  次の計算式で算出します。ただし、計算式は当社 PUM モジュールのみでネットワークを構成し、すべての占有局数／拡張サイクリック設定が同じ設定の場合です。

占有局数／拡張サイクリック設定	計算式
4 局占有 1 倍設定	n =（局番− 1）× 4
4 局占有 2 倍設定	n =（局番− 1）× 8
4 局占有 4 倍設定	n =（局番− 1）× 16

計算結果は 10 進数なので、表中の n または m に代入する前に 16 進数に変換します。

（例）PUM モジュールの設定が、4 局占有 1 倍設定で、局番 5 の場合

n =（5 − 1）× 4 = 16（10 進数）→ 10（16 進数）

局番 5 の場合：リモートレジスタ RWrn ～ RWrn+F → RWr10 ～ RWr1F

RWwn ～ RWwn+F → RWw10 ～ RWw1F

- 使用チャンネル以外のチャンネルのデータは不使用となります。

注 意

4 局占有の PUM を連ねる場合、局番は 1、5、9 と飛ぶことになります。

4 局占有 1 倍設定（8Ch 割付）

リモートレジスタ（RWr）一覧

データ方向：CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）→マスタ局（PLC）

データ容量：16 ワード

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RWrn	Ch1	測定値（PV）	入力スケール下限～入力スケール上限	ー
RWrn+1	Ch2	測定値（PV）		ー
RWrn+2	Ch3	測定値（PV）		ー
RWrn+3	Ch4	測定値（PV）		ー
RWrn+4	Ch5	測定値（PV）		ー
RWrn+5	Ch6	測定値（PV）		ー
RWrn+6	Ch7	測定値（PV）		ー
RWrn+7	Ch8	測定値（PV）		ー
RWrn+8	Ch1	拡張領域表示用	表示用拡張番号設定 RYn0 ～ RYn5 と RY (n+1) 0 ～ RY (n+1) 3 によって指定した拡張番号のデータ	ー
RWrn+9	Ch2	拡張領域表示用		ー
RWrn+A	Ch3	拡張領域表示用		ー
RWrn+B	Ch4	拡張領域表示用		ー
RWrn+C	Ch5	拡張領域表示用		ー
RWrn+D	Ch6	拡張領域表示用		ー
RWrn+E	Ch7	拡張領域表示用		ー
RWrn+F	Ch8	拡張領域表示用		ー

リモートレジスタ（RWw）一覧

データ方向：マスタ局（PLC）→ CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）

データ容量：16 ワード

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RWwn	Ch1	設定値（SV）	設定リミッタ下限～設定リミッタ上限	0
RWwn+1	Ch2	設定値（SV）		0
RWwn+2	Ch3	設定値（SV）		0
RWwn+3	Ch4	設定値（SV）		0
RWwn+4	Ch5	設定値（SV）		0
RWwn+5	Ch6	設定値（SV）		0
RWwn+6	Ch7	設定値（SV）		0
RWwn+7	Ch8	設定値（SV）		0
RWwn+8	Ch1	拡張領域設定用	設定用拡張番号設定 RYn6 ～ RYnB と RY (n+1) 8 ～ RY (n+1) B によって指定した拡張番号のデータ	ー
RWwn+9	Ch2	拡張領域設定用		ー
RWwn+A	Ch3	拡張領域設定用		ー
RWwn+B	Ch4	拡張領域設定用		ー
RWwn+C	Ch5	拡張領域設定用		ー
RWwn+D	Ch6	拡張領域設定用		ー
RWwn+E	Ch7	拡張領域設定用		ー
RWwn+F	Ch8	拡張領域設定用		ー

4 局占有 1 倍設定（16Ch 割付）

リモートレジスタ（RWr）一覧

データ方向：CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）→マスタ局（PLC）

データ容量：16 ワード

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RWrn	Ch1	拡張領域表示用	表示用拡張番号設定 RYn0 ～ RYn5 と RY (n+1) 0 ～ RY (n+1) 3 によって指定した拡張番号のデータ	ー
RWrn+1	Ch2	拡張領域表示用		ー
RWrn+2	Ch3	拡張領域表示用		ー
RWrn+3	Ch4	拡張領域表示用		ー
RWrn+4	Ch5	拡張領域表示用		ー
RWrn+5	Ch6	拡張領域表示用		ー
RWrn+6	Ch7	拡張領域表示用		ー
RWrn+7	Ch8	拡張領域表示用		ー
RWrn+8	Ch9	拡張領域表示用		ー
RWrn+9	Ch10	拡張領域表示用		ー
RWrn+A	Ch11	拡張領域表示用		ー
RWrn+B	Ch12	拡張領域表示用		ー
RWrn+C	Ch13	拡張領域表示用		ー
RWrn+D	Ch14	拡張領域表示用		ー
RWrn+E	Ch15	拡張領域表示用		ー
RWrn+F	Ch16	拡張領域表示用		ー

リモートレジスタ（RWw）一覧

データ方向：マスタ局（PLC）→ CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）

データ容量：16 ワード

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RWwn	Ch1	拡張領域設定用	設定用拡張番号設定 RYn6 ～ RYnB と RY (n+1) 8 ～ RY (n+1) B によって指定した拡張番号のデータ	ー
RWwn+1	Ch2	拡張領域設定用		ー
RWwn+2	Ch3	拡張領域設定用		ー
RWwn+3	Ch4	拡張領域設定用		ー
RWwn+4	Ch5	拡張領域設定用		ー
RWwn+5	Ch6	拡張領域設定用		ー
RWwn+6	Ch7	拡張領域設定用		ー
RWwn+7	Ch8	拡張領域設定用		ー
RWwn+8	Ch9	拡張領域設定用		ー
RWwn+9	Ch10	拡張領域設定用		ー
RWwn+A	Ch11	拡張領域設定用		ー
RWwn+B	Ch12	拡張領域設定用		ー
RWwn+C	Ch13	拡張領域設定用		ー
RWwn+D	Ch14	拡張領域設定用		ー
RWwn+E	Ch15	拡張領域設定用		ー
RWwn+F	Ch16	拡張領域設定用		ー

4 局占有 2 倍設定（16Ch 割付）

リモートレジスタ（RWr）一覧

データ方向：CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）→マスタ局（PLC）

データ容量：32 ワード

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RWrn	Ch1	測定値（PV）	入力スケール下限～入力スケール上限	ー
RWrn+1	Ch2	測定値（PV）		ー
RWrn+2	Ch3	測定値（PV）		ー
RWrn+3	Ch4	測定値（PV）		ー
RWrn+4	Ch5	測定値（PV）		ー
RWrn+5	Ch6	測定値（PV）		ー
RWrn+6	Ch7	測定値（PV）		ー
RWrn+7	Ch8	測定値（PV）		ー
RWrn+8	Ch9	測定値（PV）		ー
RWrn+9	Ch10	測定値（PV）		ー
RWrn+A	Ch11	測定値（PV）		ー
RWrn+B	Ch12	測定値（PV）		ー
RWrn+C	Ch13	測定値（PV）		ー
RWrn+D	Ch14	測定値（PV）		ー
RWrn+E	Ch15	測定値（PV）		ー
RWrn+F	Ch16	測定値（PV）		ー
RWrn+10	Ch1	拡張領域表示用	表示用拡張番号設定 RYn0 ～ RYn5 と RY (n+1) 0 ～ RY (n+1) 3 によって指定した拡張番号のデータ	ー
RWrn+11	Ch2	拡張領域表示用		ー
RWrn+12	Ch3	拡張領域表示用		ー
RWrn+13	Ch4	拡張領域表示用		ー
RWrn+14	Ch5	拡張領域表示用		ー
RWrn+15	Ch6	拡張領域表示用		ー
RWrn+16	Ch7	拡張領域表示用		ー
RWrn+17	Ch8	拡張領域表示用		ー
RWrn+18	Ch9	拡張領域表示用		ー
RWrn+19	Ch10	拡張領域表示用		ー
RWrn+1A	Ch11	拡張領域表示用		ー
RWrn+1B	Ch12	拡張領域表示用		ー
RWrn+1C	Ch13	拡張領域表示用		ー
RWrn+1D	Ch14	拡張領域表示用		ー
RWrn+1E	Ch15	拡張領域表示用		ー
RWrn+1F	Ch16	拡張領域表示用		ー

リモートレジスタ（RWw）一覧

データ方向：マスタ局（PLC）→ CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）

データ容量：32 ワード

4 局占有 2 倍設定（16Ch 割付）

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RWwn	Ch1	設定値（SV）	設定リミッタ下限～設定リミッタ上限	0
RWwn+1	Ch2	設定値（SV）		0
RWwn+2	Ch3	設定値（SV）		0
RWwn+3	Ch4	設定値（SV）		0
RWwn+4	Ch5	設定値（SV）		0
RWwn+5	Ch6	設定値（SV）		0
RWwn+6	Ch7	設定値（SV）		0
RWwn+7	Ch8	設定値（SV）		0
RWwn+8	Ch9	設定値（SV）		0
RWwn+9	Ch10	設定値（SV）		0
RWwn+A	Ch11	設定値（SV）		0
RWwn+B	Ch12	設定値（SV）		0
RWwn+C	Ch13	設定値（SV）		0
RWwn+D	Ch14	設定値（SV）		0
RWwn+E	Ch15	設定値（SV）		0
RWwn+F	Ch16	設定値（SV）		0
RWwn+10	Ch1	拡張領域設定用	設定用拡張番号設定 RYn6 ～ RYnB と RY (n+1) 8 ～ RY (n+1) B によって指定した拡張番号のデータ	ー
RWwn+11	Ch2	拡張領域設定用		ー
RWwn+12	Ch3	拡張領域設定用		ー
RWwn+13	Ch4	拡張領域設定用		ー
RWwn+14	Ch5	拡張領域設定用		ー
RWwn+15	Ch6	拡張領域設定用		ー
RWwn+16	Ch7	拡張領域設定用		ー
RWwn+17	Ch8	拡張領域設定用		ー
RWwn+18	Ch9	拡張領域設定用		ー
RWwn+19	Ch10	拡張領域設定用		ー
RWwn+1A	Ch11	拡張領域設定用		ー
RWwn+1B	Ch12	拡張領域設定用		ー
RWwn+1C	Ch13	拡張領域設定用		ー
RWwn+1D	Ch14	拡張領域設定用		ー
RWwn+1E	Ch15	拡張領域設定用		ー
RWwn+1F	Ch16	拡張領域設定用		ー

4 局占有 2 倍設定（32Ch 割付）

リモートレジスタ（RWr）一覧

データ方向：CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）→マスタ局（PLC）

データ容量：32 ワード

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RWrn	Ch1	拡張領域表示用	表示用拡張番号設定 RYn0 ～ RYn5 と RY (n+1) 0 ～ RY (n+1) 3 によって指定した拡張番号のデータ	ー
RWrn+1	Ch2	拡張領域表示用		ー
RWrn+2	Ch3	拡張領域表示用		ー
RWrn+3	Ch4	拡張領域表示用		ー
RWrn+4	Ch5	拡張領域表示用		ー
RWrn+5	Ch6	拡張領域表示用		ー
RWrn+6	Ch7	拡張領域表示用		ー
RWrn+7	Ch8	拡張領域表示用		ー
RWrn+8	Ch9	拡張領域表示用		ー
RWrn+9	Ch10	拡張領域表示用		ー
RWrn+A	Ch11	拡張領域表示用		ー
RWrn+B	Ch12	拡張領域表示用		ー
RWrn+C	Ch13	拡張領域表示用		ー
RWrn+D	Ch14	拡張領域表示用		ー
RWrn+E	Ch15	拡張領域表示用		ー
RWrn+F	Ch16	拡張領域表示用		ー
RWrn+10	Ch17	拡張領域表示用		ー
RWrn+11	Ch18	拡張領域表示用		ー
RWrn+12	Ch19	拡張領域表示用		ー
RWrn+13	Ch20	拡張領域表示用		ー
RWrn+14	Ch21	拡張領域表示用		ー
RWrn+15	Ch22	拡張領域表示用		ー
RWrn+16	Ch23	拡張領域表示用		ー
RWrn+17	Ch24	拡張領域表示用		ー
RWrn+18	Ch25	拡張領域表示用		ー
RWrn+19	Ch26	拡張領域表示用		ー
RWrn+1A	Ch27	拡張領域表示用		ー
RWrn+1B	Ch28	拡張領域表示用		ー
RWrn+1C	Ch29	拡張領域表示用		ー
RWrn+1D	Ch30	拡張領域表示用		ー
RWrn+1E	Ch31	拡張領域表示用		ー
RWrn+1F	Ch32	拡張領域表示用		ー

リモートレジスタ（RWw）一覧

データ方向：マスタ局（PLC）→ CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）

データ容量：32 ワード

4 局占有 2 倍設定（32Ch 割付）

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RWwn	Ch1	拡張領域設定用	設定用拡張番号設定 RYn6 ～ RYnB と RY (n+1) 8 ～ RY (n+1) B によって指定した拡張番号のデータ	ー
RWwn+1	Ch2	拡張領域設定用		ー
RWwn+2	Ch3	拡張領域設定用		ー
RWwn+3	Ch4	拡張領域設定用		ー
RWwn+4	Ch5	拡張領域設定用		ー
RWwn+5	Ch6	拡張領域設定用		ー
RWwn+6	Ch7	拡張領域設定用		ー
RWwn+7	Ch8	拡張領域設定用		ー
RWwn+8	Ch9	拡張領域設定用		ー
RWwn+9	Ch10	拡張領域設定用		ー
RWwn+A	Ch11	拡張領域設定用		ー
RWwn+B	Ch12	拡張領域設定用		ー
RWwn+C	Ch13	拡張領域設定用		ー
RWwn+D	Ch14	拡張領域設定用		ー
RWwn+E	Ch15	拡張領域設定用		ー
RWwn+F	Ch16	拡張領域設定用		ー
RWwn+10	Ch17	拡張領域設定用		ー
RWwn+11	Ch18	拡張領域設定用		ー
RWwn+12	Ch19	拡張領域設定用		ー
RWwn+13	Ch20	拡張領域設定用		ー
RWwn+14	Ch21	拡張領域設定用		ー
RWwn+15	Ch22	拡張領域設定用		ー
RWwn+16	Ch23	拡張領域設定用		ー
RWwn+17	Ch24	拡張領域設定用		ー
RWwn+18	Ch25	拡張領域設定用		ー
RWwn+19	Ch26	拡張領域設定用		ー
RWwn+1A	Ch27	拡張領域設定用		ー
RWwn+1B	Ch28	拡張領域設定用		ー
RWwn+1C	Ch29	拡張領域設定用		ー
RWwn+1D	Ch30	拡張領域設定用		ー
RWwn+1E	Ch31	拡張領域設定用		ー
RWwn+1F	Ch32	拡張領域設定用		ー

4 局占有 4 倍設定（32Ch 割付）

リモートレジスタ（RWr）一覧

データ方向：CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）→マスタ局（PLC）

データ容量：64 ワード

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RWrn	Ch1	測定値（PV）	入力スケール下限～入力スケール上限	ー
RWrn+1	Ch2	測定値（PV）		ー
RWrn+2	Ch3	測定値（PV）		ー
RWrn+3	Ch4	測定値（PV）		ー
RWrn+4	Ch5	測定値（PV）		ー
RWrn+5	Ch6	測定値（PV）		ー
RWrn+6	Ch7	測定値（PV）		ー
RWrn+7	Ch8	測定値（PV）		ー
RWrn+8	Ch9	測定値（PV）		ー
RWrn+9	Ch10	測定値（PV）		ー
RWrn+A	Ch11	測定値（PV）		ー
RWrn+B	Ch12	測定値（PV）		ー
RWrn+C	Ch13	測定値（PV）		ー
RWrn+D	Ch14	測定値（PV）		ー
RWrn+E	Ch15	測定値（PV）		ー
RWrn+F	Ch16	測定値（PV）		ー
RWrn+10	Ch17	測定値（PV）		ー
RWrn+11	Ch18	測定値（PV）		ー
RWrn+12	Ch19	測定値（PV）		ー
RWrn+13	Ch20	測定値（PV）		ー
RWrn+14	Ch21	測定値（PV）		ー
RWrn+15	Ch22	測定値（PV）		ー
RWrn+16	Ch23	測定値（PV）		ー
RWrn+17	Ch24	測定値（PV）		ー
RWrn+18	Ch25	測定値（PV）		ー
RWrn+19	Ch26	測定値（PV）		ー
RWrn+1A	Ch27	測定値（PV）		ー
RWrn+1B	Ch28	測定値（PV）		ー
RWrn+1C	Ch29	測定値（PV）		ー
RWrn+1D	Ch30	測定値（PV）		ー
RWrn+1E	Ch31	測定値（PV）		ー
RWrn+1F	Ch32	測定値（PV）		ー

4 局占有 4 倍設定（32Ch 割付） リモートレジスタ（RWr）

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RWrn+20	Ch1	拡張領域表示用	表示用拡張番号設定 RYn0 ～ RYn5 と RY (n+1) 0 ～ RY (n+1) 3 によって指定した拡張番号のデータ	ー
RWrn+21	Ch2	拡張領域表示用		ー
RWrn+22	Ch3	拡張領域表示用		ー
RWrn+23	Ch4	拡張領域表示用		ー
RWrn+24	Ch5	拡張領域表示用		ー
RWrn+25	Ch6	拡張領域表示用		ー
RWrn+26	Ch7	拡張領域表示用		ー
RWrn+27	Ch8	拡張領域表示用		ー
RWrn+28	Ch9	拡張領域表示用		ー
RWrn+29	Ch10	拡張領域表示用		ー
RWrn+2A	Ch11	拡張領域表示用		ー
RWrn+2B	Ch12	拡張領域表示用		ー
RWrn+2C	Ch13	拡張領域表示用		ー
RWrn+2D	Ch14	拡張領域表示用		ー
RWrn+2E	Ch15	拡張領域表示用		ー
RWrn+2F	Ch16	拡張領域表示用		ー
RWrn+30	Ch17	拡張領域表示用		ー
RWrn+31	Ch18	拡張領域表示用		ー
RWrn+32	Ch19	拡張領域表示用		ー
RWrn+33	Ch20	拡張領域表示用		ー
RWrn+34	Ch21	拡張領域表示用		ー
RWrn+35	Ch22	拡張領域表示用		ー
RWrn+36	Ch23	拡張領域表示用		ー
RWrn+37	Ch24	拡張領域表示用		ー
RWrn+38	Ch25	拡張領域表示用		ー
RWrn+39	Ch26	拡張領域表示用		ー
RWrn+3A	Ch27	拡張領域表示用		ー
RWrn+3B	Ch28	拡張領域表示用		ー
RWrn+3C	Ch29	拡張領域表示用		ー
RWrn+3D	Ch30	拡張領域表示用		ー
RWrn+3E	Ch31	拡張領域表示用		ー
RWrn+3F	Ch32	拡張領域表示用		ー

リモートレジスタ（RWw）一覧

データ方向：マスタ局（PLC）→ CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）

データ容量：64 ワード

4 局占有 4 倍設定（32Ch 割付）

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RWwn	Ch1	設定値（SV）	設定リミッタ下限～設定リミッタ上限	ー
RWwn+1	Ch2	設定値（SV）		ー
RWwn+2	Ch3	設定値（SV）		ー
RWwn+3	Ch4	設定値（SV）		ー
RWwn+4	Ch5	設定値（SV）		ー
RWwn+5	Ch6	設定値（SV）		ー
RWwn+6	Ch7	設定値（SV）		ー
RWwn+7	Ch8	設定値（SV）		ー
RWwn+8	Ch9	設定値（SV）		ー
RWwn+9	Ch10	設定値（SV）		ー
RWwn+A	Ch11	設定値（SV）		ー
RWwn+B	Ch12	設定値（SV）		ー
RWwn+C	Ch13	設定値（SV）		ー
RWwn+D	Ch14	設定値（SV）		ー
RWwn+E	Ch15	設定値（SV）		ー
RWwn+F	Ch16	設定値（SV）		ー
RWwn+10	Ch17	設定値（SV）		ー
RWwn+11	Ch18	設定値（SV）		ー
RWwn+12	Ch19	設定値（SV）		ー
RWwn+13	Ch20	設定値（SV）		ー
RWwn+14	Ch21	設定値（SV）		ー
RWwn+15	Ch22	設定値（SV）		ー
RWwn+16	Ch23	設定値（SV）		ー
RWwn+17	Ch24	設定値（SV）		ー
RWwn+18	Ch25	設定値（SV）		ー
RWwn+19	Ch26	設定値（SV）		ー
RWwn+1A	Ch27	設定値（SV）		ー
RWwn+1B	Ch28	設定値（SV）		ー
RWwn+1C	Ch29	設定値（SV）		ー
RWwn+1D	Ch30	設定値（SV）		ー
RWwn+1E	Ch31	設定値（SV）		ー
RWwn+1F	Ch32	設定値（SV）		ー

4 局占有 4 倍設定（32Ch 割付） リモートレジスタ（RWw）

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RWwn+20	Ch1	拡張領域設定用	設定用拡張番号設定 RYn6 ～ RYnB と RY (n+1) 8 ～ RY (n+1) B によって 指定した拡張番号のデータ	ー
RWwn+21	Ch2	拡張領域設定用		ー
RWwn+22	Ch3	拡張領域設定用		ー
RWwn+23	Ch4	拡張領域設定用		ー
RWwn+24	Ch5	拡張領域設定用		ー
RWwn+25	Ch6	拡張領域設定用		ー
RWwn+26	Ch7	拡張領域設定用		ー
RWwn+27	Ch8	拡張領域設定用		ー
RWwn+28	Ch9	拡張領域設定用		ー
RWwn+29	Ch10	拡張領域設定用		ー
RWwn+2A	Ch11	拡張領域設定用		ー
RWwn+2B	Ch12	拡張領域設定用		ー
RWwn+2C	Ch13	拡張領域設定用		ー
RWwn+2D	Ch14	拡張領域設定用		ー
RWwn+2E	Ch15	拡張領域設定用		ー
RWwn+2F	Ch16	拡張領域設定用		ー
RWwn+30	Ch17	拡張領域設定用		ー
RWwn+31	Ch18	拡張領域設定用		ー
RWwn+32	Ch19	拡張領域設定用		ー
RWwn+33	Ch20	拡張領域設定用		ー
RWwn+34	Ch21	拡張領域設定用		ー
RWwn+35	Ch22	拡張領域設定用		ー
RWwn+36	Ch23	拡張領域設定用		ー
RWwn+37	Ch24	拡張領域設定用		ー
RWwn+38	Ch25	拡張領域設定用		ー
RWwn+39	Ch26	拡張領域設定用		ー
RWwn+3A	Ch27	拡張領域設定用		ー
RWwn+3B	Ch28	拡張領域設定用		ー
RWwn+3C	Ch29	拡張領域設定用		ー
RWwn+3D	Ch30	拡張領域設定用		ー
RWwn+3E	Ch31	拡張領域設定用		ー
RWwn+3F	Ch32	拡張領域設定用		ー

4 局占有 4 倍設定（64Ch 割付）

リモートレジスタ（RWr）一覧

データ方向：CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）→マスタ局（PLC）

データ容量：64 ワード

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RWrn	Ch1	拡張領域表示用	表示用拡張番号設定 RYn0 ～ RYn5 と RY (n+1) 0 ～ RY (n+1) 3 によって指定した拡張番号のデータ	ー
RWrn+1	Ch2	拡張領域表示用		ー
RWrn+2	Ch3	拡張領域表示用		ー
RWrn+3	Ch4	拡張領域表示用		ー
RWrn+4	Ch5	拡張領域表示用		ー
RWrn+5	Ch6	拡張領域表示用		ー
RWrn+6	Ch7	拡張領域表示用		ー
RWrn+7	Ch8	拡張領域表示用		ー
RWrn+8	Ch9	拡張領域表示用		ー
RWrn+9	Ch10	拡張領域表示用		ー
RWrn+A	Ch11	拡張領域表示用		ー
RWrn+B	Ch12	拡張領域表示用		ー
RWrn+C	Ch13	拡張領域表示用		ー
RWrn+D	Ch14	拡張領域表示用		ー
RWrn+E	Ch15	拡張領域表示用		ー
RWrn+F	Ch16	拡張領域表示用		ー
RWrn+10	Ch17	拡張領域表示用		ー
RWrn+11	Ch18	拡張領域表示用		ー
RWrn+12	Ch19	拡張領域表示用		ー
RWrn+13	Ch20	拡張領域表示用		ー
RWrn+14	Ch21	拡張領域表示用		ー
RWrn+15	Ch22	拡張領域表示用		ー
RWrn+16	Ch23	拡張領域表示用		ー
RWrn+17	Ch24	拡張領域表示用		ー
RWrn+18	Ch25	拡張領域表示用		ー
RWrn+19	Ch26	拡張領域表示用		ー
RWrn+1A	Ch27	拡張領域表示用		ー
RWrn+1B	Ch28	拡張領域表示用		ー
RWrn+1C	Ch29	拡張領域表示用		ー
RWrn+1D	Ch30	拡張領域表示用		ー
RWrn+1E	Ch31	拡張領域表示用		ー
RWrn+1F	Ch32	拡張領域表示用		ー

4 局占有 4 倍設定（64Ch 割付） リモートレジスタ（RWr）

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RWrn+20	Ch33	拡張領域表示用	表示用拡張番号設定 RYn0 ～ RYn5 と RY (n+1) 0 ～ RY (n+1) 3 によって指定した拡張番号のデータ	ー
RWrn+21	Ch34	拡張領域表示用		ー
RWrn+22	Ch35	拡張領域表示用		ー
RWrn+23	Ch36	拡張領域表示用		ー
RWrn+24	Ch37	拡張領域表示用		ー
RWrn+25	Ch38	拡張領域表示用		ー
RWrn+26	Ch39	拡張領域表示用		ー
RWrn+27	Ch40	拡張領域表示用		ー
RWrn+28	Ch41	拡張領域表示用		ー
RWrn+29	Ch42	拡張領域表示用		ー
RWrn+2A	Ch43	拡張領域表示用		ー
RWrn+2B	Ch44	拡張領域表示用		ー
RWrn+2C	Ch45	拡張領域表示用		ー
RWrn+2D	Ch46	拡張領域表示用		ー
RWrn+2E	Ch47	拡張領域表示用		ー
RWrn+2F	Ch48	拡張領域表示用		ー
RWrn+30	Ch49	拡張領域表示用		ー
RWrn+31	Ch50	拡張領域表示用		ー
RWrn+32	Ch51	拡張領域表示用		ー
RWrn+33	Ch52	拡張領域表示用		ー
RWrn+34	Ch53	拡張領域表示用		ー
RWrn+35	Ch54	拡張領域表示用		ー
RWrn+36	Ch55	拡張領域表示用		ー
RWrn+37	Ch56	拡張領域表示用		ー
RWrn+38	Ch57	拡張領域表示用		ー
RWrn+39	Ch58	拡張領域表示用		ー
RWrn+3A	Ch59	拡張領域表示用		ー
RWrn+3B	Ch60	拡張領域表示用		ー
RWrn+3C	Ch61	拡張領域表示用		ー
RWrn+3D	Ch62	拡張領域表示用		ー
RWrn+3E	Ch63	拡張領域表示用		ー
RWrn+3F	Ch64	拡張領域表示用		ー

リモートレジスタ（RWw）一覧

データ方向：マスタ局（PLC）→ CC-Link 通信モジュール（リモートデバイス局）

データ容量：64 ワード

4 局占有 4 倍設定（64Ch 割付）

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RWwn	Ch1	拡張領域設定用	設定用拡張番号設定 RYn6 ～ RYnB と RY (n+1) 8 ～ RY (n+1) B によって指定した拡張番号のデータ	ー
RWwn+1	Ch2	拡張領域設定用		ー
RWwn+2	Ch3	拡張領域設定用		ー
RWwn+3	Ch4	拡張領域設定用		ー
RWwn+4	Ch5	拡張領域設定用		ー
RWwn+5	Ch6	拡張領域設定用		ー
RWwn+6	Ch7	拡張領域設定用		ー
RWwn+7	Ch8	拡張領域設定用		ー
RWwn+8	Ch9	拡張領域設定用		ー
RWwn+9	Ch10	拡張領域設定用		ー
RWwn+A	Ch11	拡張領域設定用		ー
RWwn+B	Ch12	拡張領域設定用		ー
RWwn+C	Ch13	拡張領域設定用		ー
RWwn+D	Ch14	拡張領域設定用		ー
RWwn+E	Ch15	拡張領域設定用		ー
RWwn+F	Ch16	拡張領域設定用		ー
RWwn+10	Ch17	拡張領域設定用		ー
RWwn+11	Ch18	拡張領域設定用		ー
RWwn+12	Ch19	拡張領域設定用		ー
RWwn+13	Ch20	拡張領域設定用		ー
RWwn+14	Ch21	拡張領域設定用		ー
RWwn+15	Ch22	拡張領域設定用		ー
RWwn+16	Ch23	拡張領域設定用		ー
RWwn+17	Ch24	拡張領域設定用		ー
RWwn+18	Ch25	拡張領域設定用		ー
RWwn+19	Ch26	拡張領域設定用		ー
RWwn+1A	Ch27	拡張領域設定用		ー
RWwn+1B	Ch28	拡張領域設定用		ー
RWwn+1C	Ch29	拡張領域設定用		ー
RWwn+1D	Ch30	拡張領域設定用		ー
RWwn+1E	Ch31	拡張領域設定用		ー
RWwn+1F	Ch32	拡張領域設定用		ー

4 局占有 4 倍設定（64Ch 割付） リモートレジスタ（RWw）

アドレス	通信項目		データ範囲	出荷値
RWwn+20	Ch33	拡張領域設定用	設定用拡張番号設定 RYn6 ～ RYnB と RY (n+1) 8 ～ RY (n+1) B によって 指定した拡張番号のデータ	ー
RWwn+21	Ch34	拡張領域設定用		ー
RWwn+22	Ch35	拡張領域設定用		ー
RWwn+23	Ch36	拡張領域設定用		ー
RWwn+24	Ch37	拡張領域設定用		ー
RWwn+25	Ch38	拡張領域設定用		ー
RWwn+26	Ch39	拡張領域設定用		ー
RWwn+27	Ch40	拡張領域設定用		ー
RWwn+28	Ch41	拡張領域設定用		ー
RWwn+29	Ch42	拡張領域設定用		ー
RWwn+2A	Ch43	拡張領域設定用		ー
RWwn+2B	Ch44	拡張領域設定用		ー
RWwn+2C	Ch45	拡張領域設定用		ー
RWwn+2D	Ch46	拡張領域設定用		ー
RWwn+2E	Ch47	拡張領域設定用		ー
RWwn+2F	Ch48	拡張領域設定用		ー
RWwn+30	Ch49	拡張領域設定用		ー
RWwn+31	Ch50	拡張領域設定用		ー
RWwn+32	Ch51	拡張領域設定用		ー
RWwn+33	Ch52	拡張領域設定用		ー
RWwn+34	Ch53	拡張領域設定用		ー
RWwn+35	Ch54	拡張領域設定用		ー
RWwn+36	Ch55	拡張領域設定用		ー
RWwn+37	Ch56	拡張領域設定用		ー
RWwn+38	Ch57	拡張領域設定用		ー
RWwn+39	Ch58	拡張領域設定用		ー
RWwn+3A	Ch59	拡張領域設定用		ー
RWwn+3B	Ch60	拡張領域設定用		ー
RWwn+3C	Ch61	拡張領域設定用		ー
RWwn+3D	Ch62	拡張領域設定用		ー
RWwn+3E	Ch63	拡張領域設定用		ー
RWwn+3F	Ch64	拡張領域設定用		ー

5.5 拡張番号の設定

リモートレジスタ（RWr、RWw）の拡張領域で扱う通信項目は、拡張番号で指定します。

拡張番号は、リモートレジスタで扱うデータを選択するために、リモート出力で指定する番号です。

必要なデータを拡張番号一覧から選択して、その拡張番号をリモート出力で設定すると、リモートレジスタ（RWr、RWw）で扱うことができます。

リモートレジスタについては、「5.4 リモートレジスター一覧」を参照してください。▶▶ 5-38
拡張番号については「5.6 拡張番号一覧」を参照してください。▶▶ 5-56

データを読み出す場合（表示用拡張番号の設定）

表示用拡張番号は、リモート出力 RYn0 ～ RYn5 と RY（n + 1）0 ～ RY（n + 1）7 で設定します。

ビットイメージ

RY（n + 1）7	RY（n + 1）6	RY（n + 1）5	RY（n + 1）4	RY（n + 1）3	RY（n + 1）2	RY（n + 1）1	RY（n + 1）0
bit13	bit12	bit11	bit10	bit9	bit8	bit7	bit6

RYn5	RYn4	RYn3	RYn2	RYn1	RYn0
bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0

ビットデータ :0（OFF）、1（ON）[10 進数表現：0 ～ 1023]

データを書き込む場合（設定用拡張番号の設定）

設定用拡張番号は、リモート出力 RYn6 ～ RYnB と RY（n + 1）8 ～ RY（n + 1）F で設定します。

ビットイメージ

RY（n + 1）F	RY（n + 1）E	RY（n + 1）D	RY（n + 1）C	RY（n + 1）B	RY（n + 1）A	RY（n + 1）9	RY（n + 1）8
bit13	bit12	bit11	bit10	bit9	bit8	bit7	bit6

RYnB	RYnA	RYn9	RYn8	RYn7	RYn6
bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0

ビットデータ :0（OFF）、1（ON）[10 進数表現：0 ～ 1023]

（例）設定用拡張番号を「3」設定値（SV）に設定する場合
　　占有局数／拡張サイクリック設定：4 局占有 1 倍設定

拡張番号 3：設定値（SV）

bit13	bit12	bit11	bit10	bit9	bit8	bit7	bit6	bit5	bit4	bit3	bit2	bit1	bit0
0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1

RY（n＋1）F	RY（n＋1）E	RY（n＋1）D	RY（n＋1）C	RY（n＋1）B	RY（n＋1）A	RY（n＋1）9
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

RY（n＋1）8	RYnB	RYnA	RYn9	RYn8	RYn7	RYn6
OFF	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	ON

ビットデータ :0（OFF）、1（ON）

5.6 拡張番号一覧

CC-Link 通信モジュール用 拡張番号対応表（0-511）

拡張番号	属性	内容	読出し / 書込みデータ設定範囲	工場出荷値
0	R0	測定値（PV）	-5-105% FS	—
1	R0	出力値 (MV1)	-3.0-103.0%	—
2	R0	ヒータ電流値［A］	0.0-50.0A	—
3	R/W	SV 値	0-100% FS	0
4	R/W	ｵｰﾄﾁｭｰﾆﾝｸﾞ実行コマンド	0: 停止 / 終了	0
			1: 通常タイプ	
			2: 低ＰＶタイプ	
5	R/W	比例帯［P］	0.0-999.9%	50
6	R/W	積分時間［I］	0-3200sec	240
7	R/W	微分時間［D］	0.0-999.9sec	600
8	R/W	PV 入力シフト	-10-10% FS	0
9	R/W	ALM1 設定値 1	-100% -100% FS	2.5% FS
10	R/W	ALM2 設定値 1	-100% -100% FS	2.5% FS
・				
17	R/W	RUN/ スタンバイ切替	0:RUN	0
			1: スタンバイ	
18	R/W	出力 1 比例周期	1-120 秒	1
19	R/W	マニュアルモード切替	0: オート	0
			1: マニュアル	
20	R/W	MV 値	-3.0-103.0%	—
21	R/W	SV リミット（上限）	0-100% FS	100% FS
22	R/W	SV リミット（下限）	0-100% FS	0% FS
23	R/W	PV 入力フィルタ	0.0-120.0sec	2.0
24	R/W	CT［A］用 HB 警報設定値	0.0-50.0(A)	0
25	R/W	小数点位置	0-2	0
26	R0	出力値（MV2）	-3.0-103.0%	—
27	R/W	冷却側比例帯係数［cool］	0.0-100.0%	10
・				
29	R/W	デッドバンド	-50.0-50.0%	0
・				
31	R0	SV 値	0-100% FS	—
32	R0	エラー要員表示	0-FFFF	—
・				
34	R/W	制御方式	0:PID 制御	0（PID）
			1: ファジー制御	
			2: オープンループ対策 PID 制御	
・				

拡張番号	属性	内容	読出し / 書込みデータ設定範囲	工場出荷値
36	R/W	PV 入力種類	0:JPt100 (0-150)	7
			1:JPt100 (-150-600)	
			2:Pt100 (0-150)	
			3:Pt100 (-150-300)	
			4:Pt100 (-150-850)	
			5:J (0-400)	
			6:J (0-800)	
			7:K (0-400))	
			8:K (0-800)	
			9:K (0-1200)	
			10:R (0-1600)	
			11:B (0-1800)	
			12:S (0-1600)	
			13:T (-199-400)	
			14:E (-199-800)	
			15: 選択不可	
			16: 選択不可	
			17: 選択不可	
			18:N (0-1300)	
			19:PL-2 (0-1300)	
			20: 選択不可	
			21: 電圧（0—5V）	
			22: 電圧（1—5V）	
			23: 電圧（0—10V）	
			24: 電圧（2—10V）	
			25: 選択不可	
・				
38	R/W	正 / 逆動作設定［MV1/MV2］	0: 加熱側（逆）／なし	0/2 (singl/dual)
			1: 加熱側（正）／なし	
			2: 加熱側（逆）／冷却側（正）	
			3: 加熱側（正）／冷却側（逆）	
			4: 加熱側（逆）／冷却側（逆）	
			5: 加熱側（正）／冷却側（正）	
39	R/W	DO1 出力イベント種類設定	0 - 102 ▶▶ 5-69	0
40	R/W	DO2 出力イベント種類設定	0 - 102 ▶▶ 5-69	0
41	R/W	ALM1 ヒステリシス	0-50% FS	1℃
42	R/W	ALM2 ヒステリシス	0-50% FS	1℃
43	R/W	DO1 オプション機能設定	bit 0: 警報ﾗｯﾁ機能、1: 本体入力異常警報、2: 非励磁出力警報、3: ﾎｰﾙﾄﾞﾘｾｯﾄ機能	0
44	R/W	DO2 オプション機能設定	bit 0: 警報ﾗｯﾁ機能、1: 本体入力異常警報、2: 非励磁出力警報、3: ﾎｰﾙﾄﾞﾘｾｯﾄ機能	0
・				
46	R/W	MV1 上限ﾘﾐｯﾄ	-3.0-103.0%	1030
47	R/W	MV1 下限ﾘﾐｯﾄ	-3.0-103.0%	-30
・				

拡張番号	属性	内容	読出し / 書込みデータ設定範囲	工場出荷値
50	R/W	ﾙｰﾌﾟ断線検出時間	0-9999sec	0 (Off)
51	R/W	ﾙｰﾌﾟ断線検出幅	0-100% FS	10℃
・				
54	R/W	ALM3 設定値 1	-100% -100% FS	2.5% FS
55	R/W	ALM4 設定値 1	-100% -100% FS	2.5% FS
56	R/W	DO3 出力イベント種類設定	0-102 ▶▶ 5-69	0
57	R/W	DO4 出力イベント種類設定	0-102 ▶▶ 5-69	0
58	R/W	ALM3 ヒステリシス	0-50% FS	1℃
59	R/W	ALM4 ヒステリシス	0-50% FS	1℃
60	R/W	DO3 オプション機能設定	bit 0: 警報ﾗｯﾁ機能、1: 本体入力異常警報、2: 非励磁出力警報、3: ﾎｰﾙﾄﾞﾘｾｯﾄ機能	0
61	R/W	DO4 オプション機能設定	bit 0: 警報ﾗｯﾁ機能、1: 本体入力異常警報、2: 非励磁出力警報、3: ﾎｰﾙﾄﾞﾘｾｯﾄ機能	0
・				
63	RO	警報 1-5 の状態表示	0-001F	—
64	RO	RSV 端子入力値	-500-10500	—
・				
69	RO	ｲﾍﾞﾝﾄ入力状態表示	0-FFFF	—
・				
75	RO	ヒータ電流値 2	0.0-50.0A	—
・				
90	R/W	リモートモード切替	0: ローカル	0
			1: リモート	
・				
128	R/W	出力収束値	-100.0-100.0%	0/5000 (singl/dual)
148	R/W	RSVZero 側調整	-50-50% FS	0
・				
150	R/W	RSVSpan 側調整	-50-50% FS	0
151	R/W	CT［B］用 HB 警報設定値	0.0-50.0 (A)	0
・				
160	R/W	単位表示	0:° C	℃
			1: 選択不可	
161	R/W	ＰＶ入力上限	-1999-9999	100% FS
162	R/W	ＰＶ入力下限	-1999-9999	0% FS
・				

拡張番号	属性	内容	読出し / 書込みデータ設定範囲	工場出荷値
170	R/W	DI-1 機能選択	0: (機能無し)	0
			1: RUN ／スタンバイ切替	
			2: Auto/Manual 切替	
			3: Local ／ Remote 切替	
			4: (機能無し)	
			5: (機能無し)	
			6: AT 実行（標準）	
			7: AT（低 PV タイプ）実行	
			8: (機能無し)	
			9: (機能無し)	
			10: ランプ SV 有効 / 無効	
			11: ランプ SV ホールド	
			12: (機能無し)	
			13: (機能無し)	
			14: (機能無し)	
			15: (機能無し)	
			16: (機能無し)	
			17: 警報ラッチ解除（全）	
			18: 警報ラッチ解除（D01）	
			19: 警報ラッチ解除（D02）	
			20: 警報ラッチ解除（D03）	
			21: 警報ラッチ解除（D04）	
			22: 警報ラッチ解除（D05）	
			23: (機能無し)	
			24: (機能無し)	
			25: (機能無し)	
			26: タイマ起動（D01）	
			27: タイマ起動（D02）	
			28: タイマ起動（D03）	
			29: タイマ起動（D04）	
			30: タイマ起動（D05）	
			31: (機能無し)	
			32: (機能無し)	
			33: (機能無し)	
			34: (機能無し)	
			35: (機能無し)	
			36: (機能無し)	
			37: (機能無し)	
			38: (機能無し)	
			39: (機能無し)	
			40: (機能無し)	

拡張番号	属性	内容	読出し / 書込みデータ設定範囲	工場出荷値
		DI-1 機能選択（続き）	41:（機能無し）	
			42:（機能無し）	
			43:（機能無し）	
			44:（機能無し）	
			45:（機能無し）	
			46:（機能無し）	
			47:（機能無し）	
			48:（機能無し）	
			49: 出力 1 シャットダウン	
			50: 出力 2 シャットダウン	
			51: 出力 3 シャットダウン	
			52: 出力 4 シャットダウン	
・				
189	R/W	ｽﾀﾝﾊﾞｲモード設定	0：ALM = OFF	0
			1：ALM = ON	
190	R/W	出力種類	0: 自局 PV	3
			1: 自局 SV	
			2: 自局 DV	
			3: 自局 MV1	
			4: 自局 MV2	
			5: 他局 PV	
			6: 他局 SV	
			7: 他局 MV	
191	R/W	出力スケーリングスパン	-100-100%	100
192	R/W	出力スケーリングベース	-100-100%	0
・				
203	R/W	ALM1 ディレイ時間	0 ～ 99 分 59 秒／ 0 ～ 99 時間 59 分	0
・				
207	R/W	ALM2 ディレイ時間	0 ～ 99 分 59 秒／ 0 ～ 99 時間 59 分	0
・				
211	R/W	ALM3 ディレイ時間	0 ～ 99 分 59 秒／ 0 ～ 99 時間 59 分	0
・				
215	R/W	ALM4 ディレイ時間	0 ～ 99 分 59 秒／ 0 ～ 99 時間 59 分	0
・				
246	R/W	FAULT 時の MV1 設定値	-3.0-103.0%	-30
・				
254	R/W	MV2 上限ﾘﾐｯﾄ	-3.0-103.0%	1030
255	R/W	MV2 下限ﾘﾐｯﾄ	-3.0-103.0%	-30
・				
258	R/W	ｽﾀﾝﾊﾞｲ時 MV1 出力設定値	-3.0-103.0%	-30
259	R/W	ｽﾀﾝﾊﾞｲ時 MV2 出力設定値	-3.0-103.0%	-30

CC-Link 通信モジュール用 拡張番号対応表（512-1023）

拡張番号	属性	内容	読出し / 書込みデータ設定範囲	工場出荷値
512	R/W	SV 値	0-100% FS	0
513	R/W	MV 値	-3.0-103.0%	-
514	R/W	マニュアルモード切替	0: オート	0
			1: マニュアル	
515	R/W	RUN/ スタンバイ切替	0:RUN	0
			1: スタンバイ	
516	R/W	リモートモード切替	0: ローカル	0
			1: リモート	
・				
518	R/W	ｵｰﾄﾁｭｰﾆﾝｸﾞ実行コマンド	0: 停止 / 終了	0
			1: 通常タイプ	
			2: 低ＰＶタイプ	
519	R/W	DO 出力ﾗｯﾁ解除コマンド	0: OFF	0
			1: ラッチ解除	
・				
532	R/W	ALM1 設定値 1	-100% -100% FS	2.5% FS
533	R/W	ALM1 設定値 2	-100% -100% FS	2.5% FS
534	R/W	ALM2 設定値 1	-100% -100% FS	2.5% FS
535	R/W	ALM2 設定値 2	-100% -100% FS	2.5% FS
536	R/W	ALM3 設定値 1	-100% -100% FS	2.5% FS
537	R/W	ALM3 設定値 2	-100% -100% FS	2.5% FS
538	R/W	ALM4 設定値 1	-100% -100% FS	2.5% FS
539	R/W	ALM4 設定値 2	-100% -100% FS	2.5% FS
540	R/W	ALM5 設定値 1	-100% -100% FS	2.5% FS
541	R/W	ALM5 設定値 2	-100% -100% FS	2.5% FS
・				
552	R/W	比例帯 [P]	0.0-999.9%	50
553	R/W	積分時間 [I]	0-3200sec	240
554	R/W	微分時間 [D]	0.0-999.9sec	600
555	R/W	ON/OFF 制御ヒステリシス	0-50% FS	1℃
556	R/W	冷却側比例帯係数 [cool]	0.0-100.0%	10
557	R/W	デッドバンド	-50.0% -50.0%	0
558	R/W	出力収束値	-100.0% -100.0%	0
559	R/W	アンチリセットワインドアップ [ARW]	0-100% FS	100% FS
560	R/W	正 / 逆動作設定 [MV1/MV2]	0: 逆動作 / なし	0
			1: 正動作 / なし	
			2: 逆動作 / 正動作	
			3: 正動作 / 逆動作	
			4: 逆動作 / 逆動作	
			5: 正動作 / 正動作	
・				
571	R/W	SV リミット（下限）	0-100% FS	0% FS

拡張番号	属性	内容	読出し / 書込みデータ設定範囲	工場出荷値
572	R/W	SV リミット（上限）	0-100% FS	100% FS
573	R/W	MV1 下限ﾘﾐｯﾄ	-3.0-103.0%	-30
574	R/W	MV1 上限ﾘﾐｯﾄ	-3.0-103.0%	1030
575	R/W	MV2 下限ﾘﾐｯﾄ	-3.0-103.0%	-30
576	R/W	MV2 上限ﾘﾐｯﾄ	-3.0-103.0%	1030
577	R/W	出力リミッタ種類設定	0-15 ▶▶ 5-73	0
・				
661	RO	測定値 (PV)	-5-105% FS	—
662	RO	SV 値	0-100% FS	—
663	RO	DV	-105-105% FS%	—
664	RO	出力値 (MV1)	-3.0-103.0%	—
665	RO	出力値 (MV2)	-3.0-103.0%	—
666	RO	RSV 端子入力値	-500-10500	—
667	RO	RCJtemp	-3276.7-3276.7%	—
668	RO	ヒータ電流値［A］	0.0-50.0A	—
669	RO	ヒータ電流値［B］	0.0-50.0A	—
・				
673	RO	ｴﾗｰ要因表示	0-FFFF	—
674	RO	警報 1-5 の状態表示	0-001F	—
675	RO	ｲﾍﾞﾝﾄ入力状態表示	0-FFFF	—
676	RO	タイマ 1 残時間	0 ～ 99 分 59 秒／ 0 ～ 99 時間 59 分	—
677	RO	タイマ 2 残時間	0 ～ 99 分 59 秒／ 0 ～ 99 時間 59 分	—
678	RO	タイマ 3 残時間	0 ～ 99 分 59 秒／ 0 ～ 99 時間 59 分	—
679	RO	タイマ 4 残時間	0 ～ 99 分 59 秒／ 0 ～ 99 時間 59 分	—
680	RO	タイマ 5 残時間	0 ～ 99 分 59 秒／ 0 ～ 99 時間 59 分	—
・				

拡張番号	属性	内容	読出し / 書込みデータ設定範囲	工場出荷値
714	R/W	PV 入力種類	0:JPt100 (0-150)	7
			1:JPt100 (-150-600)	
			2:Pt100 (0-150)	
			3:Pt100 (-150-300)	
			4:Pt100 (-150-850)	
			5:J (0-400)	
			6:J (0-800)	
			7:K (0-400))	
			8:K (0-800)	
			9:K (0-1200)	
			10:R (0-1600)	
			11:B (0-1800)	
			12:S (0-1600)	
			13:T (-199-400)	
			14:E (-199-800)	
			15: 選択不可	
			16: 選択不可	
			17: 選択不可	
			18:N (0-1300)	
			19:PL-2 (0-1300)	
			20: 選択不可	
			21: 電圧（0—5V）	
			22: 電圧（1—5V）	
			23: 電圧（0—10V）	
			24: 電圧（2—10V）	
			25: 選択不可	
715	R/W	PV 入力下限	-1999-9999	0% FS
716	R/W	PV 入力上限	-1999-9999	100% FS
717	R/W	小数点位置	0-2	0
718	R/W	単位表示	0:℃	℃
			1: 選択不可	
719	R/W	PV 入力シフト	-10-10% FS	0
720	R/W	SV 設定値シフト	-50-50% FS	0
721	R/W	PV 入力フィルタ	0.0-120.0sec	0
722	R/W	PV 表示調整 ZERO 側	-50-50% FS	0
723	R/W	PV 表示調整 SPAN 側	-50-50% FS	0
724	R/W	冷接点補償	0: なし	1（あり）
			1: あり	
725	R/W	RSVZero 側調整	-50-50% FS	0
726	R/W	RSVSpan 側調整	-50-50% FS	0
・				
728	R/W	RSV 入力ﾌｨﾙﾀ	0.0-120.0sec	0
・				
730	R/W	リモート入力マスタ St. 番号設定	0-255 ステーション	0
731	R/W	リモート入力マスタ Ch. 番号設定	1 ～ 4 ループ	1

拡張番号	属性	内容	読出し / 書込みデータ設定範囲	工場出荷値
732	R/W	FAULT 時の MV1 設定値	-3.0-103.0%	-30
733	R/W	FAULT 時の MV2 設定値	-3.0-103.0%	-30
734	R/W	SoftStart MV1 設定値	-3.0-103.0%	1030
735	R/W	SoftStart MV2 設定値	-3.0-103.0%	1030
736	R/W	SoftStart 設定時間	0 時間 00 分～ 99 時間 59 分	0
737	R/W	ｽﾀﾝﾊﾞｲ時 MV1 出力設定値	-3.0-103.0%	-30
738	R/W	ｽﾀﾝﾊﾞｲ時 MV2 出力設定値	-3.0-103.0%	-30
739	R/W	ｽﾀﾝﾊﾞｲモード設定	0: ALM=OFF	0
			1: ALM=ON	
・				
743	R/W	連動運転マスタ St. 番号設定	0-255 ステーション	0
744	R/W	連動運転マスタ Ch. 番号設定	1 ～ 4 ループ	1
・				
765	R/W	DI-1 機能選択	0:（機能無し）	0
			1: RUN ／スタンバイ切替	
			2: Auto/Manual 切替	
			3: Local ／ Remote 切替	
			4:（機能無し）	
			5:（機能無し）	
			6: AT 実行（標準）	
			7: AT（低 PV タイプ）実行	
			8:（機能無し）	
			9:（機能無し）	
			10: ランプ SV 有効 / 無効	
			11: ランプ SV ホールド	
			12:（機能無し）	
			13:（機能無し）	
			14:（機能無し）	
			15:（機能無し）	
			16:（機能無し）	
			17: 警報ラッチ解除（全）	
			18: 警報ラッチ解除（DO1）	
			19: 警報ラッチ解除（DO2）	
			20: 警報ラッチ解除（DO3）	
			21: 警報ラッチ解除（DO4）	
			22: 警報ラッチ解除（DO5）	
			23:（機能無し）	
			24:（機能無し）	
			25:（機能無し）	
			26: タイマ起動（DO1）	
			27: タイマ起動（DO2）	
			28: タイマ起動（DO3）	
			29: タイマ起動（DO4）	
			30: タイマ起動（DO5）	

拡張番号	属性	内容	読出し / 書込みデータ設定範囲	工場出荷値
		DI-1 機能選択（続き）	31: (機能無し)	
			32: (機能無し)	
			33: (機能無し)	
			34: (機能無し)	
			35: (機能無し)	
			36: (機能無し)	
			37: (機能無し)	
			38: (機能無し)	
			39: (機能無し)	
			40: (機能無し)	
			41: (機能無し)	
			42: (機能無し)	
			43: (機能無し)	
			44: (機能無し)	
			45: (機能無し)	
			46: (機能無し)	
			47: (機能無し)	
			48: (機能無し)	
			49: 出力 1 シャットダウン	
			50: 出力 2 シャットダウン	
			51: 出力 3 シャットダウン	
			52: 出力 4 シャットダウン	
766	R/W	DI-2 機能選択	0-52	0
767	R/W	DI-4 機能選択	0-52	0
768	R/W	DI-5 機能選択	0-52	0
769	R/W	DO1 出力イベント種類設定	0-102 ▶▶ 5-69	0
770	R/W	DO1 オプション機能設定	bit 0: 警報ﾗｯﾁ機能、1: 本体入力異常警報、2: 非励磁出力警報、3: ﾎｰﾙﾄﾞﾘｾｯﾄ機能	0
771	R/W	DO2 出力イベント種類設定	0-102 ▶▶ 5-69	0
772	R/W	DO2 オプション機能設定	bit 0: 警報ﾗｯﾁ機能、1: 本体入力異常警報、2: 非励磁出力警報、3: ﾎｰﾙﾄﾞﾘｾｯﾄ機能	0
773	R/W	DO3 出力イベント種類設定	0-102 ▶▶ 5-69	0
774	R/W	DO3 オプション機能設定	bit 0: 警報ﾗｯﾁ機能、1: 本体入力異常警報、2: 非励磁出力警報、3: ﾎｰﾙﾄﾞﾘｾｯﾄ機能	0
775	R/W	DO4 出力イベント種類設定	0-102 ▶▶ 5-69	0
776	R/W	DO4 オプション機能設定	bit 0: 警報ﾗｯﾁ機能、1: 本体入力異常警報、2: 非励磁出力警報、3: ﾎｰﾙﾄﾞﾘｾｯﾄ機能	0
777	R/W	DO5 出力イベント種類設定	0-102 ▶▶ 5-69	0
778	R/W	DO5 オプション機能設定	bit 0: 警報ﾗｯﾁ機能、1: 本体入力異常警報、2: 非励磁出力警報、3: ﾎｰﾙﾄﾞﾘｾｯﾄ機能	0
779	R/W	ランプ SV 有効 / 無効設定	0：無効	1
			1: 有効	
780	R/W	ﾗﾝﾌﾟ SV- 下傾斜	0-100% FS	0
781	R/W	ﾗﾝﾌﾟ SV- 上傾斜	0-100% FS	0

拡張番号	属性	内容	読出し / 書込みデータ設定範囲	工場出荷値
782	R/W	ﾗﾝﾌﾟ SV- 傾斜時間単位	0：傾斜温度 / 時間	0 (時間)
			1：傾斜温度 / 分	
・				
784	R/W	制御方式	0:PID 制御	0 (Pid)
			1: ファジー制御	
			2: ｵｰﾌﾟﾝﾙｰﾌﾟ対策 PID 制御	
・				
786	R/W	ON/OFF ヒステリシス設定	0:OFF	1 (ON)
			1:ON	
・				
789	R/W	立上げ時のモード	0: オート	0
			1: マニュアル	
			2: リモート	
			3: スタンバイ	
・				
799	R/W	ALM1 ヒステリシス	0-50% FS	1℃
800	R/W	ALM1 ディレイ時間	0 分 00 秒～ 99 分 59 秒／ 0 時間 00 分～ 99 時間 59 分	0
801	R/W	ALM1 ディレイ時間単位	0: 秒	0 (秒)
			1: 分	
802	R/W	ALM2 ヒステリシス	0-50% FS	1℃
803	R/W	ALM2 ディレイ時間	0 分 00 秒～ 99 分 59 秒／ 0 時間 00 分～ 99 時間 59 分	0
804	R/W	ALM2 ディレイ時間単位	0: 秒	0 (秒)
			1: 分	
805	R/W	ALM3 ヒステリシス	0-50% FS	1℃
806	R/W	ALM3 ディレイ時間	0 分 00 秒～ 99 分 59 秒／ 0 時間 00 分～ 99 時間 59 分	0
807	R/W	ALM3 ディレイ時間単位	0: 秒 1: 分	0 (秒)
808	R/W	ALM4 ヒステリシス	0-50% FS	1℃
809	R/W	ALM4 ディレイ時間	0 分 00 秒～ 99 分 59 秒／ 0 時間 00 分～ 99 時間 59 分	0
810	R/W	ALM4 ディレイ時間単位	0: 秒	0 (秒)
			1: 分	
811	R/W	ALM5 ヒステリシス	0-50% FS	1℃
812	R/W	ALM5 ディレイ時間	0 分 00 秒～ 99 分 59 秒／ 0 時間 00 分～ 99 時間 59 分	0
813	R/W	ALM5 ディレイ時間単位	0: 秒	0 (秒)
			1: 分	
814	R/W	警報 1 用 Ch 間警報用参照 Ch 番号	1-4Ch.	1
815	R/W	警報 2 用 Ch 間警報用参照 Ch 番号	1-4Ch.	1
816	R/W	警報 3 用 Ch 間警報用参照 Ch 番号	1-4Ch.	1
817	R/W	警報 4 用 Ch 間警報用参照 Ch 番号	1-4Ch.	1
818	R/W	警報 5 用 Ch 間警報用参照 Ch 番号	1-4Ch.	1
819	R/W	CT1 用 HB 警報設定値	0.0-50.0 (A)	0
820	R/W	CT1 用 HB 警報ヒステリシス	0.0-50.0 (A)	5

拡張番号	属性	内容	読出し / 書込みデータ設定範囲	工場出荷値
821	R/W	CT1 用負荷短絡警報設定値	0.0-50.0 (A)	0
822	R/W	CT1 用負荷短絡警報ヒステリシス	0.0-50.0 (A)	5
823	R/W	CT2 用 HB 警報設定値	0.0-50.0 (A)	0
824	R/W	CT2 用 HB 警報ヒステリシス	0.0-50.0 (A)	5
825	R/W	CT2 用負荷短絡警報設定値	0.0-50.0 (A)	0
826	R/W	CT2 用負荷短絡警報ヒステリシス	0.0-50.0 (A)	5
827	R/W	ﾙｰﾌﾟ断線検出時間	0-9999sec	0 (OFF)
828	R/W	ﾙｰﾌﾟ断線検出幅	0-100% FS	10℃
・				
843	R/W	バーンアウト時制御続行	0:OFF	0
			1:ON	
・				
855	R/W	電流出力レンジ	0：機能無し	5
			1：機能無し	
			2：機能無し	
			3：機能無し	
			4：0-20mA	
			5：4-20mA	
856	R/W	出力 1 比例周期	1-120 秒	1
857	R/W	出力種類	0：自局 PV	3
			1：自局 SV	
			2：自局 DV	
			3：自局 MV1	
			4：自局 MV2	
			5：他局 PV	
			6：他局 SV	
			7：他局 MV	
858	R/W	出力マスタ St.	0-255 ステーション	0
859	R/W	出力マスタ Ch.	1 ～ 4 ループ	1
860	R/W	出力スケーリングスパン	-100 - 100%	100%
861	R/W	出力スケーリングベース	-100 - 100%	0%

拡張番号一覧データ補足説明

一覧で説明しきれない内容を補足します。

PV 入力種類

入力種類の設定値ごとの、入力レンジ、小数点位置の設定リミットは以下のようになります。

入力種類		入力コード	測定可能範囲	小数点位置の設定リミット
			[℃]	[℃]
測温抵抗体	JPT100 Ω	0	0 ～ 150	1
		1	-150 ～ 600	1
	Pt100 Ω	2	0 ～ 150	1
		3	-150 ～ 300	1
		4	-150 ～ 850	1
熱電対	J	5	0 ～ 400	1
		6	0 ～ 800	1
	K	7	0 ～ 400	1
		8	0 ～ 800	1
		9	0 ～ 1200	0
	R	10	0 ～ 1600	0
	B	11	0 ～ 1800	0
	S	12	0 ～ 1600	0
	T	13	-199 ～ 400	1
	E	14	-199 ～ 800	1
	N	18	0 ～ 1300	0
	PL- Ⅱ	19	0 ～ 1300	0
電圧	DC0-5V	21	-1999 ～ 9999	2
	DC1-5V	22		2
	DC0-10V	23		2
	DC2-10V	24		2

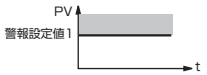
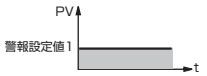
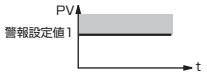
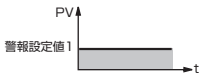
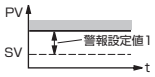
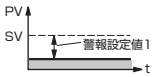
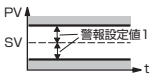
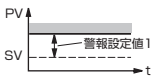
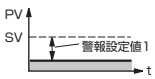
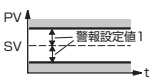
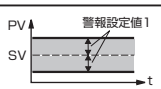
DO 出力イベント種類設定

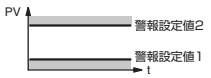
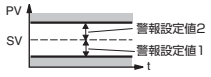
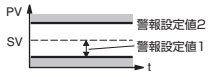
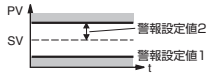
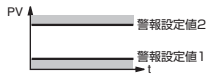
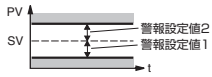
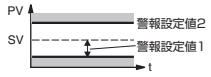
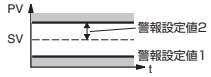
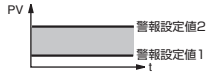
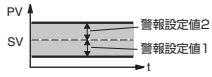
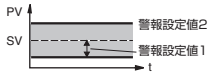
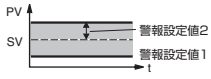
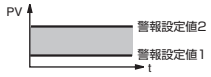
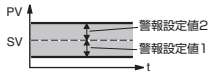
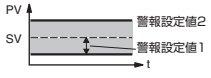
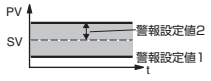
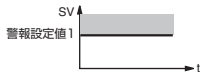
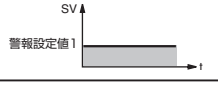
DO 出力イベント種類のイベント番号は以下から選択します。

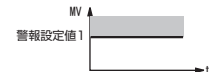
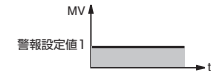
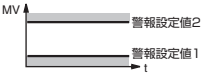
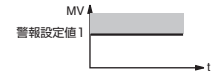
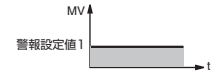
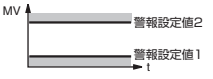
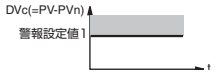
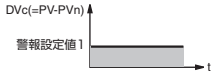
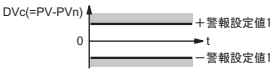
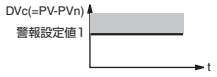
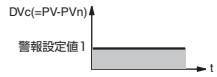
- イベントなし

イベント種類	イベント番号	イベント種類	動作図
—	0	なし	—

- 警報イベント

イベント種類	イベント番号	イベント種類	動作図
PV 絶対値警報	1	上限絶対	
	2	下限絶対	
	3	上限絶対（ホールド付）	
	4	下限絶対（ホールド付）	
偏差警報	5	上限偏差	
	6	下限偏差	
	7	上下限偏差	
	8	上限偏差（ホールド付）	
	9	下限偏差（ホールド付）	
	10	上下限偏差（ホールド付）	
範囲内警報 1	11	範囲上下限偏差	

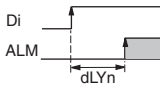
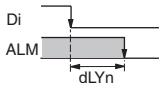
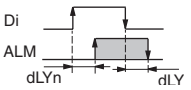
イベント種類	イベント番号	イベント種類	動作図
上下限警報	16	上下限絶対	
	17	上下限偏差	
	18	上限絶対 下限偏差	
	19	上限偏差 下限絶対	
	20	上下限絶対（ホールド付）	
	21	上下限偏差（ホールド付）	
	22	上限絶対 下限偏差（ホールド付）	
	23	上限偏差 下限絶対（ホールド付）	
範囲内警報2	24	範囲上下限絶対	
	25	範囲上下限偏差	
	26	範囲上限絶対 下限偏差	
	27	範囲上限偏差 下限絶対	
	28	範囲上下限絶対（ホールド付）	
	29	範囲上下限偏差（ホールド付）	
	30	範囲上限絶対 下限偏差 （ホールド付）	
	31	範囲上限偏差 下限絶対 （ホールド付）	
SV 警報	32	SV 上限	
	33	SV 下限	
	34	SV 上下限	

イベント種類	イベント番号	イベント種類	動作図
MV 警報	35	MV 上限（加熱側）	
	36	MV 下限（加熱側）	
	37	MV 上下限（加熱側）	
	38	MV 上限（冷却側）	
	39	MV 下限（冷却側）	
	40	MV 上下限（冷却側）	
Ch 間 PV 偏差警報	41	Ch 間上限偏差	
	42	Ch 間下限偏差	
	43	Ch 間上下限偏差	
	44	Ch 間上限偏差（ホールド付）	
	45	Ch 間下限偏差（ホールド付）	
	46	Ch 間上下限偏差（ホールド付）	
断線短絡警報	61	ループ断線警報	—
	64	CT[A] HB 警報	—
	65	CT[B] HB 警報	
	66	CT[A] HB 警報 or CT[B] HB 警報	
	67	CT[A] 負荷短絡警報	—
	68	CT[B] 負荷短絡警報	
	69	CT[A] 負荷短絡警報 or CT[B] 負荷短絡警報	

ポイント

- 上限のみ、下限のみなど、単一の警報設定値をしきい値とする警報イベントでは、必ず「警報設定値１」を参照します。
- イベント番号 11 では、PV と SV の偏差が正負で「警報設定値１」以内であるかどうかを検知します。イベント番号 13 では PV と SV の偏差がプラス側で「警報設定値１」以内、マイナス側で「警報設定値２」以内であるかどうかを検知します。

• **警報以外のイベント**

イベント種類	イベント番号	イベント種類	動作図
タイマコード	52	ON ディレイタイマ	
	53	OFF ディレイタイマ	
	54	ON ／ OFF ディレイタイマ	
状態出力	71	オートチューニング動作中	—
	72	正動作	—
	73	スタンバイ	—
	74	マニュアルモード中	—
	75	リモート SV 運転中	—
	76	ランプ SV 中	—

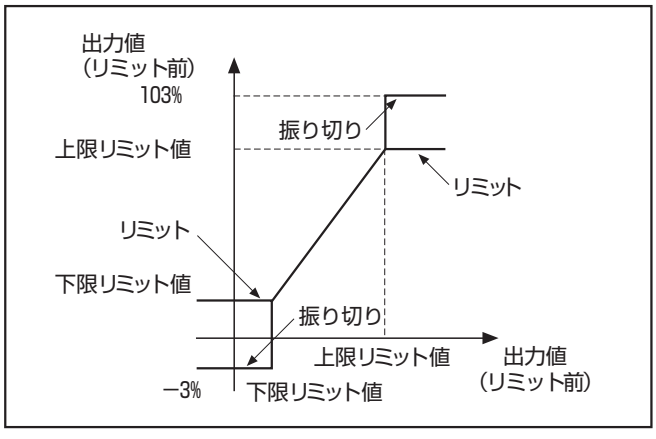
関連パラメータ

- ●警報設定値 1 ／警報設定値2
- ●イベントディレイ時間
- ●イベントディレイ時間単位
- ●警報ヒステリシス
- ●DO オプション

出力リミッタ種類設定

設定値	MV1		MV2	
	下限	上限	下限	上限
0	-3.0%	103%	-3.0%	103%
1	下限リミット値	103%	-3.0%	103%
2	-3.0%	上限リミット値	-3.0%	103%
3	下限リミット値	上限リミット値	-3.0%	103%
4	-3.0%	103%	下限リミット値	103%
5	下限リミット値	103%	下限リミット値	103%
6	-3.0%	上限リミット値	下限リミット値	103%
7	下限リミット値	上限リミット値	下限リミット値	103%
8	-3.0%	103%	-3.0%	上限リミット値
9	下限リミット値	103%	-3.0%	上限リミット値
10	-3.0%	上限リミット値	-3.0%	上限リミット値
11	下限リミット値	上限リミット値	-3.0%	上限リミット値
12	-3.0%	103%	下限リミット値	上限リミット値
13	下限リミット値	103%	下限リミット値	上限リミット値
14	-3.0%	上限リミット値	下限リミット値	上限リミット値
15	下限リミット値	上限リミット値	下限リミット値	上限リミット値

設定により、制御出力は右のように変わります。



5.7 CC-Link フラグ操作

リモート入出力やリモートレジスタのフラグ操作を示します。

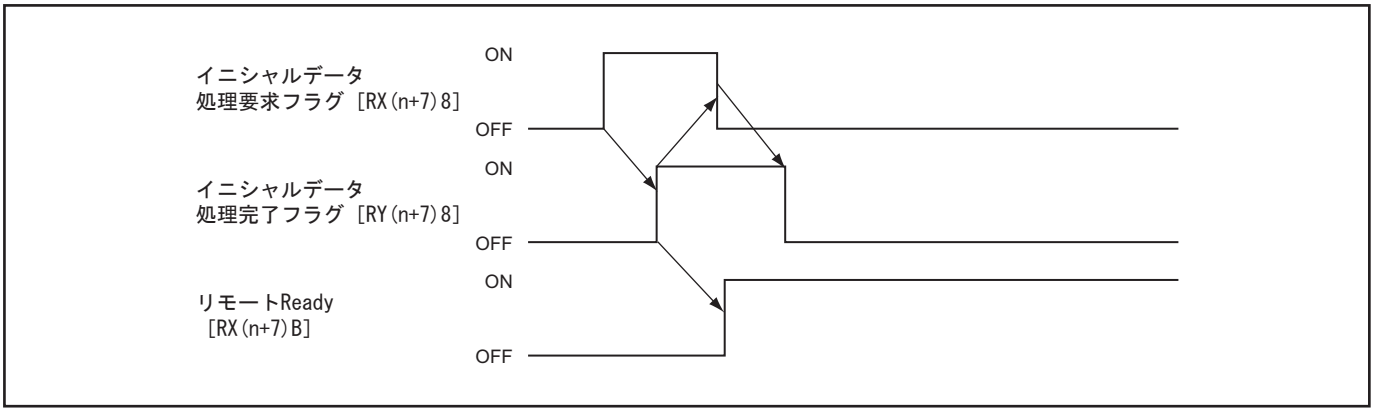
（例）占有局数／拡張サイクリック設定が、4 局占有 1 倍設定（8Ch 割付）の場合

電源 ON 時、イニシャル要求処理

リモートデバイス局（PUM モジュール）からイニシャル処理要求

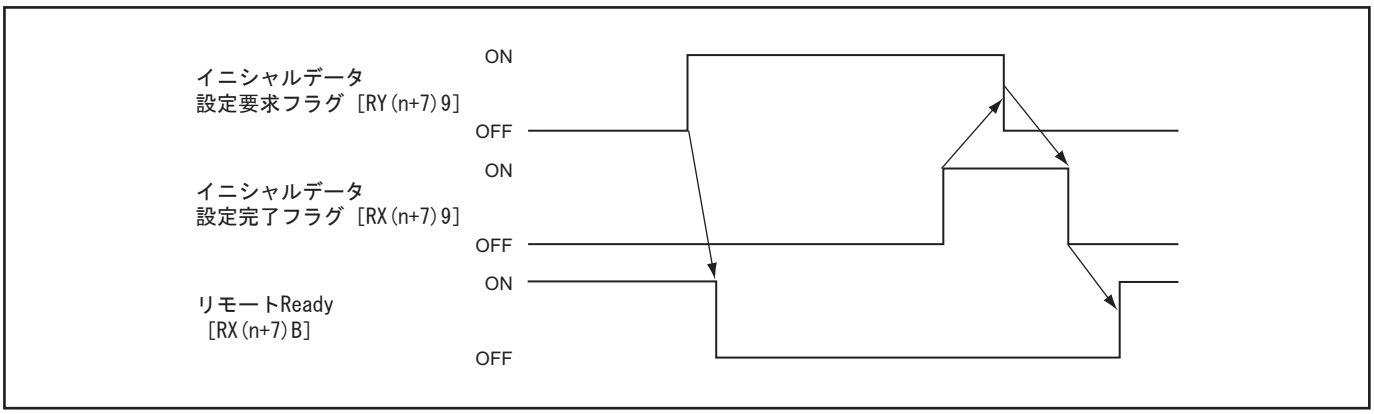
電源 ON 時､PUM モジュールのイニシャルが終了すると､イニシャルデータ処理要求フラグ[RX(n + 7)8]が ON になります。これを受けてイニシャルデータ処理完了フラグ［RY（n + 7）8］を ON にしてください。[RX（n+7）8] が OFF になります。

PUM モジュールがレディ状態になると、リモート Ready［RX（n + 1）B］が ON になります。



マスタ局（PLC）からイニシャル設定要求

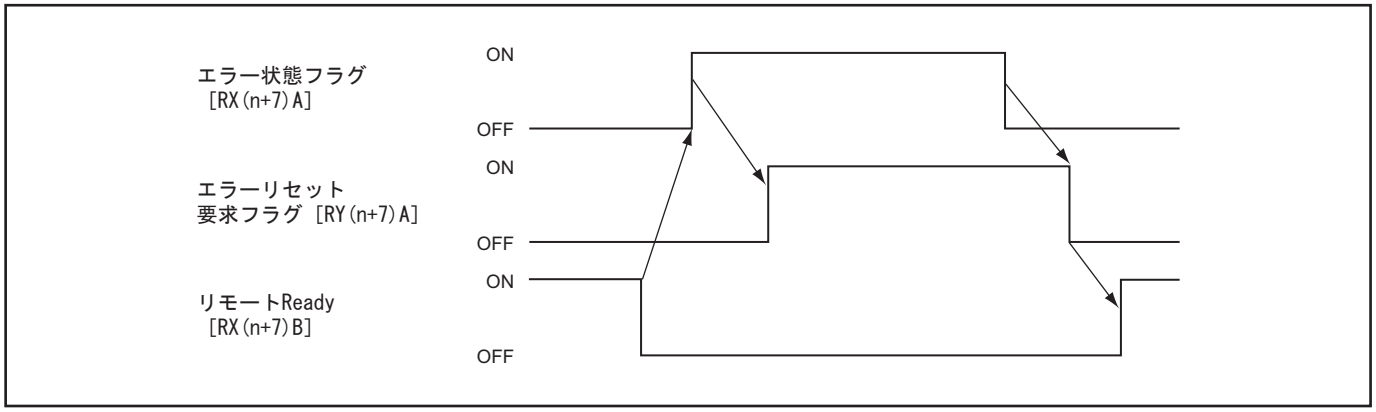
マスタ局から PUM モジュールへのイニシャル設定要求です。特にイニシャルデータはないため、処理の必要はありません。



エラーフラグ、エラーリセット処理

エラー状態フラグ［RX（n + 7）A］ が ON の時に、エラーコードがリモートレジスタに格納されています。

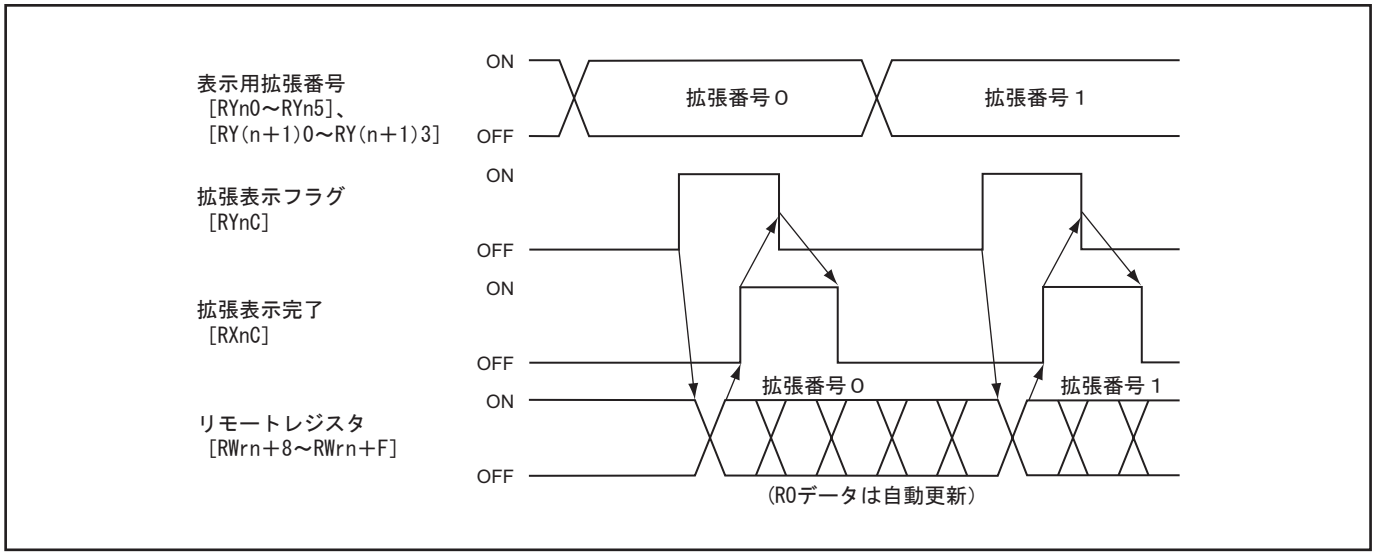
エラー発生時にエラーリセット要求フラグ［RY（n + 7）A］を ON にすると、[RX（n + 7）A］が OFF になり、エラーコードをクリアします。その後、［RY（n + 7）A］を OFF にすると、リモート Ready が ON します。



表示用拡張番号の切換処理

拡張表示用リモートレジスタの内容を切り換えます。

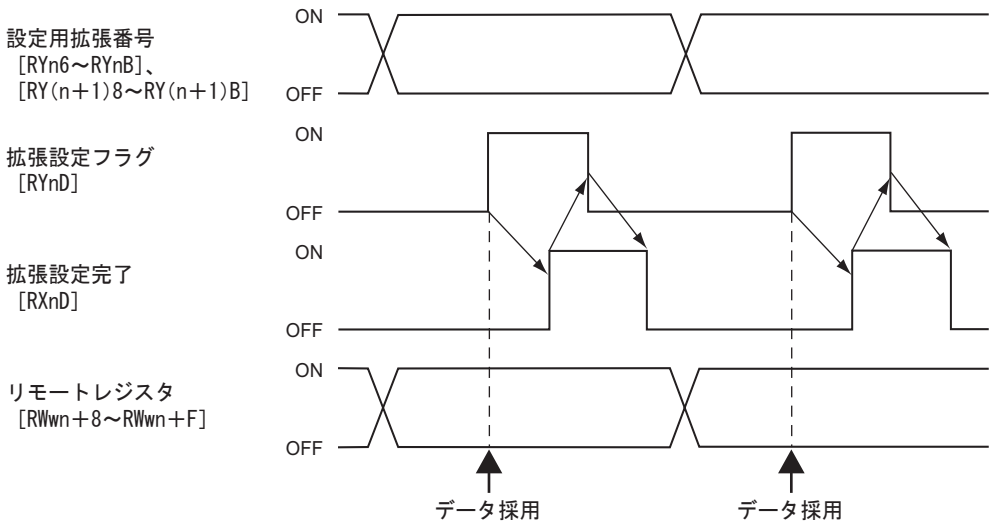
表示用拡張番号 [RYn0 ～ RYn5] と、[RY（n + 1）0 ～ RY（n + 1）3] を設定後、拡張表示フラグ [RYnC] を ON にします。リモートレジスタ［RWrn + 8 ～ RWrn + F］のデータ表示が完了して、拡張表示完了［RXnC］が ON になったことを確認してから、拡張表示フラグ［RYnC］を OFF にします。拡張表示フラグ［RYnC］が OFF になると、拡張表示完了［RXnC］が OFF になります。



設定用拡張番号の切換処理

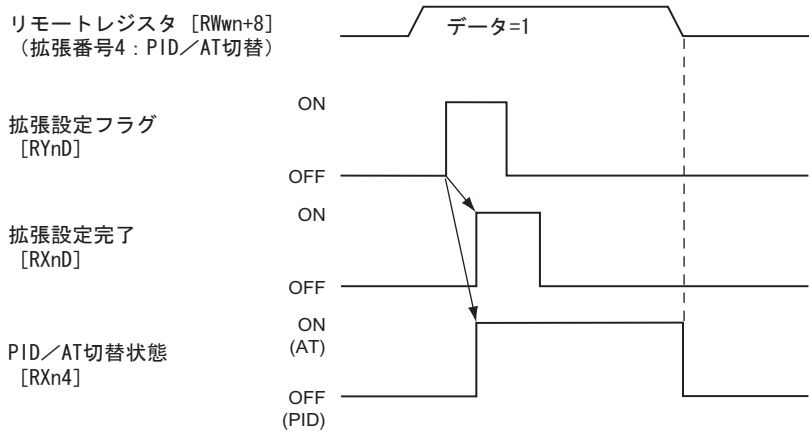
拡張設定用リモートレジスタの内容を切り換え、設定値を変更します。

設定用拡張番号［RYn6 ～ RYnB］と、［RY（n + 1）8 ～ RY（n + 1）B］を設定後、拡張設定フラグ［RYnD］を ON にします。リモートレジスタ［RWwn + 8 ～ RWwn + F］の内容が設定完了して、拡張設定完了［RXnD］が ON になったことを確認してから、拡張設定フラグ[RYnD]を OFF にします。拡張設定フラグ[RYnD]が OFF になると、拡張設定完了[RXnD]が OFF になります。



AT 起動方法（Ch1 の例）

リモートレジスタ［RWwn+8］に「1」を書き込み、設定用拡張番号の切換処理の操作をします。AT 指令が受け付けられると、PID ／ AT 切替状態[RXn4]が ON して、AT 状態となります。AT が終了すると[RXn4]が OFF して、リモートレジスタが「0」に戻ります。



5.8 サンプルプログラム

三菱シーケンサ MELSEC にて動作する、データ読み出し / 書き込みサンプルプログラムをホームページにて配布いたします。
なお、ここで示すプログラムは、お客様のプログラム作成の際の参考として頂くためであり、全ての動作を保証するものではありません。

サンプルプログラム本体は弊社ホームページよりダウンロードしてご使用ください。
ホームアドレス ： http://www.fic-net.jp/　　CC-Link サンプル PG_V10

シーケンサ設計・保守ツール
　GX Developer Version 8.30G
シーケンサ
　MELSEC シリーズ（Q00CPU）

注　意

- GX Developer Version 8.30G は、三菱電機の登録商標です。
- MELSEC は、三菱電機の登録商標です。

サンプルプログラムの使用に起因する損害、第三者所有の権利に対する侵害に関し、富士電機システムズ株式会社は責任を負いません。
本内容に合意の上でご使用ください。

6章 トラブルシューティング

6.1　トラブル時の対処　‥‥ 6-3

6.1 トラブル時の対処

以下に、通信時におけるトラブルの事例と対処方法を示します。

トラブルの内容	原因	対処方法
リモート Ready の信号が ON にもかかわらず、制御モジュールの読み書きができない （制御モジュールの PWR ランプは緑点灯）	通信許可設定の誤り	CC-Link モジュール以外の他モジュールの通信許可設定を「接続あり」に設定し、電源を入れなおしてください
リモート Ready の信号が ON にもかかわらず、制御モジュールの読み書きができない （制御モジュールの PWR ランプは赤点灯）	モジュール間の内部通信が異常な状態となっている	PWR ランプ赤点灯を緑点灯へ改善してください <LED インジケータの表示について > 以下のいずれかの状態になると、横連結したモジュールの LED の「PWR」インジケータが赤点灯する事があります ・横連結したモジュールのうち同一ステーション番号のモジュールが 2 台以上ある ・横連結したモジュールのうち「モジュール間内部通信マスタ／スレーブ設定」が「0：マスタ」に設定してあるモジュールが 2 台以上ある ・出力マスタステーションまたは、Di 入力マスタステーションに設定しているステーション番号のモジュールが存在しない
データが更新されない	CC-Link ケーブルの配線不良	CC-Link ケーブルの配線確認をしてください
	通信速度設定の不一致	PLC と通信モジュールの通信速度を確認してください（ロータリースイッチ）
	占有局数 / 拡張サイクリック設定の不一致	PLC のソフト定義と通信モジュールのディップスイッチを確認してください
	通信局番指定の誤り	通信モジュールの局番が 1 ～ 61 の範囲にあり、1 台目の時は 1 である事を確認してください
ハードエラーフラグが ON している	MODBUS 通信異常が発生	CC-Link 以外のモジュールがしっかり接続しているか確認してください ・モジュール横連結部分の接続（バックボード同士の接続） ・本体とバックボード部の接続
		CC-Link 以外のモジュールのハードに異常がないか確認してください

索引

アルファベット

4 局占有 1 倍設定 …… 1-9,4-5,5-8,5-39,5-41
4 局占有 2 倍設定 ……1-9,4-5,5-14,5-42,5-44
4 局占有 4 倍設定 ……1-9,4-5,5-23,5-46,5-50
AT 起動方法 …… 5-76
CC-Link 協会 ……3-14,3-15
CC-Link 専用ケーブル …… 1-8, 3-13,3-14,3-15,3-16,4-4,5-3
DO 出力イベント種類設定…… 5-69
LED インジケータ …… 1-5,1-6,6-3
PLC …… 3-3,3-4,3-13,4-7,4-9,5-4,5-74,6-3
PUM 用パラメータローダ …… 1-7,3-3,4-6,4-8
PV 入力種類 …… 5-68

あ

アクセサリ…… 1-4,3-11
圧着端子…… 3-17
イニシャル要求処理…… 5-74
エラーフラグ…… 5-3,5-4,5-75,6-3
エラーリセット処理…… 5-75
エンドプレート…… 1-4,3-11

か

外形寸法…… 3-5
拡張番号…… 5-4,5-54,5-56,5-68,5-75,5-76
局番設定…… 1-5,1-6,1-7,4-3
形式コード…… 1-4
固定用タブ…… 1-10,3-8,3-9,3-12
固定用ネジ…… 3-12

さ

最大伝送距離…… 1-8,3-14,4-4
サイド連結コネクタ終端カバー…… 1-4,3-11
サンプルプログラム…… 5-77
システムの構成…… 2-3
終端抵抗……3-13,3-16
出力リミッタ種類設定…… 5-73
信号内容…… 3-15
推奨電源…… 4
ステーション番号…… 2-3,3-10,6-3
設定用拡張番号……5-4,5-54,5-76
絶縁 …… 3-15
占有局数／拡張サイクリック設定…… 1-5, 1-8,1-9,4-5,6-3
前面端子台…… 1-5,1-6,3-6

た

端子図…… 3-15
端子配置…… 3-17
チャンネルの割り当て…… 4-6
通信条件…… 3-4
通信速度…… 1-8,3-14,4-3,4-4
通信速度設定…… 1-5,1-8,3-14,4-4,6-3
通信端子番号…… 3-15
電源の結線…… 3-17
電源端子…… 1-5,3-17
電源端子台…… 1-10
取付用ネジ穴……1-10,3-12

な

は

表示用拡張番号……5-4,5-54,5-75
フラグ操作…… 5-74
ベース部…… 1-5,1-10,3-6,3-7,3-8,3-12,3-17

ま

マスタ／スレーブの設定…… 3-10,6-3
モジュール間内部通信…… 2-3,6-3

や

ら

リモートデバイス局…… 4-3,5-3,5-74
リモートレジスタ…… 5-3,
5-4,5-5,5-6,5-38,5-54,5-74,5-75,5-76
リモート出力…… 5-3,5-4,5-7,5-54
リモート入力…… 5-3,5-4,5-7
連結コネクタ…… 1-5,1-10,3-9,3-11
ローダ接続ケーブル…… 1-4,1-7,3-3
ローダ通信ポート…… 1-5,1-6,1-7,4-6,4-8
ロックレバー…… 3-6,3-7

技術相談窓口

富士の温度調節計に関する技術相談をお手軽にご利用いただけます。

■温度調節計のご相談は…

●富士電機（株）技術相談窓口
TEL（042）584-1506
FAX（042）584-1513

●受付時間
AM9：00～12：00　PM1：00～5：00
［月～金曜日（祝日を除く）、FAX での受信は常時行っています］

⚠安全に関するご注意

●安全のため、ご使用の前に、「取扱説明書」をお読みいただくか、お買上の販売店または当社にご相談のうえ、正しくご使用ください。
●本カタログに記載された製品は、使用用途・場所などを限定するもの、定期点検を必要とするものがあります。お買上の販売店または当社にご確認ください。
●安全のため、接続は電気工事・電気配線などの専門の技術を有する人が行なってください。

ご購入の前に

・製品改良のため、外観・仕様は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
・印刷物と実物では色合いが多少異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
・本カタログに記載された製品の詳細については、販売店または当社にご確認ください。

⚠ 安全に関するご注意
＊この商品をご使用の際には，事前に取扱説明書を必ずお読みください。

富士電機株式会社

本社　〒141-0032 東京都品川区大崎一丁目11番2号（ゲートシティ大崎イーストタワー）
http://www.fujielectric.co.jp

営業拠点

北海道地区	TEL（011）221-6407	関西地区	TEL（06）6455-6790
東北地区	TEL（022）225-5355	中国地区	TEL（082）247-4233
関東地区	TEL（03）5435-7041	四国地区	TEL（089）933-9101
中部地区	TEL（052）746-1014	九州地区	TEL（092）262-7844
北陸地区	TEL（076）441-1230		

計測機器のホームページ　http://www.fujielectric.co.jp/products/instruments/

お問合せは、下記または弊社左記事業所へお願いいたします。

本資料の内容は製品改良などのために変更することがありますのでご了承ください。